Pioneer

DVD ホームシアターシステム

# HTZ-55DV

取扱説明書

DVD VIDEO

COMPACT disc DIGITAL VIDEO

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

# 絵表示について

このたびはパイオニアの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に、本書および別冊の「安全上のご注意」は必ずお読みください。
なお、「取扱説明書」および「安全上のご注意」は、「保証書」と一緒に必ず保管してください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

## ⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

## ⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例

△記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

## 安全上のご注意(別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

### ⚠警告[異常時の処理]

プラグを抜け

● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜け

● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

OFF

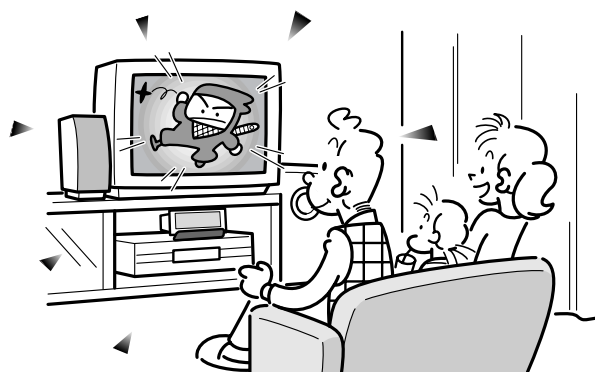
プラグを抜け

● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

# こんなことができます



## DVDプレーヤーの機能とAVサラウンドアンプの機能が一体化したことにより、誰もが簡単にDVDホームシアターシステムを楽しむことができます。

デモ表示機能により、自動的にいろいろな表示が行われます。この機能を解除する場合は、裏表紙の「デモ表示について」を参照してください。

### お好みの音声言語が選択できます

DVDに収録された複数の音声言語から、お好きな言語を選択することができます。(P.37)

ちょっと待って。
Wait a minute.

### お好みの字幕言語が選択できます

DVDに収録された複数の字幕言語から、お好きな字幕を選んだり、字幕表示を消したりできます。(P.36)

ちょっと待って。
Wait a minute.

### AV機器を本機のリモコンでコントロール

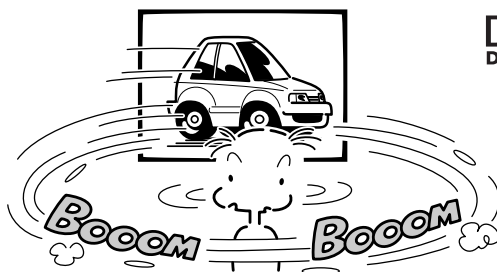
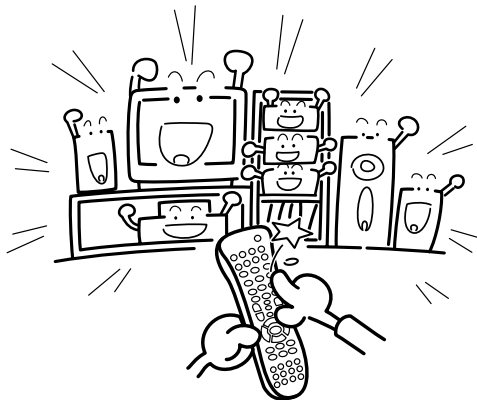
プリセットや学習機能搭載したマルチコントロールリモコンにより、他社製品もコントロールすることができます。(P.59～68)

### お好みの視点(アングル)が選択できます

DVDに収録されている、同じ風景でも視点を変えた映像を見ることができます。(P.36)

### 映画館のような迫力のあるサウンドが味わえるドルビーデジタル*／DTS**対応

5.1チャンネルで収録された映画／音楽DVDソフトを臨場感あふれる音声で楽しむことができます。(P.23)

BOOOM BOOOM

DOLBY DIGITAL
DIGITAL dts SURROUND

* ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
「DOLBY」、「Pro Logic」、「ドルビー」、「プロロジック」及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。非公開機密著作物。著作権 1992-1997年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

** DTS、及びDTS Digital Surroundは米国Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。米国Digital Theater Systems, Inc. からの実施権に基づき製造されています。

本製品は電源オフ時(スタンバイ時)の消費電力値を1W以下に抑えた、省エネルギー設計です。

# もくじ

# もくじ

# 本機で再生できるディスクの種類

## 再生できるディスクの種類とマーク

下記マークの付いたディスクをお使いください。それ以外のディスクを使用すると故障の原因となることがあります。
ただし本機では、再生だけの機能となります。

DVDビデオ　ビデオCD　CD
CD-R　CD-RW

- （株）フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成された F-Disc(エフディスク）も再生することができます。(34、80 ページ)。
- 本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用下さい。
- 本機は上表のディスクをアダプターなしで、再生することができます。8cmアダプター（CD用）は使わないでください。
- 本機は、DVD オーディオ、DVD-ROM、CD-ROM、リージョン No.（80 ページ）が本機と異なる DVD などは再生することはできません。
- 本機は、DVD-RWにて録音したディスクを再生することはできません。

## CD-R ディスク /CD-RW ディスクの再生について

本機は、音楽用のＣＤフォーマットで記録された CD-R ディスク /CD-RW ディスクを再生することができます。
ただし、使用するディスクがファイナライズ * されていないとき、または録音したレコーダーの記録特性やディスクの特性・傷・汚れ・本機のピックアップのレンズ汚れ/結露等により、再生できない場合があります。

* 詳しくはレコーダーの取扱説明書をお読み下さい。

## DVD に表示されているマークについて

DVDのディスクやパッケージには以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークはそのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表わしています。

| マーク | 意味 |
|---|---|
| 2 | 音声の数を表わします。 |
| 2 | 字幕言語の数を表わします。 |
| 3 | アングル数を表わします。 |
| 16 : 9 LB | 選択可能な画像アスペクト比（77ページ参照）を表わします。 |
| 2<br>ALL | 再生可能な地域番号を表わします。本機は地域番号「2」が含まれているディスク、または「ALL」と表記されたディスクの再生ができます。 |

## ディスクの操作について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、操作方法を変更したり、特定の操作を禁止しているものがあります。このためディスクによって操作方法が異なったり、特定の操作ができないことがあります。本機ではディスクによって禁止されている操作をしたときは画面に「ディスク禁止マーク」を表示します。

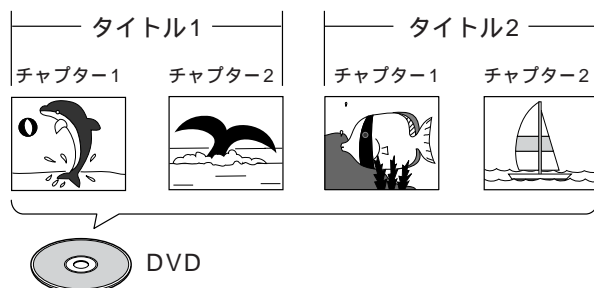
ディスク禁止マーク

また、メニューや再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、リピートやプログラムなどの一部の操作ができないことがあります。このような場合、本機では画面に「プレーヤーによる禁止マーク」を表示します。

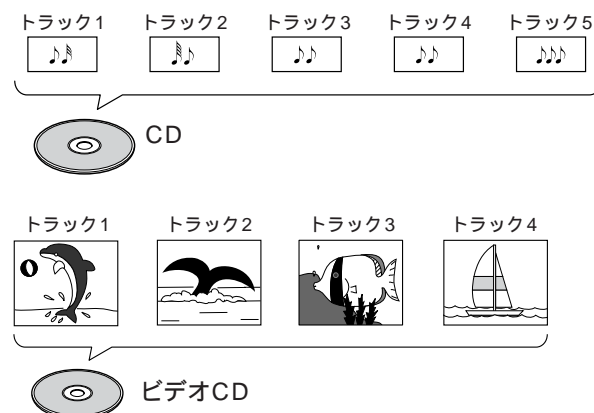
プレーヤーによる禁止マーク

## ディスクの構成について

DVDではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。また、メニュー画面はどのタイトルにも属しません。映画などではふつう１つの映画が１つのタイトルに対応しています。カラオケディスクでは１曲が１タイトルとなっています。ただしこのような区切りになっていないディスクもありますので、サーチ機能やプログラム機能を使用する際はご注意ください。

タイトル1　タイトル2
チャプター1　チャプター2　チャプター1　チャプター2
DVD

CD やビデオ CD ではディスクをトラックという単位で分けています（一般的には 1 曲が 1 つのトラックに対応しています。またさらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります）。

トラック1　トラック2　トラック3　トラック4　トラック5
CD

トラック1　トラック2　トラック3　トラック4
ビデオCD

# テレビに接続する

まずは別冊の「HTZ-55DVをセッティングしましょう」を参照して、本機に付属のスピーカーを5個と、サブウーファー部、AMループアンテナとFM簡易アンテナの接続を行ってください。
すべての接続が終了してから、最後にサブウーファーの電源プラグを、壁のコンセントに接続してください。

準備

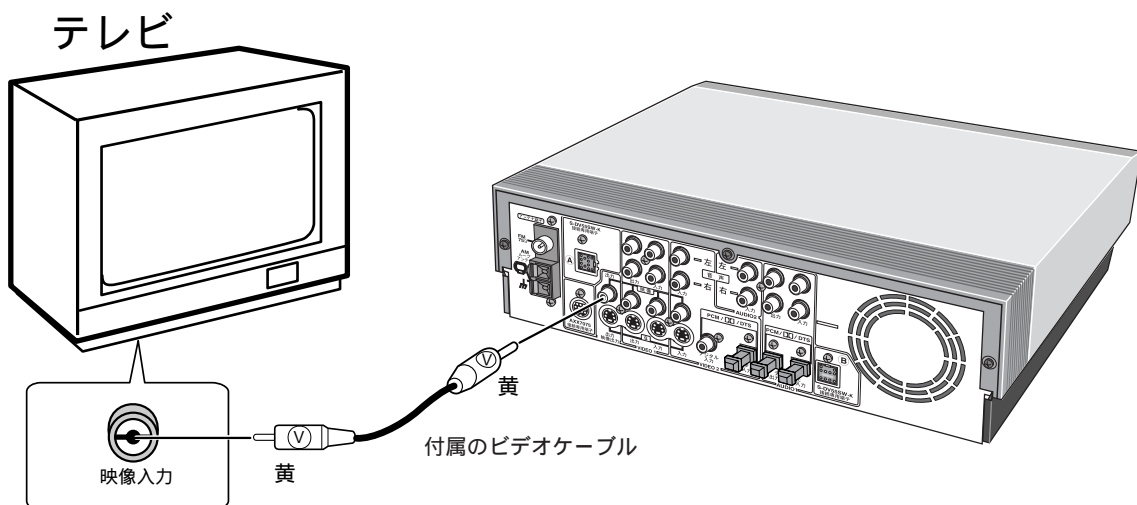
## テレビの映像入力端子と接続する場合

テレビ

映像入力

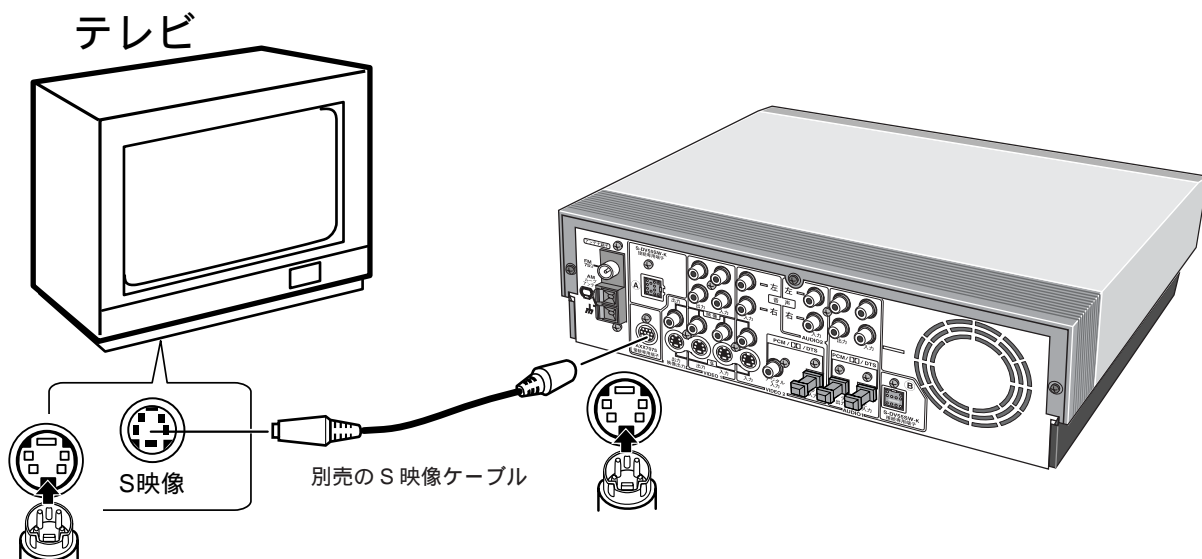
黄

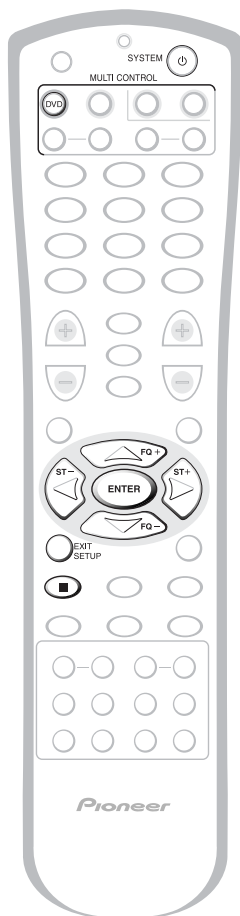
黄

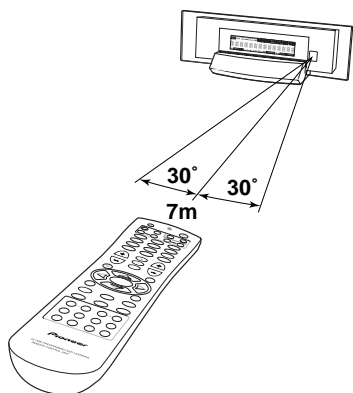
付属のビデオケーブル

## テレビのS入力端子と接続する場合

テレビ

S映像

別売のS映像ケーブル

# DVD の設定をする

ここでは、「言語（画面表示言語）」と「接続したテレビの種類」を本機のセットアップナビゲーターという機能を使って簡単に設定します。
ただし再生中には設定することはできません。
言語（画面表示言語）が日本語のまま使用し、ワイドテレビをご使用の場合は本操作は不要です。

**リモコンは、ディスプレイユニットに向けてください。**

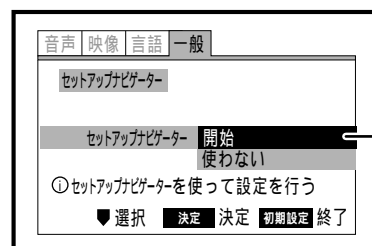
30°　30°
7m

## 1. システム ⏻ ボタンを押します

あらかじめテレビの電源はオンにしておきます。
すでにディスクがセットされていて再生を開始した場合は、停止（■）ボタンを押して停止させます。

## 2. DVD ボタンを押します

## 3. セットアップボタンを押します

セットアップナビゲーター画面が自動的に表示されます。

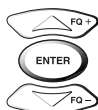
音声 | 映像 | 言語 | 一般
セットアップナビゲーター
セットアップナビゲーター　開始
使わない
ⓘセットアップナビゲーターを使って設定を行う
選択　決定 決定　初期設定 終了

セットアップナビゲーターを開始するときに選択します。

### メニュー画面の操作のしかた

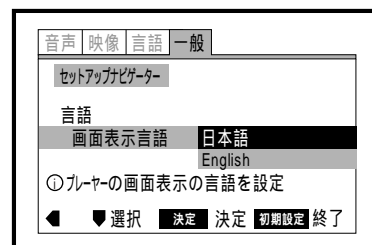
カーソルの上下移動 ............................ △/▽
選択項目の決定 .................. エンターボタン
前の画面に戻る ......................................... ◁

各画面の下の部分に、操作できる内容が表示されます。

## 4. ［開始］を選択したら、エンターボタンを押します

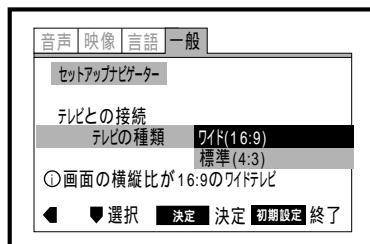
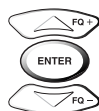
セットアップナビゲーターが開始されます。

## 5. 言語（画面表示言語）を選びます

日本語、または英語から選びます。△/▽ボタンで選択後、エンターボタンを押します

音声 | 映像 | 言語 | 一般
セットアップナビゲーター
言語
画面表示言語　日本語
English
ⓘプレーヤーの画面表示の言語を設定
◀　選択　決定 決定　初期設定 終了

日本語　：画面表示の言語が日本語になります。
（出荷時の設定）
English ：画面表示の言語が英語になります。

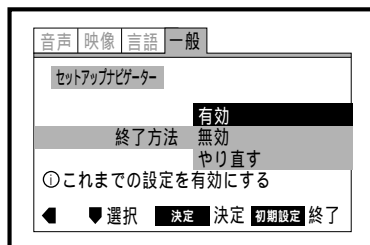
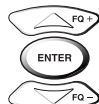
## 6. 接続したテレビの種類を選びます

△/▽ ボタンで選択後、エンターボタンを押します。

音声 映像 言語 一般
セットアップナビゲーター
テレビとの接続
テレビの種類 ワイド(16:9) 標準(4:3)
ⓘ画面の横縦比が16:9のワイドテレビ
◀ ▼選択 決定 決定 初期設定 終了

ワイド(16:9)　：　ワイド (16:9)のテレビと接続したとき選択します。
標準(4:3)　：　従来サイズ(4:3)のテレビと接続したとき選択します。

## 7. 設定を終了します

△/▽ ボタンで選択後、エンターボタンを押します。

音声 映像 言語 一般
セットアップナビゲーター
終了方法 有効 無効 やり直す
ⓘこれまでの設定を有効にする
◀ ▼選択 決定 決定 初期設定 終了

有効　：　これまでの設定内容を有効にします。
無効　：　これまでの設定内容を無効にします。
やり直す　：　セットアップナビゲーターを使って行った設定をはじめからやり直します。

## 8. セットアップボタンを押します

EXIT SETUP

初期設定画面が消えます。

### メ モ

▼ セットアップナビゲーター機能では、基本的な設定を行います。より細かな設定はDVD初期設定画面で操作します（P.40 以降）。
▼ 手順 3 で、[使わない]を選ぶと、次回からセットアップボタンを押してもセットアップナビゲーターの画面は出なくなります。
セットアップナビゲーターで再設定したい場合は、DVD初期設定画面の［一般］から、[セットアップナビゲーター］を選んで操作してください。（41ページ参照）
▼ セットアップナビゲーター機能で設定した内容を出荷時に戻す場合は、電源をオフにして、本体の停止(■)ボタンを押しながら本体の⏻スタンバイ/オンボタンを押してください。
▼ ⓘマークは情報(information)を意味しています。画面に簡単な説明が表示されますので、設定内容がわからない場合は参考にしてください。

### 注 意

◆ 画面表示言語で選んだ言語が、字幕言語、音声言語でも選択されます(P.36～37)。

# 映像の見えかた

## 従来サイズのテレビのとき

| DVDに記録されている映像 | 本機の設定 | 映像の見えかた | | |
|---|---|---|---|---|
| 16：9のディスク | 4：3（レターボックス） | | ○ | 上下に帯がつきますが、正しく見えます |
| | 4：3（パンスキャン） | | ○ | 画面の左右が切れますが、正しく見えます |
| | 16：9（ワイド） | | × | 縦長に見えます |
| 4：3のディスク | 4：3（レターボックス）<br>4：3（パンスキャン）<br>16：9（ワイド）<br>どの設定でも | | ○ | 正しく見えます |

## ワイドテレビのとき

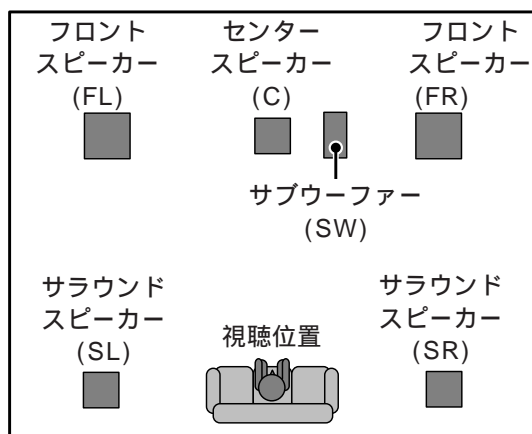
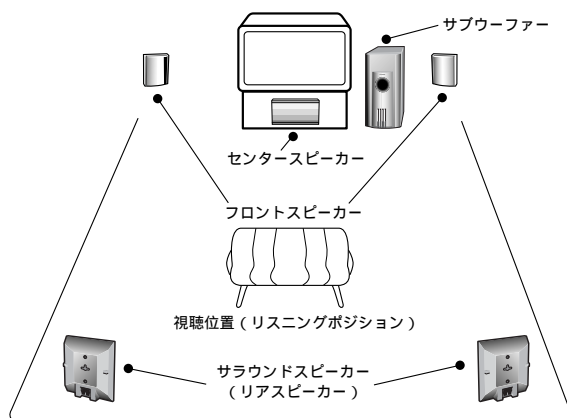
| DVDに記録されている映像 | 本機の設定 | 映像の見えかた | | |
|---|---|---|---|---|
| 16：9のディスク | 16：9（ワイド） | | ○ | 正しく見えます<br>ディスクによっては、上下に帯がつくことがあります。 |
| 4：3のディスク | 16：9（ワイド） | | ○ | 画面に帯が付きますが、正しく見えます |
| | | | × | 横長に見えます<br>このようにに見える場合は、テレビ側の設定をノーマルに切りかえてください。（詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。） |

# スピーカーの設置



サラウンド効果を最大限に引き出すため、下図のようにスピーカーを設置後、「サラウンドモードの基本設定」を行ってください。

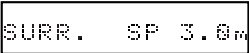
サブウーファー
センタースピーカー
フロントスピーカー
視聴位置（リスニングポジション）
サラウンドスピーカー
（リアスピーカー）

フロント スピーカー (FL)
センター スピーカー (C)
フロント スピーカー (FR)
サブウーファー (SW)
サラウンド スピーカー (SL)
視聴位置
サラウンド スピーカー (SR)

- 左右に置いたスピーカーはテレビから等距離になるように設置してください。
- センタースピーカーはテレビの下側または上側に置き、センターチャンネルの音がテレビと同じ位置に配置されるようにしてください。もしセンタースピーカーをテレビの上に置くときは、テープなどを使用して適切な方法で固定してください。固定しないと地震などの外部の振動により、スピーカーがテレビから落下してケガをしたり、スピーカーを破損する原因となります。
- サラウンドスピーカーは耳の高さからやや上方に設置すると効果的です。
- サラウンドスピーカーをフロントスピーカーとセンタースピーカーから極端に離して設置すると、サラウンド効果が十分に発揮されません。
- 本機は水平な場所に設置してください。不安定な場所に設置するのは大変危険ですのでおやめください。
- 本機の天面、側面、後面、前面の放熱孔は塞がないように放置してください。放熱孔が塞がると内部が異常高温になり、火災の原因になることがあります。
- 本機のスピーカーシステムは防磁設計（EIAJ）* ですのでテレビと組み合わせても色むらが起こりにくくなっています。まれに設置のしかたによっては色むらを生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15～30分後再びスイッチを入れてください。その後も色むらが残るようでしたらスピーカーシステムをテレビから離してご使用ください。
- 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

＊「防磁設計（EIAJ）」とは、（社）日本電子機械工業会（EIAJ）の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

# サラウンドモードの基本設定

本機のサラウンド効果を最大限に引き出すには、以下の設定が必要です。とくに DTS やドルビーデジタル対応の DVD ソフトを再生する場合は、サラウンドモードの設定が重要な役割を果たします。一度登録した設定内容は本機に記憶されるため、システムを使用するたびに設定し直す必要はありません (ただし、スピーカーシステムの構成を変更したり、リスニングルームを変更したときには、設定し直す必要があります)。

① スピーカーまでの距離の設定
実際のリスニングポジション（視聴位置）から各スピーカーまでの距離を本機に設定することで、サラウンド効果を最大限に引き出します。

② スピーカー出力レベルの設定
リスニングポジション（視聴位置）からの距離に合わせ、それぞれのスピーカー出力が等しくなるように設定します。

ここでは、基本となる 2 つの設定だけを行います。より高いサラウンド効果を体験する場合は、50 ページの「サウンドモードの設定」で、より細かな設定を行ってください。

# スピーカーまでの距離の設定

リスニングポジションから各スピーカーまでの距離を設定します。この設定をすることで、最適なサウンド効果を得ることができます。

MULTI CONTROL SYS EXIT SETUP ST− ST+ FQ+ FQ− ENTER Pioneer

### メ モ

▼ より細かな設定を行う場合は、50 ページからの「サウンドモードの設定」をご覧ください。

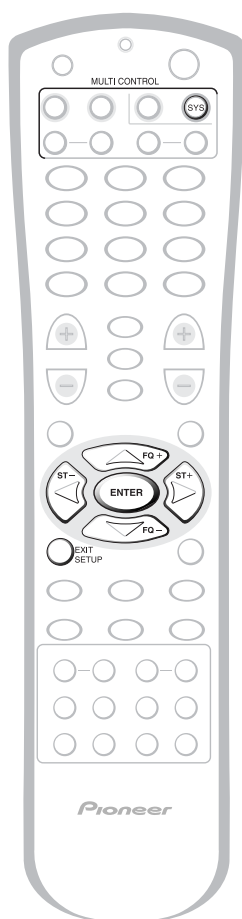
### 注 意

◆ ADVANCED THEATER モードにおいて、"VIRTUAL SURR.1"か"VIRTUAL SURR.2"が設定されている場合は、設定したスピーカーからの距離設定は無効になります。

## 1. SYS ボタンを押します

SYS

## 2. セットアップボタンを押します

EXIT SETUP

## 3. フロントスピーカーの距離の設定をします

ST− ST+

◁/▷ ボタンで、「FRONT」を選択します。

FRONT SP 3.0m

## 4. スピーカーからの距離を設定します

FQ+ FQ−

△/▽ボタンを押すごとに0.3m間隔で、0.3m〜9mの範囲内で設定することができます。(初期値:3m)

## 5. センタースピーカーの距離の設定をします

ST+

▷ ボタンで、「CENTER」を選択します。

CENTER SP 3.0m

## 6. スピーカーまでの距離を設定します

FQ+ FQ−

△/▽ボタンを押すごとに0.3m間隔で、0.3m〜9mの範囲内で設定することができます。(初期値:3m)

## 7. サラウンドスピーカーの距離の設定をします

ST+

▷ ボタンで、「SURR.」を選択します。

SURR. SP 3.0m

## 8. スピーカーまでの距離を設定します

FQ+ FQ−

△/▽ボタンを押すごとに0.3m間隔で、0.3m〜9mの範囲内で設定することができます。(初期値:3m)

## 9. エンターボタンを押して、設定を終了します

ENTER

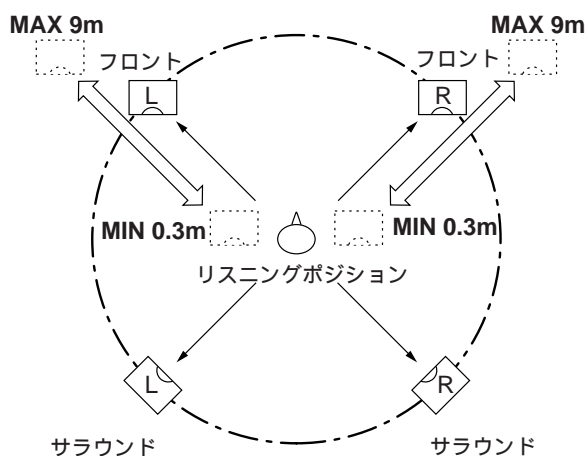
20 秒間何も操作をしないと、エンターボタンを押さなくても設定が終了します。

# スピーカーまでの距離の設定

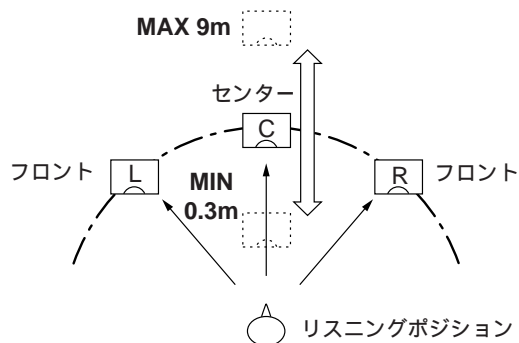


## フロントスピーカーとの距離の設定

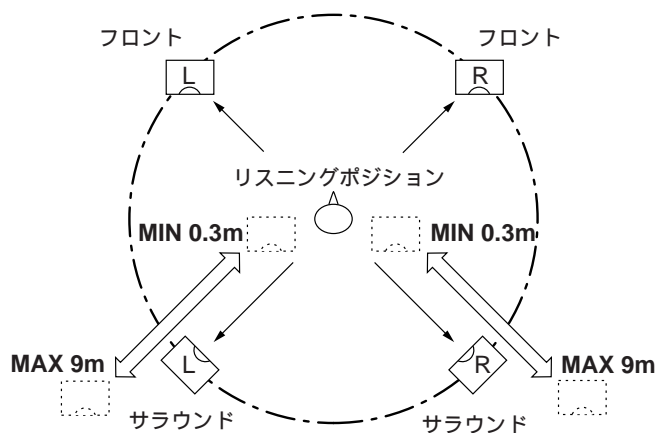
フロントスピーカーの距離の設定を行います。

MAX 9m
フロント
L
MAX 9m
フロント
R
MIN 0.3m
MIN 0.3m
リスニングポジション
L
R
サラウンド
サラウンド

## センタースピーカーとの距離の設定

センタースピーカーの距離の設定を行います。

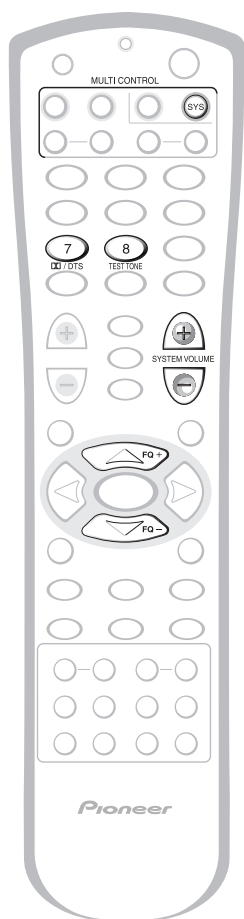
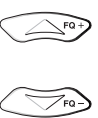
MAX 9m
センター
C
フロント
L
MIN 0.3m
R
フロント
リスニングポジション

## サラウンドスピーカーとの距離の設定

サラウンドスピーカーの距離の設定を行います。

フロント
フロント
L
R
リスニングポジション
MIN 0.3m
MIN 0.3m
MAX 9m
L
R
MAX 9m
サラウンド
サラウンド

# スピーカーの出力レベルを設定する

リスニングポジション（視聴位置）からの距離に合わせて、各スピーカーの出力レベルを調整します。テストトーンを耳で実際に確かめながらスピーカーの再生レベルを調整します。

## 1. SYS ボタンを押します

SYS

## 2. DD/DTS ボタンを押します

7
DD / DTS

Dolby/DTS モードがオンの状態において "SURROUND OFF" が設定されていると、テストトーンは再生されません。"SURROUND OFF"が表示されている場合は、もう一度DD/DTSボタンを押してください。

## 3. 音量を下げておきます

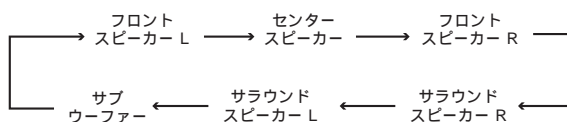
SYSTEM VOLUM

テストトーンは大きな音で再生されますので、あらかじめボリュームで音量を下げておきます。

## 4. テストトーンボタンを押します

8
TEST TONE

以下の順序で、各スピーカーのテストトーンを自動的に切りかえて再生します。

フロント スピーカー L → センター スピーカー → フロント スピーカー R → サラウンド スピーカー R → サラウンド スピーカー L → サブ ウーファー →（フロント スピーカー L に戻る）

## 5. 調整したいスピーカーから音が出ているときに、△/▽ ボタンを押します

FQ +
FQ −

視聴位置から聞こえる各スピーカーのテストトーンが同じ大きさになるように調整します
調整範囲は、± 10 d Bです。

## 6. テストトーンボタンを押して設定を終了します

8
TEST TONE

### メ モ

▼ 一般的に、サブウーファーからの音量は実際よりも小さく聞こえます。実際に通常モードで再生して確認することをおすすめします。

### 注 意

◆ ヘッドホンを挿入していると、この機能を使用することはできません。

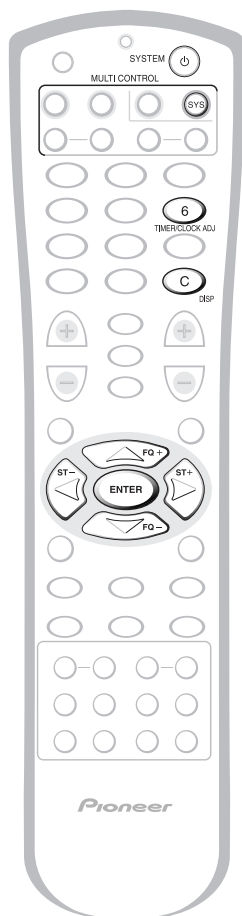
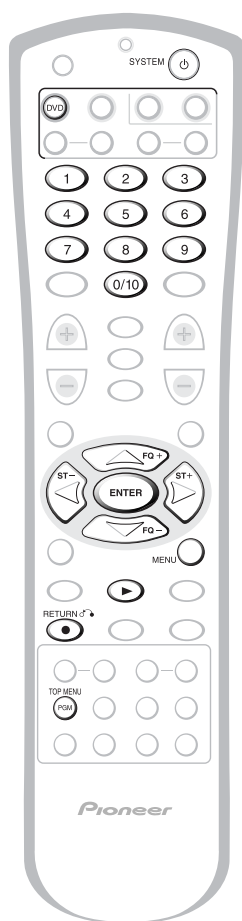
# 時計をあわせる

時刻は12時間表示です。
時計をあわせていないと、タイマー動作（72～74ページ参照）を行うことはできません。
また、時計表示を24時間表示に切りかえることもできます。（75ページ参照）

### メモ

▼ 電源がオフ（スタンバイ状態）のときや電源オンで時計表示がされていないときに時刻を知りたいときは、SYSボタンを押してから、DISPボタンを押します。数秒間、時計が表示されます。

### 注意

◆ 停電したり電源コードを抜いてしまうと、再び電源コードを接続しても時計表示が点滅します。この場合はもう一度時計を合わせ直してください。

操作例）午後6時40分に合わせる場合

**1. システム ⏻ ボタンを押して電源をオンにします**

本体の場合は、⏻STANDBY/ONボタンを押します。

**2. SYSボタンを押します**

**3. タイマー / クロックボタンを押します**

**4. ◁/▷ ボタンを押して、"CLOCK ADJUST"にします**

はじめて時計をあわせる場合は、この手順は必要ありません。

CLOCK ADJUST

**5. エンターボタンを押します**

12:00 AM

**6. △/▽ ボタンで「時」を合わせます**

例の場合は、"6:00pm"にします。

6:00 PM

**7. エンターボタンを押します**

「時」が入力されます。

6:00 PM

**8. △/▽ ボタンで「分」を合わせます**

例の場合は、40にします。

6:40 PM

**9. エンターボタンを押します**

「分」が入力され、セットした時刻が2回点滅します。
これで時計の設定が終了しました。

6:40 PM

準備

# ディスクを再生する

DVD/ CD/ VIDEO CD

## 1. システム ⏻ ボタンを押して電源をオンにします

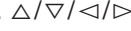
SYSTEM

本体の場合は、⏻STANDBY/ONボタンを押します。

## 2. DVD ボタンを押します

DVD

## 3. 本体の開 / 閉ボタンを押します

≜ OPEN / CLOSE

ディスクテーブルが開きます。

## 4. ディスクテーブルのミゾに合わせて、ディスクを置きます

レーベル面
（印刷面）

DVD、CD、
ビデオ CD

DVD シングル、CD シングル、
ビデオ CD シングル

## 5. 再生（▶）ボタンを押す

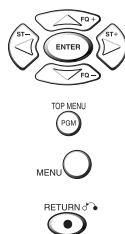
ディスクテーブルが閉まり、再生を開始します。

## 6. メニュー画面が表示されたとき

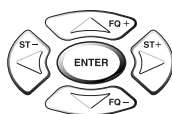
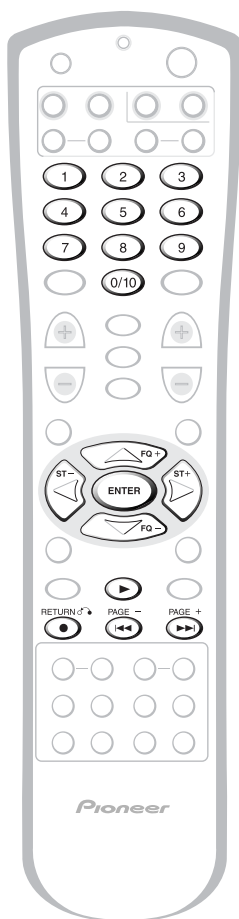
メニュー画面付 DVD やプレイバックコントロール（PBC）機能付ビデオ CD では、メニュー画面が表示されます。

### DVD のメニュー画面の操作

カーソルの移動 .......................... △/▽/◁/▷
選択項目の決定 .................. エンターボタン
最初の画面に戻る ... トップメニューボタン
メニュー画面を出す .......... メニューボタン
前の画面に戻る ........... リターン(↶)ボタン
メニューの番号を選ぶ ............... 数字ボタン

操作のしかたは、ディスクによって違います。ディスクに添付されている操作方法をご覧ください。

**注 意**

◆ ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。その他にも、ディスクの取り扱いについて注意していただきたいことがあります。詳しくはP.77をご覧ください。
◆ プログラムメモリー(P.34)をしたディスクでは、自動的にプログラムした順に再生が始まります。

Main Menu
1 Highlight Clips
2 Chapter List
3 予告編
4 字幕
5 音声
6 本編Start

カーソルボタン(△/▽/◁/▷)で選択項目を選び、エンターボタンを押します。
選択項目の番号と同じ数字ボタンで選ぶこともできます。

## VIDEO CD のメニュー画面の操作

メニュー画面の表示 ... リターン( )ボタン
前のページ画面に戻る ............................ ⏮
次のページ画面に進む ............................ ⏭
メニューの番号を選ぶ ............... 数字ボタン
選択キー ...................................................... ▶

操作のしかたは、ディスクによって違います。ディスクに添付されている操作方法をご覧ください。

1 ポップス
2 ジャズ
3 演歌
4 カラオケ
5 クラシック

選択項目の番号と同じ数字ボタンで選びます。
メニュー画面が 2 ページ以上ある場合は、⏮/⏭ボタンを押してページを戻したり、進めたりします。



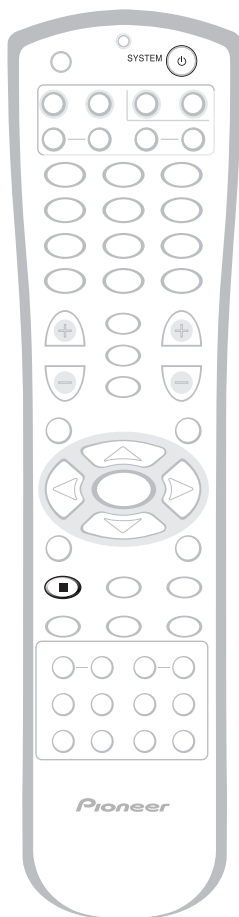
## メニュー画面を表示させるには

DVDでは再生中にメニューボタンまたはトップメニューボタンを押します。ビデオ CD では PBC 再生中（80 ページ参照）にリターンボタンを押します。
ただし、ディスクによってメニュー画面の表示のしかたは異なります。

## メニュー画面を消すには

上記の「メニュー画面を表示させるには」と同じボタンを押します。

## メニュー画面を出さずに（VCD で PBC 再生をしないで）再生するには

あらかじめ停止中に、⏮ / ⏭ボタンまたは数字ボタンを押して、再生したいトラックを選んでから再生を開始します。

## 再生を停止するには

### 1. 停止（■）ボタンを押します

DVDまたはビデオCDでは、ディスプレイ部の表示窓に"RESUME"と表示され、停止した場所を記憶します。（リジューム機能）

### リジューム機能とは

再生中に停止した場所を記憶する機能です。映画など見ているときに、途中で停止しても、また続きから見ることができます。
再生(►)ボタンを押すと、停止（■）ボタンを押した場所から再生を始めます。
停止中にもう一度停止(■)ボタンを押すと、リジューム機能は解除します。

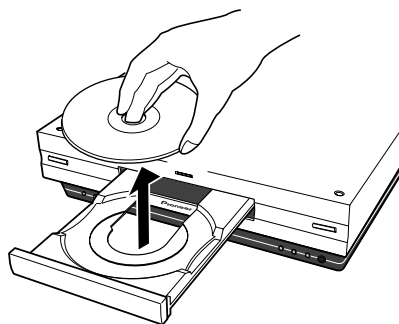
### 2. 本体の開 / 閉ボタンを押します

≜ OPEN / CLOSE

ディスクテーブルが開きます。
リジューム機能も解除されます。

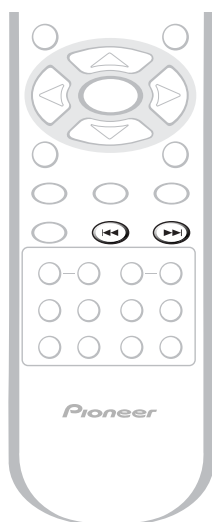
### 3. ディスクを取り出します

### 4. システム ⏻ ボタンを押して電源をオフにします

SYSTEM ⏻

ディスクテーブルが閉まります。

### メ モ

▼ DVDでは、リジューム機能が働いているとき⏮ボタンまたは⏭ボタンを押すと、それまで再生していたタイトルの始めから再生します。リジューム機能が解除されているとき再生(►)ボタンを押すとタイトル1の始めから再生します。
▼ リジューム機能はディスクテーブルを開閉すると解除されます。ディスクの入れ替えをしても、停止した場所や再生中の設定を記憶させておきたいときはラストメモリー機能(P.35)をお使いください。

# 見たい項目にスキップする　DVD/ CD/ VIDEO CD

### 次のチャプター / トラックへ進む

**再生中に ►►| ボタンを押します**

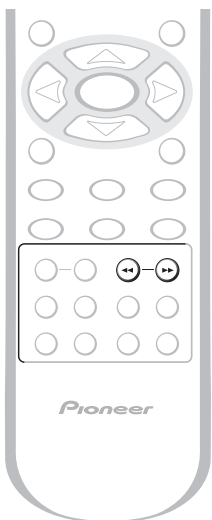
一回押すと、次のチャプター / トラックに進みます。

### 前のチャプター / トラックへ戻る

**再生中に |◄◄ ボタンを押します**

一回押すと再生中のチャプター / トラックの始めに戻ります。

続けて|◄◄ボタンを押すと、前のチャプター / トラックの始めに戻ります。

# ディスクを早送り / 早戻しする　DVD/ CD/ VIDEO CD

### 早送りをする

**1. 再生中に ►► ボタンを押し続けます**

DVD や VIDEO CD では、再生中に ►► ボタンを押し続ける(約 5 秒間)と、►► ボタンから指を離しても早送りを続けて行います。

見たい / 聞きたい場所まできたら、再生(►)ボタンを押してください。

**2. 見たい / 聞きたい場所で指を離します**

その場所から再生が始まります。

### 早戻しをする

**1. 再生中に ◄◄ ボタンを押し続けます**

DVD や VIDEO CD では、再生中に ◄◄ ボタンを押し続ける(約 5 秒間)と、◄◄ボタンから指を離しても早戻しを続けて行います。

見たい / 聞きたい場所まできたら、再生(►)ボタンを押してください。

**2. 見たい / 聞きたい場所で指を離します**

その場所から再生が始まります。

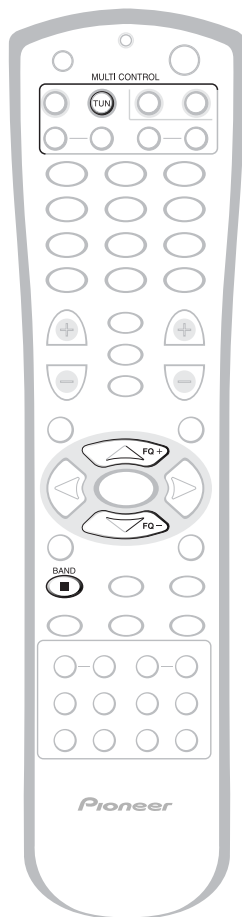
# FM/AM 放送を聞く

アンテナが接続されていないと、FM/AM 放送を聞くことはできません。接続編の取扱説明書を参照して、アンテナを接続してください。

### メ モ

- ▼ 電源がオフの時でも、TUN ボタンを押すとラジオ放送を聞くことができます。(ダイレクトパワーオン)
- ▼ 本機はテレビ放送の 1 ～ 3 チャンネルの音声を受信することができます。
  各チャンネルの周波数は次のとおりです。
  1ch： 95.75MHz
  2ch： 101.75MHz
  3ch： 107.75MHz
  音声はモノラルになります。2ヶ国語放送は主音声のみとなります。

### 注 意

- ◆ FM放送の90MHz～108MHzはテレビ信号が影響してオートチューニングできないことがあります。この場合はマニュアルチューニングで周波数を合わせてください。
- ◆ 本機のFM放送受信回路とテレビ音声受信回路とは兼用回路のため、地域によってはテレビの音声受信時に FM 放送が混信することがあります。

## 1. TUN ボタンを押します

FM/AM 放送が聞ける状態になります。

## 2. バンドボタンを押します

押すごとに、FM と AM が切りかわります。
FM放送を聞くときはFMを、AM放送を聞くときはAM を選択してください。

## 3. FQ+ または FQ －ボタンで聞きたい放送局に周波数を合わせます

周波数の合わせ方 (チューニングのしかた) には、以下の 3 種類があります。

### オートチューニング

#### FQ+またはFQ－ボタンを押して、周波数が動きはじめたら指を離します

周波数が自動に変化して、放送局を受信すると止まり、表示窓に Ψ が点灯します。FM ステレオ放送のときは ◎ も一緒に点灯します。
途中で止めるときは、FQ+ または FQ －ボタンを押します。

### マニュアルチューニング

#### FQ+ または FQ － ボタンを 1 回ずつ押します

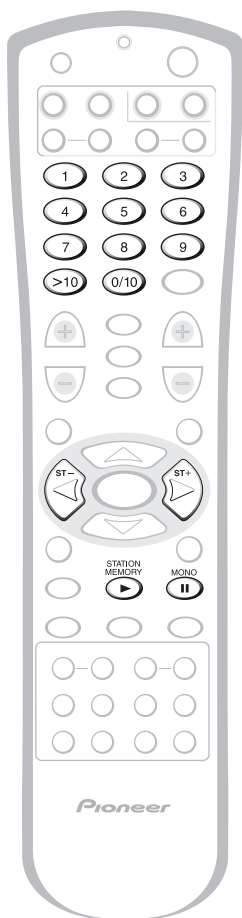
周波数が 1 ステップずつ変化します。
1 ステップは、FM 放送が 0.05MHz、AM 放送が 9kHz です。

### ハイスピードマニュアルチューニング

#### FQ+ または FQ － ボタンを押し続けます

ボタンを押している間、周波数が連続して変化し、指を離すと止まります。

# 放送局を記憶して簡単に選ぶ

FM/AM放送あわせて30局まで、ステーション（記憶番号）に記憶することができます。



## 受信した放送局を記憶させる

例） FM 82.5MHzをステーション3へ記憶させます

### 1. 記憶したい放送局を受信します

例の場合は、FM 82.5MHzを受信します。
FM放送に雑音が多い場合は、リモコンのモノ(MONO)ボタンを押します。

### 2. ステーションメモリーボタンを押します

STATION MEMORY

### 3. ST－/ST+ボタンで、記憶するステーションを選びます

ST− ST+

記憶するためのステーションは1～30まであります。

**リモコンの数字ボタンでも選ぶことができます**

ステーション番号と同じ数字ボタンを押すと、ダイレクトにステーションを選ぶことができます。
この場合、手順4の操作は必要ありません。

1～9　：番号のボタンを押します。

10　：0/10 を押します。

11～30 ：>10 を押してから番号を選びます。

（例）　25 ：>10 2 5

### 4. ステーションメモリーボタンを押して記憶させます

STATION MEMORY

表示が点滅し、FM 82.5MHzがステーション3に記憶されます。

## FM放送に雑音が多いとき

遠い放送局や電波の弱い地域などで、FMのステレオ放送に雑音が多いときは、モノラル再生にして放送を聞きやすくします。リモコンで操作します。

### リモコンのモノ(MONO)ボタンを押します

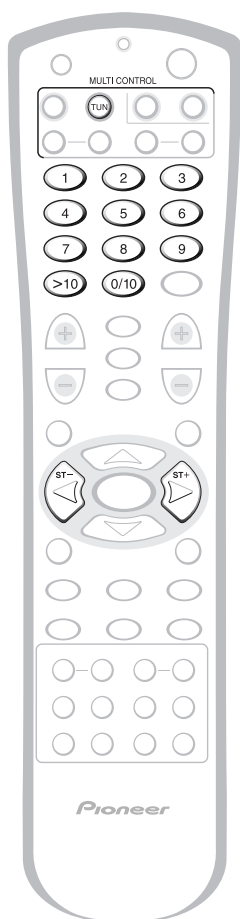
MONO

押すごとに、以下の様に切りかわります。

**ステレオ受信（◯◯点灯）** ←→ **モノラル受信（◯ 点灯）**

### 注 意

◆ すでに記憶されているステーションへ違う放送局を記憶させると、前の放送局は消去され、新しい放送局がステーションに記憶されます。
◆ 停電や電源プラグを抜いた状態で2、3日以上放置した場合、ステーションに記憶した内容が消えてしまう場合があります。
◆ ステレオ受信の場合でも、モノラル放送の場合は、◯ は点灯しません。

21ページにて、各ステーション（記憶番号）に記憶させた放送局を聞くことができます。

## 記憶した放送局を呼び出す

### 1. TUNボタンを押します

FM/AM放送を聞ける状態にします。

### 2. ST－/ST+ボタンで、記憶したステーションを選びます

### リモコンの数字ボタンでも選ぶことができます

ステーション番号と同じ数字ボタンを押すと、ダイレクトにステーションを選ぶことができます。

1～9　：番号のボタンを押します。

10　：0/10 を押します。

11～30：>10 を押してから番号を選びます。

（例）　25：>10 2 5

# サウンドモードを使う（Dolby/DTS モード）

このモードは、ドルビーデジタルや DTS（デジタルシアターシステム）、2 チャンネル音声などで再生されたソフトの音声フォーマットを自動検出して、デコード処理方式を切りかえます。（アナログ信号や 96kHz/24 ビットのデジタル信号は除きます。）また、DSP モードと一緒に使用することはできません。

**AUTO**

ドルビーデジタルや DTS 対応音声はそのまま忠実にデコードし、2 チャンネル音声は STEREO（ステレオ）モードにてそのまま出力されます。

**STANDARD**

ドルビーデジタルや DTS 対応音声はそのまま忠実にデコードし、2 チャンネル音声はドルビープロロジック処理を行います。

**SURROUND OFF**

すべての音声信号においてデコード処理をしないで、左右のフロントスピーカーとサブウーファーで再生します。

本機を簡単に楽しむ

## ADVANCED THEATER モード

ADVANCED THEATER モードには、DSP（デジタルサウンドプロセッシング）を使った以下の 6 つの設定があります。このモードは、映画のサウンドトラックやそれ他のあらゆるAVソフトを最適な音声で楽しむためのモードです。STANDARDと同じデコード処理方式を行います。再生する映画または音楽ソフトに合わせて選択してください。

**MUSICAL**

ほとんど球に近い理想の空間での反射音を再現します。宇宙空間に漂う未来のコンサートホールのイメージです。音楽ソフトやミュージカル系の映画の再生に効果的です。

**DRAMA**

リアスピーカーからの音が一体となって、1つの大きなスピーカーのように響くイメージで、落ち着いた雰囲気で映画を楽しんでいただけます。幅広い範囲でサラウンド効果が楽しめ、直接音もしっかりと響きます。ストーリー性重視の映画の再生に効果的です。

**ACTION**

包み込むような空間での反射音を再現します。大きい音がしっかり定位し、躍動感、スピード感が楽しめます。アクションシーンや戦闘、爆発シーンの迫力が、包み込むように再現され、映画の迫力や臨場感を、あますところなく楽しんでいただけます。アクション系の映画の再生に効果的です。

**VIRTUAL　SURR. 1**

リアスピーカーの設置が困難な場合に、フロントスピーカーとサブウーファーのみで仮想立体音響を実現するモードです。（このときリアスピーカーとセンタースピーカーからは音が出ません。）

**VIRTUAL　SURR. 2**

リアスピーカーの設置が困難な場合に、フロントスピーカーのそばにリアスピーカーを設置して、仮想立体音響を実現するモードです。（このときセンタースピーカーからは音が出ません。）

**REAR WIDE**

ドルビープロロジックではリアの音声はモノラルになっていますが、このモードではそれを疑似ステレオ化して、広がり感を持たせることができます。

## Dolby/DTS モードを切りかえる

MULTI CONTROL
SYS
7
DD / DTS

**メ モ**

▼ ADVANCED THEATERモードの効果は、STANDARD と一緒に使うことはできません。

### 1. SYS ボタンを押します

SYS

### 2. DD/DTS ボタンを押します。

7
DD / DTS

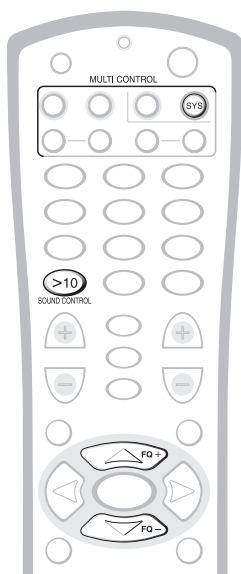
押すごとに、以下のように切りかわります。

AUTO → STANDARD → MUSICAL → DRAMA → ACTION → VIRTUAL SURR. 1 → VIRTUAL SURR. 2 → REAR WIDE → SURROUND OFF → AUTO

## ADVANCED THEATER モードの効果レベルを調整する

SYS
MULTI CONTROL
>10
SOUND CONTROL
FQ＋
FQ－

**1.** SYS **SYS ボタンを押します**

**2.** >10 SOUND CONTROL **サウンドコントロールボタンを押します**

**3.** FQ＋ FQ－ **△/▽ ボタンで効果レベルを調整します**

10 から 90 までの範囲で調整することができます。

# サウンドモードを使う（DSP モード）

DSP（Digital Signal Processing）モードは、標準のステレオ（2 チャンネル）ソフトやドルビーサラウンド対応ソフトを、最適な環境で楽しむためのモードで、5.1 チャンネルで収録された音声でも使用できます。（ただし、96kHz/24 ビットのデジタル信号は除きます。）また、Dolby/DTS モードと一緒に使用することはできません。

**HALL 1**

大型のコンサートホールをシミュレートしています。クラシック系の音楽に適しています。反射音の遅延時間帯が長く、さらに残響音を加えることでコンサートホール特有の美しい響きと、オーケストラの迫力が楽しめます。

**HALL 2**

石（コンクリート製）のコンサートホールをシミュレートしています。残響音豊かな本格的コンサートホールの響きを楽しむことができます。クラシック音楽などで自然な広がりを感じていただけます。

**JAZZ**

一般的なジャズクラブをシミュレートしています。音の響きが強くなるのが特徴です。反射音のほとんどが100ms以下で、目の前で再生しているような迫力を楽しめます。

**DANCE**

ダンスフロアの床面が正方形をしているディスコをシミュレートしています。音の響きが強いのが特徴です。反射音の遅延時間はほとんどが 50ms 以下で、迫力あるディスコサウンドが楽しめます。

**THEATER 1**

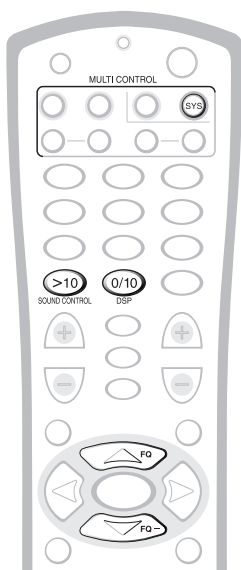
各チャンネルの定位感を損なわずに中型映画館の音響効果を再現します。映画館の雰囲気が楽しめます。

**THEATER 2**

各チャンネルの定位感を損なわずに映画館の音場を再現します。

**SIMULATED STEREO**

モノラル音声を、疑似ステレオ再生します。（サラウンドスピーカーからは音が出ません。）

## サウンドモードを使う（DSP モード）

### DSP モードを切りかえる

**1.** SYS

**SYS ボタンを押します**

**2.** 0/10 DSP

**DSP ボタンを押します。**

押すごとに、以下のように切りかわります。

DSP OFF → HALL1 → HALL 2 → JAZZ → DANCE → THEATER 1 → THEATER 2 → Simulated Stereo → DSP OFF

### DSP モードの効果レベルを調整する

**1.** SYS

**SYS ボタンを押します**

**2.** >10 SOUND CONTROL

**サウンドコントロールボタンを押します**

**3.** FQ＋ FQ－

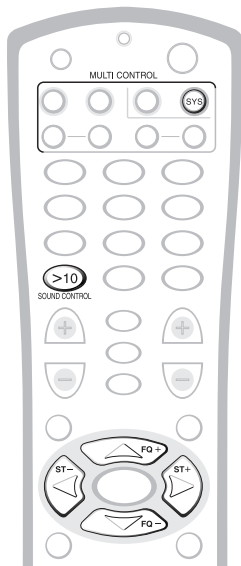
**△/▽ ボタンで効果レベルを調整します**

# 音質をかえる

再生する曲の高音部（TREBLE）と低音部（BASS）の音質を、それぞれ調整することができます。
ただしDolby/DTSモードで、AUTO、STANDARD、SURROUND OFF を選択し、DSP モードで DSP OFF のときだけにしか、効果がありません。

**1.** SYS

**SYS ボタンを押します**

**2.** >10 SOUND CONTROL

**サウンドコントロールボタンを押します**

**3.** **◁ / ▷ ボタンを押して、"BASS" か "TREBLE" にします**

ST－ ST＋

BASS +3

TREBLE 0

**4.** FQ＋ FQ－

**△/▽ ボタンで音質のレベルを調整します**

調整範囲は、± 3 までです。

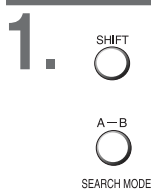
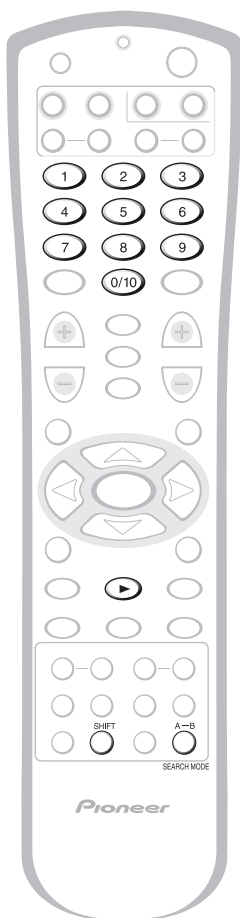
本機を簡単に楽しむ

# 見たい / 聞きたい場所を探す　DVD / CD / VIDEO CD

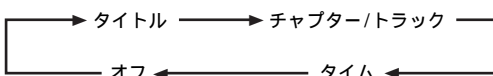
見たい / 聞きたい場所を、以下の方法で簡単に探すことができます。

- DVDのタイトル（タイトルサーチ）
- DVDのチャプター（チャプター / トラックサーチ）
- ビデオCDまたはCDのトラック（チャプター / トラックサーチ）
- 見たい / 聞きたい再生の時間（タイムサーチ）

### 注 意

◆ ディスクによってはメニューを使ってサーチできるものもあります。この場合、メニューボタンを押してメニューを表示させて選択してください(P.17)。
◆ ディスクによってサーチ機能を禁止しているものがあります。その場合は🚫マークが画面に表示されます。
◆ CDではタイムサーチはできません。
◆ タイムサーチでは、指定時間より少しずれた位置から再生が始まることがあります。
◆ DVDでは、停止中にタイムサーチはできません。
◆ ビデオCDのPBC再生時には、タイムサーチはできません。タイムサーチを行うにはPBC再生を止めてください(P.17)。

## 1. シフトボタンを押してから、サーチモードボタンを押します

押すごとに、サーチの種類が切りかわります。

タイトル → チャプター/トラック → タイム → オフ →（タイトルへ戻る）

## 2. 数字ボタンで、見たい/聞きたい場所を入力します

### タイトル、チャプター/トラックサーチのとき

3を選ぶには、3を押します。
10を選ぶには、1と0を押します。
37を選ぶには、3と7を押します。

### タイムサーチのとき

21分43秒を選ぶには、2、1、4、3と押します。
1時間14分(=74分00秒)を選ぶには、7、4、0、0と押します。

## 3. 再生（▶）ボタンを押します

指定したタイトル、チャプター、トラックを再生します。タイムサーチのときは、指定した時間から再生します。

## ダイレクトサーチ

サーチモードボタンを押さなくても、数字ボタンを押すだけで見たい / 聞きたい場所を探すことができます。

### DVDのとき

#### 停止中に、数字ボタンでタイトルの番号を入力します

9までは、同じ数字のボタンを押します。
10以上は、>10ボタンを押してから、数字のボタンを押します。

#### 再生中に、数字ボタンでチャプターの番号を入力します

9までは、同じ数字のボタンを押します。
10以上は、>10ボタンを押してから、数字のボタンを押します。

### CD/VIDEO CDのとき

#### 再生中に、数字ボタンでチャプターまたはトラック番号を入力します

9までは、同じ数字のボタンを押します。
10以上は、>10ボタンを押してから、数字のボタンを押します。

# 静止画／速さを変えて再生する　DVD/ CD/ VIDEO CD

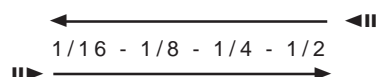
## 画像をスローで見る（スロー再生）

**1.** **スロー再生が始まるまで ◀II/II▶ ボタンを押しつづけます**

スロー再生が始まります。
◀II　：逆方向
II▶　：前方向

**2.** **◀II/II▶ ボタンを押して、スロー再生の速さを切りかえます**

前方向のスロー再生中に ◀II/II▶ ボタンを押すと、スロー再生の速さを 4 段階に切りかえることができます。（後方向のスロー再生は、切りかえることができません。）

◀II ←
1/16 ― 1/8 ― 1/4 ― 1/2
II▶ →

### スロー再生を止めるには

再生(▶)ボタンを押します。

DVDを使う

## 画像を止めて見る（静止画再生）

MONO

**再生中に再生一時停止（II）ボタンを押します**

### 静止画再生を止めるには

再生(▶)ボタン、または再生一時停止(II)ボタンを押します。

## 注 意

◆ 静止画、コマ送り、スロー再生中は音声が出力されません。
◆ 静止画の画像にブレがあるときは、初期設定画面の[ポーズモード]を[フィールド]に切り換えてください(P.43)。
◆ ディスクによっては、静止画再生、コマ送り再生、スロー再生のできないディスクもあります。その場合は マークまたは マークが画面に表示されます。
◆ ビデオCDでは逆方向のスロー再生、コマ送り再生はできません。

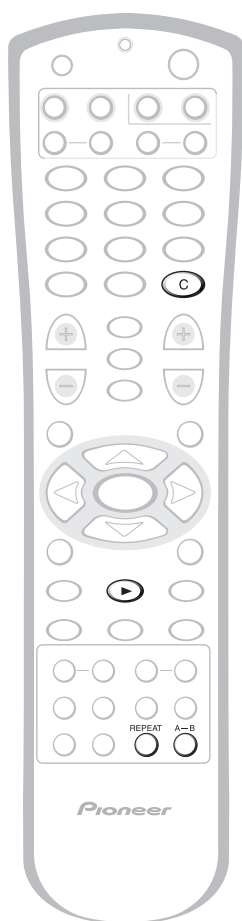
## 画像をコマ送りで見る（コマ送り再生）

**静止画再生中(一時停止中)に、◀II/II▶ を押します**

1 度押すと 1 コマ送ります。
◀II　：逆方向
II▶　：前方向

### コマ送り再生を止めるには

再生(▶)ボタンを押します。

# 繰り返し再生する（リピート再生） DVD/ CD/ VIDEO CD

## チャプターまたはトラックを繰り返し再生する

REPEAT

**繰り返したいチャプターまたはトラックの再生中に、リピートボタンを1回押します**

再生中のチャプターまたはトラックを繰り返します。

## 1 つのタイトルを繰り返し再生する

REPEAT

**繰り返したいタイトルの再生中に、リピートボタンを 2 回押します**

再生中のタイトルを繰り返します。
CD、またはビデオ CD では、ディスク全体を繰り返し再生します。

## 指定した範囲を繰り返し再生する

1. A－B SEARCH MODE
**再生中に、繰り返したい範囲の始めで A-B ボタンを押します**

2. A－B SEARCH MODE
**繰り返したい範囲の終わりで A-B ボタンを押します**
指定した範囲を繰り返し再生します。

## 指定した箇所に戻って再生する

1. A－B SEARCH MODE
**再生中に、A-Bボタンを押して、戻る箇所を指定します。**

2. **指定した箇所に戻りたいとき、再生(►)ボタンを押します**
指定した箇所に戻ってから再生します。

## リピート再生を止めるには

C ENTER/DISC DISP

**クリアボタンを押します**

リピート再生は解除され、通常の再生に戻ります。

### メ モ

▼ プログラム再生中(P.30)にリピートボタンを押すと、プログラム再生を繰り返します。

### 注 意

◆ DVDではタイトルによってはリピート再生のできないものがあります。そのときは、マークが表示されます。
◆ ビデオ CD の PBC 再生時にはリピート再生はできません。リピート再生をするには、ディスクの停止中に繰り返したいトラック番号を数字ボタンで入力し、それからリピートボタンを押します(P.17)。
◆ リピート再生中にアングルを切り換える(P.36)とリピート再生は解除されます。

# 順不同に再生する（ランダム再生） DVD/ CD/ VIDEO CD

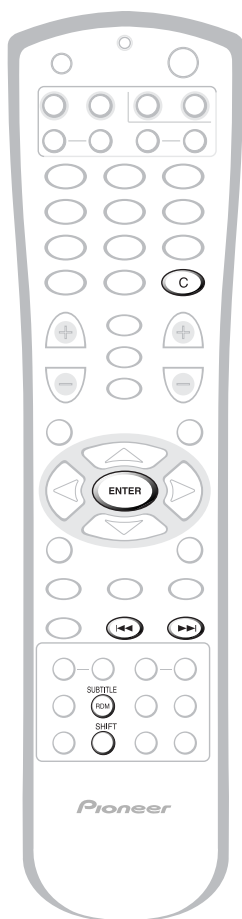
ＤＶＤのタイトルやチャプター、ビデオＣＤまたはＣＤのトラックを順不同に再生することができます。

Pioneer

### メ モ

▼ ランダム再生中に▶▶ıボタンを押すと、本機が順不同に次の曲または場面を選んで再生します。
▼ ランダム再生中にı◀◀ボタンを押すと、現在再生中の曲または場面を始めから再生し直します。

### 注 意

◆ ビデオＣＤのＰＢＣ再生時にはランダム再生はできません。ランダム再生するには、ディスクの停止中に、トラック番号を数字ボタンで入力し、それからシフトボタンとランダムボタンを押します。
◆ ＤＶＤの場合、ディスクによってはランダム再生ができないものがあります。
◆ ランダム再生を繰り返すことはできません。

## DVD のとき

### チャプターをランダム再生する

**1.** SHIFT / SUBTITLE RDM

**再生中にシフトボタンを押してから、ランダムボタンを 1 回押します**

**2.** ENTER

**エンターボタンを押します**

再生しているタイトル内のチャプターを順不同に再生します。

### タイトルをランダム再生する

**1.** SHIFT / SUBTITLE RDM

**再生中にシフトボタンを押してから、ランダムボタンを 2 回押します**

**2.** ENTER

**エンターボタンを押します**

タイトルを順不同に再生します。

## CD/ VIDEO CD のとき

### トラックをランダム再生する

SHIFT / SUBTITLE RDM

**再生中にシフトボタンを押してから、ランダムボタンを押します**

順不同に再生を開始します。

### ランダム再生を止めるには

C ENTER/DISC DISP

**クリアボタンを押します**

現在再生されているチャプター / トラックからランダム再生は解除され、通常の再生に戻ります。

DVDを使う

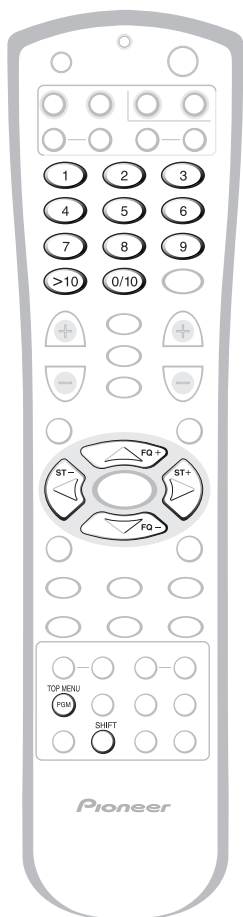
# 好きな順番で再生する（プログラム再生） DVD/ CD/ VIDEO CD

DVDのタイトルやチャプター、ビデオCDまたはCDのトラックを希望の順番に並べかえて再生します。最大24ステップまでプログラムすることができます。

### メ モ

▼ ディスクテーブルを開くと、プログラムはすべて消えてしまいます。DVDでは、残しておきたいプログラムを本機に記憶させることができます(P.34)。

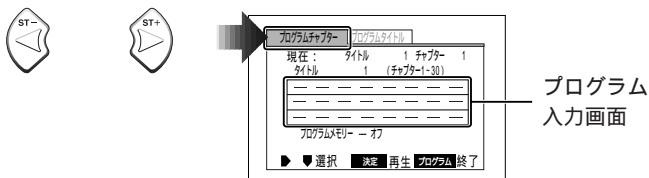
### 注 意

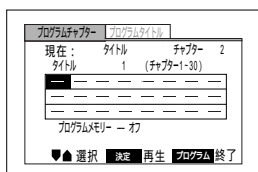
◆ DVDの場合、ディスクによってはプログラムできないものがあります。そのようなディスクでは、画面にマークが表示されます。
◆ チャプターのプログラムは、同じタイトル内のチャプターでのみプログラムできます。
◆ チャプターが変わるときに、プログラムしていないチャプターの画面が見えることがありますが、故障ではありません。

## DVD のとき

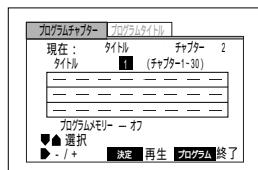
タイトルを好きな順番で再生する[プログラムタイトル]と、選んだタイトルの中のチャプターを好きな順番で再生する[プログラムチャプター]とがあります。

### 1. シフトボタンを押してから、プログラムボタンを押します

プログラム画面が表示されます。

### 2. ◁/▷ボタンで、[プログラムチャプター]か[プログラムタイトル]を選びます

プログラム入力画面

### 3. ▽ ボタンでカーソルをプログラム入力画面に移動させます

### [プログラムチャプター]では、チャプターのタイトルを選びます

プログラムしたいチャプターのあるタイトル番号は、プログラム入力画面の最上段で△ボタンを押してから、数字ボタンか △ ▽ボタンで指定します。

### 4. プログラム再生したい順に、タイトルまたはチャプターの番号を数字ボタンで指定します

例）タイトル / チャプターを 9、7、18 の順にプログラムするには、9、7、>10、1、8 と押します。

## 5. エンターボタンを押します

ENTER

指定した順に再生を開始します。
エンターボタンの代わりに、シフトボタンを押してからプログラムボタンを押すと、プログラム登録だけされて、再生は開始しません。

## CD/VIDEO CD のとき

## 1. シフトボタンを押してから、プログラムボタンを押します

SHIFT
TOP MENU
PGM

プログラム画面が表示されます。

プログラムトラック
現在：　トラック　1 (/12)
トータルタイム　0.00
09 07 18

選択　決定 再生　プログラム 終了

プログラム
入力画面

## 2. プログラム再生したい順に、数字ボタンでトラックの番号を指定します

例）トラックを 9、7、18 の順にプログラムするには、9、7、>10、1、8 と押します。

9　7　>10　1　8

## 3. エンターボタンを押します

ENTER

指定した順に再生を開始します。
エンターボタンの代わりに、シフトボタンを押してからプログラムボタンを押すと、プログラム登録だけされて、再生は開始しません。

## プログラム再生を止めるには

### 再生中にクリアボタンを押します

C
ENTER/DISC DISP

通常の再生に戻ります。
停止中にクリアボタンを押すと、すべてのプログラムが消去されてしまいます。

### 注 意

◆ ビデオCDのPBC再生時にはプログラム再生はできません。プログラム再生を行うにはPBC再生を止めてください(P.17)。

DVDを使う

## 映像や音を確認しながらプログラム登録するには

ディスクを再生して、映像や音を確認しながら、チャプター / トラックをプログラムすることができます。

**1.** SHIFT TOP MENU PGM

### プログラム登録したいチャプターまたはトラックの再生中に、シフトボタンを押してからプログラムボタンを 2 秒以上押します

以下のような画面が表示されます。

DVD

チャプター　０３▶ プログラム　０１

CD/ ビデオ CD

トラック　０１▶ プログラム　０２

**2.** SHIFT TOP MENU PGM

### さらにプログラム登録したいときは、手順 1 を繰り返します

順次プログラムに追加されていきます。

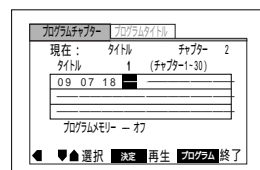
## プログラム内容を確認するには

**1.** SHIFT TOP MENU PGM

### シフトボタンを押してからプログラムボタンを押します

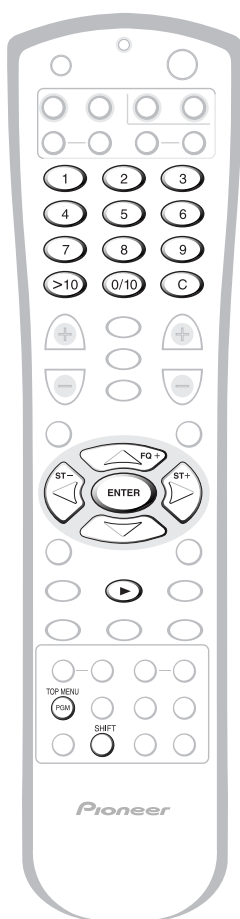
DVD ではさらに ◁/▷ ボタンで[プログラムチャプター]か[プログラムタイトル]を選びます。

プログラムチャプター　プログラムタイトル
現在：　タイトル　チャプター　2
タイトル　1　(チャプター1〜30)
09 07 18 ▬
プログラムメモリー ― オフ
◀ ▼▲選択 決定 再生 プログラム 終了

**2.** ENTER ▶

### エンターボタン、または再生(▶)ボタンを押して、再生を開始します

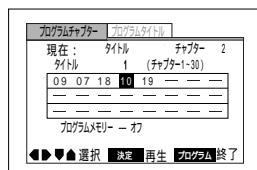
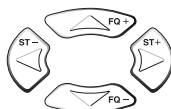
シフトボタンを押してからプログラムボタンを押すと、プログラム確認だけされて、再生は開始しません。

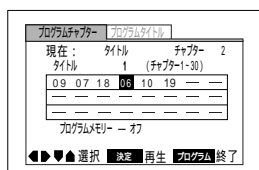
### 注 意

- ◆ すでにプログラムが入力されているときは、そのプログラムの後ろに追加されます。
- ◆「プログラムタイトル」が入力された状態でこの機能を使った場合は、チャプターではなく、タイトルがプログラムされます。
- ◆ すべてのプログラム(24ステップ)が入力されているときは🚫が表示され、新しくプログラムを入力することはできません。
- ◆ チャプタープログラムされているタイトルと現在再生しているタイトルが異なるときは🚫が表示され、プログラムを入力することができません。

## プログラムを追加する

### 1. シフトボタンを押してからプログラムボタンを押します

DVD ではさらに ◁/▷ ボタンで[プログラムチャプター]か[プログラムタイトル]を選びます。

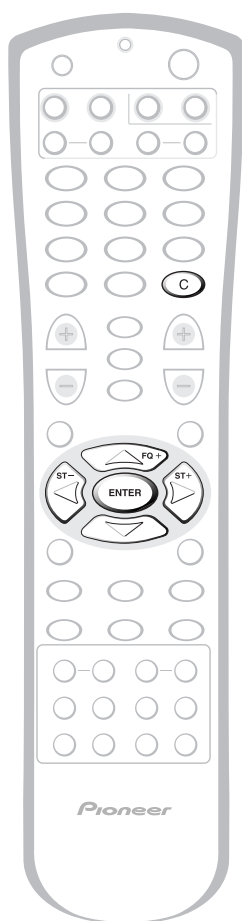
### 2. ◁/▷/△/▽ボタンで、プログラムを追加したい箇所を指定します

### 3. 追加したいタイトルまたはチャプターの番号を数字ボタンで指定します

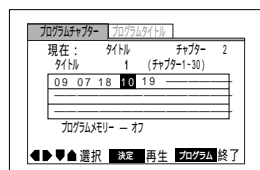
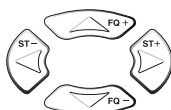
指定された番号は後へ移動し、新しい番号が挿入されます。

### 4. エンターボタン、または再生(►)ボタンを押して、再生を開始します

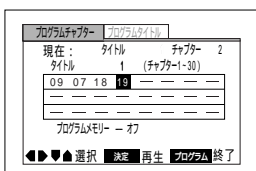
シフトボタンを押してからプログラムボタンを押すと、プログラム確認だけされて、再生は開始しません。

## プログラムの内容をすべて消去するには

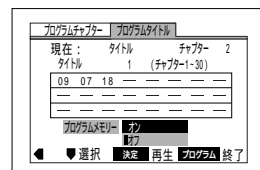
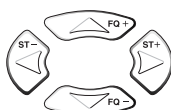
### 停止中にクリアボタンを押します

本機に記憶させたプログラムがすべて消去されます。

## プログラムの内容を 1 つずつ消去するには

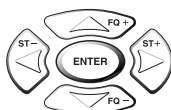
### 1. ◁/▷/△/▽ ボタンで消去したい番号を指定します

### 2. クリアボタンを押します

指定された番号は消去され、後の番号が 1 つずつ前に移動します。

## プログラムを記憶する（プログラムメモリー）

ディスクを取り出しても、最大24枚までDVDのプログラムを記憶することができます。プログラムを記憶すると、次に同じディスクを再生したとき、プログラム再生を開始します。
ただし記憶されたディスクが 24 枚を超えると、自動的に古いディスクの記憶から消去されます。

### 1. ◁/▷/△/▽ ボタンで、[プログラムメモリー]の[オン]を選びます

### 2. エンターボタンを押します

### 3. プログラムの記憶を消去する

記憶したプログラムを消すには、◁/▷/△/▽ ボタンで[プログラムメモリー]の[オフ]を選び、エンターボタンを押します。ただし、プログラム入力画面に数字は残ったままです。

### メ モ

▼ エフディスクについて
この機能を使うと、（株）フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたエフディスクをお客様のお好み順に再生することができます。また、ディスク内の最大24個のチャプターを指定した順に並び替えてプレーヤーのメモリーに記録することにより、次回ディスクを挿入すると自動的にその順番に再生することもできます。最大 24 枚のディスクについてお好み順を記録しておくことができ、各ディスクで指定した並び順がプレーヤー内に記録されます。

# 前に見たディスクのつづきを再生する　DVD/ VIDEO CD

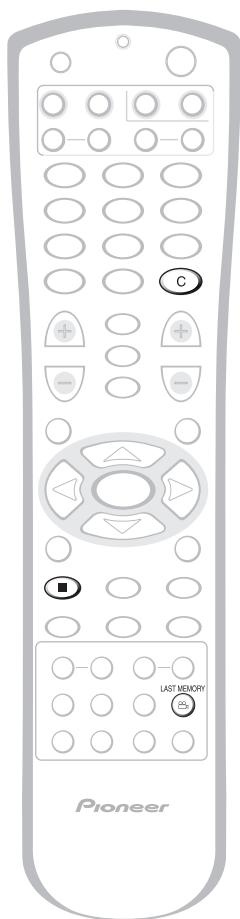
この機能を使うと、つづきから見る場所とそのときの設定内容をDVDは5枚まで、ビデオCDは1枚記憶させておくことができます。リジューム機能(P.18)と違い、一度記憶するとディスクを取り出しても記憶は消去されません。

C

LAST MEMORY

Pioneer

### 注 意

◆ DVDの場合、ディスクによってはつづきから見る場所を記憶できないことがあります。
◆ DVDでは、記憶された枚数が5枚を超えると古い記憶（最初に記憶したもの）から消去されます。
◆ ビデオCDでは、1枚のみ記憶することができますが、ディスクを取り出すと記憶が消去されます。
◆ ビデオCDでは、PBC再生をしたときは、つづきから見る場所を記憶できない箇所があります。つづきから見る場所を記憶できないときは、メニューを出さずに再生してください(P.17)。

## つづきから見る場所を記憶する

LAST MEMORY

### 再生中にラストメモリーボタンを押します

画面に"ラストメモリー"と表示され、場所が記憶されました。ディスクを取り出したり電源をオフにしても、この場所から再生を開始することができます。

## 記憶させたつづきから見る

### 1. つづきから見る場所を記憶させたディスクを入れます

BAND ■

DVDの中には、ディスクを入れると自動的に再生をはじめるものがあります。この場合、停止(■)ボタンを押して再生を止めてください。

### 2. 停止中にラストメモリーボタンを押します

LAST MEMORY

記憶させたつづきから、再生を開始します。

## 記憶したつづきを消去するには

LAST MEMORY

C

ENTER/DISC　DISP

### ラストメモリーボタンを押して、画面に"ラストメモリー"と表示されている間にクリアボタンを押します。

表示窓の"LAST MEMORY"インジケーターが消灯し、記憶が消去されます。

# 映像のアングルを切りかえる（マルチアングル） DVD

複数の方向（アングル）から映した映像を収録したDVDは、再生中にアングルを切りかえることができます。複数のアングルが収録されたDVDのジャケットには🎥マークが付いています。

SHIFT
LAST MEMORY

**1.** SHIFT / LAST MEMORY

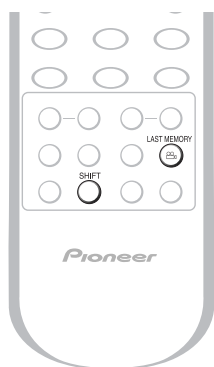
### 再生中に🎥マークが表示されたら、シフトボタンを押してから、アングルボタンを押します

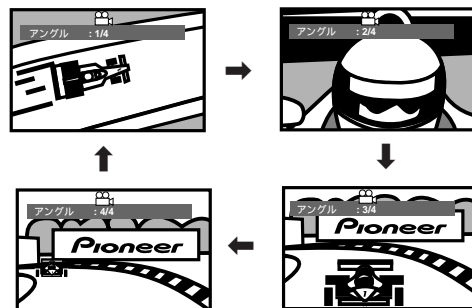
複数のアングルが収録されている場所にくると、🎥マークが画面に表示されます。

**2.** SHIFT / LAST MEMORY

### さらに、シフトボタンを押してから、アングルボタンを押して、お好みのアングルを選びます

押すごとに、アングルが切りかわります。
一時停止中にアングルを切り換えると、一時停止は解除されます。

アングル :1/4 → アングル :2/4 → アングル :3/4 → アングル :4/4

**注 意**

◆ 🎥マークを表示させたくないときは、DVD初期設定画面で[エキスパート]に設定してから、[アングルインジケーター]を[オフ]にします(P.41、43)。

# 再生中に字幕を切りかえる DVD

複数の言語で字幕が記録されたDVDを再生しているときは、表示する字幕を切りかえる ことができます。

SUBTITLE RDM

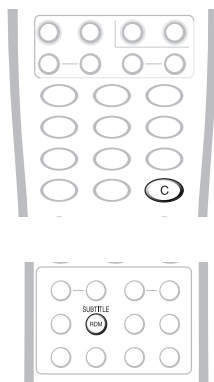
### DVDの再生中に字幕ボタンを押します

現在選択している字幕が表示されます。

SUBTITLE RDM

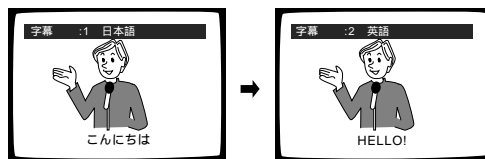
### さらに字幕ボタンを押します

押すごとに字幕表示が切りかわります。

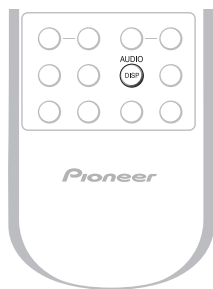
字幕 :1 日本語 / こんにちは → 字幕 :2 英語 / HELLO!

**注 意**

◆ ここで切り換えた字幕言語は一時的なものです。リジューム機能(P.18)を解除したとき、またはディスクを本機から取り出したとき、DVD初期設定画面の[字幕言語](P.44)で選択した字幕言語に戻ります。
◆ ディスクによっては切りかえられない場合があります。また、ディスクのメニューで行える場合もあります。その場合には、メニューボタンを押してメニュー画面を表示させてから設定します。

## 字幕を消すには

SUBTITLE RDM / C ENTER/DISC DISP

### 字幕ボタンを押したあとに、クリアボタンを押します

# 再生中に音声を切りかえる DVD

複数の言語で音声が記録されたDVDを再生しているときは、再生する音声を切りかえることができます。

**注 意**

◆ ここで切り換えた音声言語は一時的なものです。リジューム機能(P.18)を解除したとき、またはディスクを本機から取り出したとき、DVD初期設定画面の[音声言語](P.44)で選択した字幕言語に戻ります。
◆ ディスクによっては切りかえられない場合があります。また、ディスクのメニューで行える場合もあります。その場合には、メニューボタンを押してメニュー画面を表示させてから設定します。

## 1. DVDを再生中に音声ボタンを押します

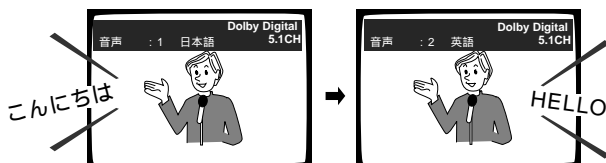
AUDIO DISP

現在選択している音声が表示されます。

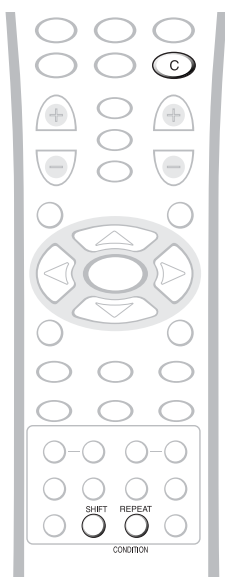
## 2. さらに音声ボタンを押します

AUDIO DISP

押すごとに音声が切りかわります。
ディスクによっては音声を切りかえたときに一瞬静止画になるときがあります。

音声 ：1 日本語 Dolby Digital 5.1CH
こんにちは
➡
音声 ：2 英語 Dolby Digital 5.1CH
HELLO



# よく見るDVDの設定を記憶させる DVD

コンディションメモリー機能を使うと、よく見るDVDの設定内容を最大15枚まで記憶させることができます。一度記憶すると電源を切ったり、ディスクを取り出しても記憶は消去されません。

**注 意**

◆ ディスクによってはコンディションメモリーで記憶された設定が自動的に切りかわるものがあります。

## ディスクが入った状態で、シフトボタンを押してから、コンディションメモリーボタンを押します

SHIFT
REPEAT
CONDITION

画面に"コンディションメモリー"と表示され、以下の5つの設定が記憶されます。
・視聴制限（P.48） ・マルチアングル（P.36）
・画面表示（P.43） ・音声言語（P.44）
・字幕言語（P.44）
記憶された枚数が15枚を超えると古い記憶(最初に記憶したもの)から消去されます。

### 記憶してあるディスクを入れると

画面に"コンディションメモリー"と表示され、自動的に記憶された設定になります。表示窓には"CONDITION"インジケーターが点灯します。
また一度記憶された設定は、何度再生しても記憶されたままです。

### コンディションメモリーを消去するには

## シフトボタンを押してからコンディションメモリーボタンを押して、画面に"コンディションメモリー"と表示されている間にクリアボタンを押します

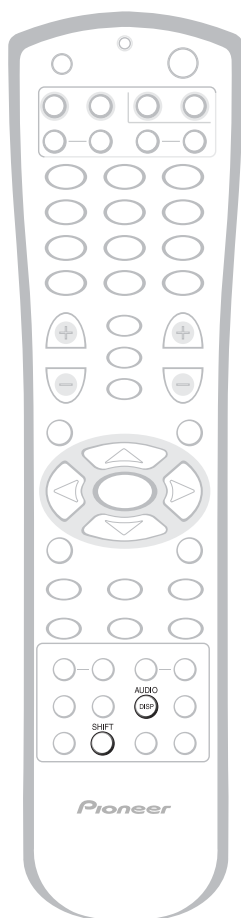
SHIFT
REPEAT
CONDITION
C
ENTER/DISC DISP

表示窓の"CONDITION"インジケーターが消灯し、記憶が消去されます。

# ディスクの情報を見る DVD/ CD/ VIDEO CD

DVDのタイトルやチャプター情報、またはビデオCDやCDのトラック情報を見ることができます。停止中にはトータル情報が表示され、再生中にはより細かなディスク情報が見ることができます。

## 再生中にディスクの情報を見る

SHIFT
AUDIO DISP

### 再生中にシフトボタンを押してから、ディスプレイボタンを繰り返し押します

押すごとに以下のようなディスク情報が画面上部に表示されます。また、表示画面が消えているときにシフトボタンを押してから、ディスプレイボタンを押し続けている間、ディスクの残り時間を表示します。

## DVD のとき

現在のタイトル番号－チャプター番号
タイトルの経過時間
再生 3−29 49.58
タイトル −51.06/101.04
タイトルの残り時間
タイトルの総時間

↓

現在のタイトル番号－チャプター番号
現在のタイトルの経過時間
再生 3−32 54.53
チャプター 0.21/ 1.51
チャプターの経過時間
チャプターの総時間

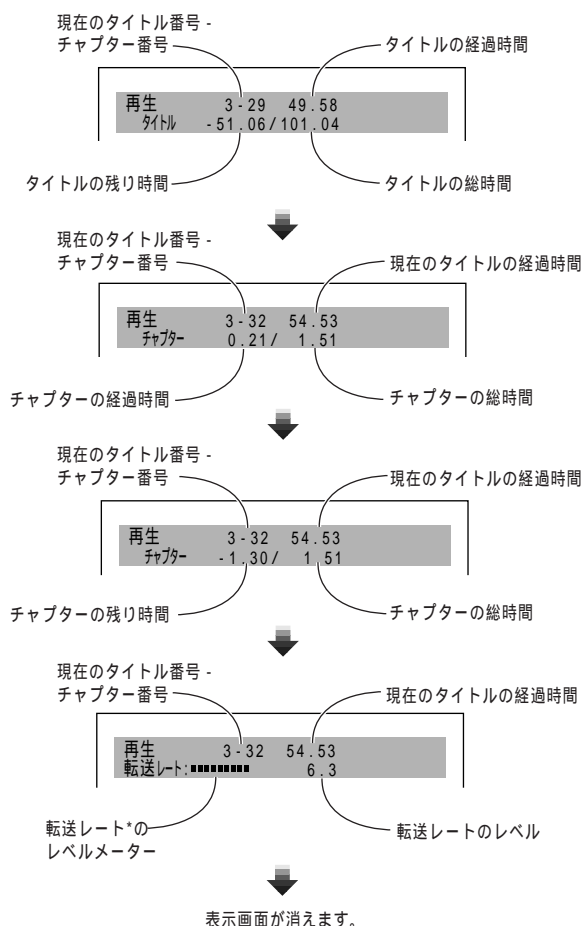
↓

現在のタイトル番号－チャプター番号
現在のタイトルの経過時間
再生 3−32 54.53
チャプター −1.30/ 1.51
チャプターの残り時間
チャプターの総時間

↓

現在のタイトル番号－チャプター番号
現在のタイトルの経過時間
再生 3−32 54.53
転送レート:▪▪▪▪▪▪▪▪▪ 6.3
転送レート*のレベルメーター
転送レートのレベル

↓

表示画面が消えます。

### メ モ

▼ 転送レートとは、DVDに記録されている画像の情報量を示す値です。転送レートのレベルが高いほど情報量は多くなりますが、画質が良いとはかぎりません。

### 注 意

◆ タイトルによってはチャプターや時間が表示されないものがあります。
◆ ビデオCDのPBC再生中、またはファイナライズしていないCD-Rを再生中は、表示されないディスク情報があります。

## VIDEO CD のとき

現在のトラック番号/総トラック数
ディスクの総経過時間

再生 オール 3/12 10.53 −59.26/ 70.19

ディスクの残り時間
ディスクの総時間

トラック番号
ディスクの総経過時間

再生 トラック 3 10.53 3.56/ 5.23

トラックの経過時間
トラックの総時間

トラック番号
ディスクの総経過時間

再生 トラック 3 10.53 −1.27/ 5.23

トラックの残り時間
トラックの総時間

表示画面が消えます。

## CD のとき

トラック番号
トラックの経過時間

再生 トラック 1 0.03 −3.29/ 3.32

トラックの残り時間
トラックの総時間

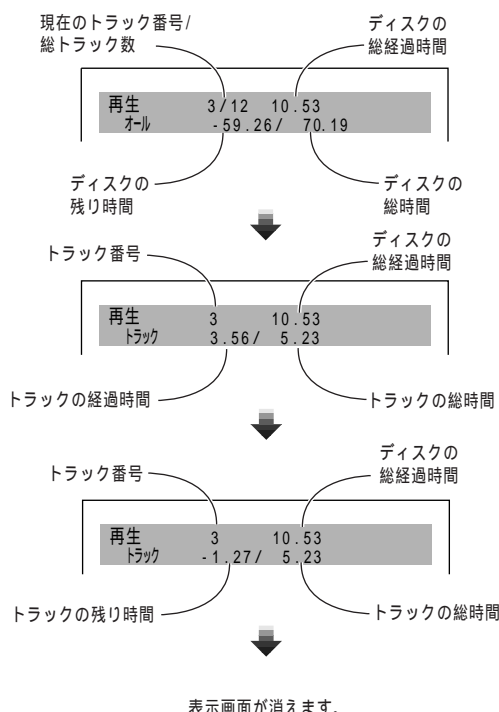
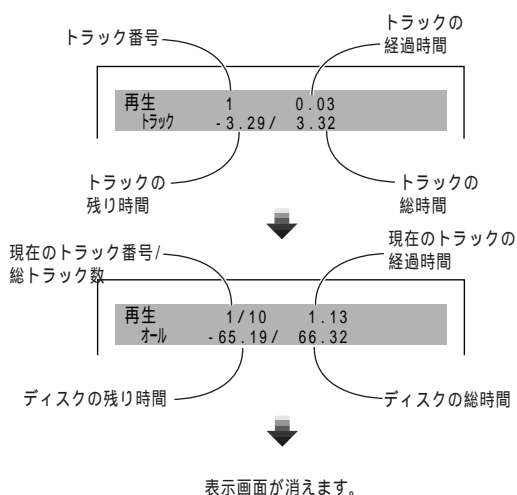
現在のトラック番号/総トラック数
現在のトラックの経過時間

再生 オール 1/10 1.13 −65.19/ 66.32

ディスクの残り時間
ディスクの総時間

表示画面が消えます。

## 停止中にディスクの情報を見る

SHIFT
AUDIO DISP

### 停止中にシフトボタンを押してから、ディスプレイボタンを繰り返し押します

ディスク情報の画面が表示されます。

## DVD のとき

タイトルとそれぞれのタイトル内のチャプター数が表示されます。

インフォメーション:DVD

| タイトル | チャプター | タイトル | チャプター |
|---|---|---|---|
| 01 | 1~30 | 06 | 1~10 |
| 02 | 1~21 | 07 | 1~13 |
| 03 | 1~46 | 08 | 1~5 |
| 04 | 1~12 | 09 | 1~4 |
| 05 | 1~8 | 10 | 1~8 |

1/2 ▶ 画面表示 終了

1/2 とは、情報が 2 ページあり、この画面がその 1 ページ目であることを表わします。

ディスクの情報が2ページ以上あるときは、▷ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

## CD/VIDEO CD のとき

トラックとそれぞれのトラック時間が表示されます。
ただしファイナライズ処理されていないCD-Rは、ディスク情報画面は表示されません。

インフォメーション:コンパクトディスク

トータルタイム 72.04

| トラック | タイム | トラック | タイム |
|---|---|---|---|
| 01 | 5.23 | 06 | 6.51 |
| 02 | 4.55 | 07 | 3.18 |
| 03 | 6.13 | 08 | 6.50 |
| 04 | 5.45 | 09 | 4.16 |
| 05 | 5.10 | 10 | 3.22 |

1/2 ▶ 画面表示 終了

1/2 とは、情報が 2 ページあり、この画面がその 1 ページ目であることを表わします。

ディスクの情報が2ページ以上あるときは、▷ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

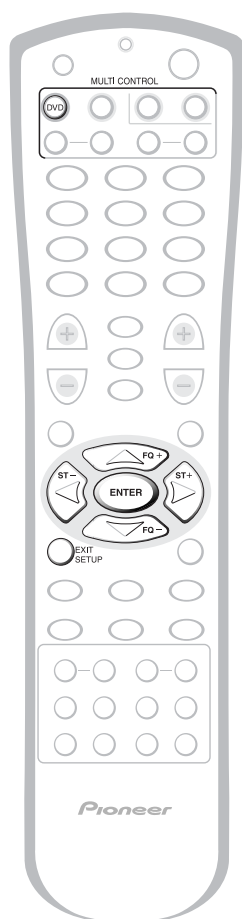
## ディスク情報を消すには

SHIFT
AUDIO DISP

### シフトボタンを押してから、ディスプレイボタンをもう一度押します。

ディスク情報の画面が消えます。

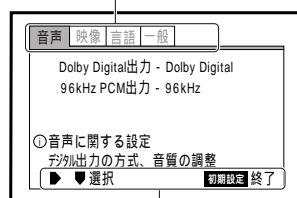
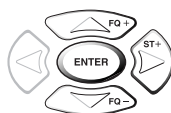
# DVD 初期設定画面の操作のしかた

DVD 初期設定画面を使って、さまざまな設定を行うことができます。
ここでは初期設定画面の基本的な操作方法や使用するボタンの位置ついて説明します。

## 1. DVD ボタンを押します

## 2. セットアップボタンを押します

初期設定画面が表示されます。
例）

◁/▷ ボタンで、[音声]、[映像]、[言語]、[一般]を選択します

音声 映像 言語 一般
Dolby Digital出力－Dolby Digital
96kHz PCM出力－96kHz
①音声に関する設定
デジタル出力の方式、音質の調整
▶ ▼選択 初期設定 終了

その画面で操作できるボタンを表わします

① △/▽ ボタンで設定したい項目を選びます。
② ▷ボタンで選択肢の欄にカーソルを移動させます。
③ △/▽ボタンで設定したい選択肢にカーソルを合わせます。
④ エンターボタンを押して、設定を決定します。

## 3. すべての設定が終了したら、セットアップボタンを押します

初期設定画面が消えます。

## 再生中に変更できない項目

再生中では設定の変更ができない項目は、灰色で表示されます。

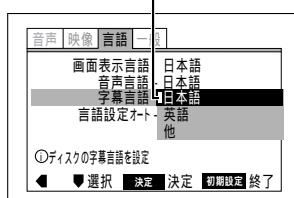
灰色
音声 映像 言語 一般
画面表示言語 日
音声言語－日
字幕言語 日
言語設定オート－オン

### メ モ

▼ 初期設定を終了してから再び初期設定画面を表示させると、前回設定していた初期設定画面を表示します。
▼ ビデオCDまたはCDが入っているとき、初期設定画面でDVDしか働かない項目を選ぶと、画面の右上に青いDVDマークが表示されます。

### 注 意

◆ 初期設定を操作すると、リジューム機能(P.18)が解除される場合があります。

## ディスクの種類により変更後すぐに働く設定項目

DVD、ビデオCD、CDといったディスクの種類によって、変更後すぐに働く設定項目があります。本機では、選択項目の左にあるインジケーターの色で確認することができます。
青色 ........................... DVDだけ
黄色 ...... DVD/ビデオCDだけ
緑色 ... ディスクの種類関係なし

インジケーター
音声 映像 言語 一般
画面表示言語 日本語
音声言語 日本語
字幕言語 日本語
言語設定オート－ 英語
他
①ディスクの字幕言語を設定
◀ ▼選択 決定 決定 初期設定 終了

## DVD 初期設定画面の項目別さくいん

DVD 初期設定画面では、さまざまな設定を行うことができます。項目名や選択肢からではどんな設定を行うのか分からないとき、本書で説明しているページを、このさくいんで知ることができます。

**音声** 映像 言語 一般

| 項目 | 選択肢 | ページ |
| --- | --- | --- |
| Dolby Digital出力 | ▌Dolby Digital<br>Dolby Digital▶PCM | P.42 |
| 96kHz PCM出力 | 96kHz▶48kHz<br>▌96kHz | P.42 |

音声 **映像** 言語 一般

| 項目 | 選択肢 | ページ |
| --- | --- | --- |
| テレビ画面 | 4:3(レターボックス)<br>4:3(パンスキャン)<br>▌16:9(ワイド) | P.42 |
| 画質 | シネマ<br>アニメーション<br>▌標準 | P.43 |
| ポーズモード | フィールド<br>フレーム<br>▌オート | P.43 |
| 画面表示 | ワイド<br>▌ノーマル<br>オフ | P.43 |
| アングルインジケーター | ▌オン<br>オフ | P.43 |

音声 映像 言語 **一般**

| 項目 | 選択肢 | ページ |
| --- | --- | --- |
| 初期設定モード | エキスパート<br>▌ベーシック | P.41 |
| セットアップナビゲーター | | P.8 |
| 視聴制限 | レベル変更<br>暗証番号変更 | P.48 |
| 背景色 | 黒<br>▌青 | P.46 |

音声 映像 **言語** 一般

| 項目 | 選択肢 | ページ |
| --- | --- | --- |
| 画面表示言語 | ▌日本語<br>English | P.44 |
| 音声言語 | ▌日本語<br>英語<br>他 | P.44 |
| 字幕言語 | ▌日本語<br>英語<br>他 | P.44 |
| 言語設定オート | ▌オン<br>オフ | P.45 |
| DVD言語 | ▌字幕言語に連動<br>日本語<br>英語<br>他 | P.45 |
| 字幕表示 | ▌オン<br>オフ<br>アシスト字幕 | P.45 |
| 字幕オフ時 | 音声連動<br>▌選択字幕 | P.45 |

### メ モ

▼ ▌は出荷時の設定を表わします。

▼ ▒▒▒ の設定は初期設定モードが[エキスパート]のときに表示される項目です。

## より細かな設定をする

初期設定画面には[ベーシック]と[エキスパート]の2種類があります。[初期設定モード]を[エキスパート]に設定すると、より細かな設定をすることができます。この取扱説明書では、エキスパートで設定する項目に エキスパート がついています。

音声1 音声2 映像 言語 **一般**
初期設定モード　エキスパート
セットアップナビゲーター　▌ベーシック
視聴制限－レベル8
背景色－黒
ⓘ初期設定モードの変更
◀▶▲▼ 選択　　初期設定 終了

**エキスパート：**
　より細かな設定を表示します

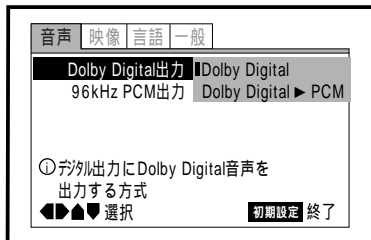
**ベーシック　：**
　基本的な設定を表示します(出荷時の設定)。

DVDを使う

## [音声] の設定をする

### ドルビーデジタル出力

本機のデジタル出力を、MD レコーダーや CD レコーダーなどのデジタル入力を持つ外部機器に接続したときに使用します。

音声 映像 言語 一般
Dolby Digital出力 Dolby Digital
96kHz PCM出力 Dolby Digital ▶ PCM
ⓘデジタル出力にDolby Digital音声を出力する方式
◀▶▲▼ 選択　初期設定 終了

**Dolby Digital：**

Dolby Digital信号をDolby Digital信号のまま出力します。したがって、MD レコーダーやCD レコーダーなどでは録音することはできません。(出荷時の設定)。

**Dolby Digital▶PCM：**

ドルビーデジタル対応のディスクを、MD レコーダーや CD レコーダーなどで録音するときに設定します。この場合は、Dolby Digital信号はリニアPCM信号に変換して出力されます。

### 96kHz PCM 出力

本機のデジタル出力を、MD レコーダーや CD レコーダーなどのデジタル入力を持つ外部機器に接続したときに使用します。

音声 映像 言語 一般
Dolby Digital出力 – Dolby Digital
96kHz PCM出力 96kHz ▶48kHz
96kHz
ⓘデジタル出力に96kHz音声を出力する方式
◀▶▲▼ 選択　初期設定 終了

**96kHz▶48kHz：**

MDレコーダーやCDレコーダーなどで録音するときに設定します。この場合、96kHz の信号を 48kHz に変換して出力します。

**96kHz：**

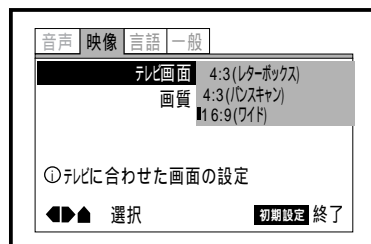
96kHzのままPMC出力されます。したがって、MDレコーダーや CD レコーダーなどでは録音することはできません。(出荷時の設定)。

## [映像]の設定をする

### テレビにあわせて映像の縦横比を選ぶ

本機に接続したテレビにあわせて設定します。ワイドテレビに接続しているときこの設定は不要です。

DVDの映画の多くは、ワイドテレビに対応しており、画面の比率（一般にアスペクト比と呼ばれています）が横 16：縦 9 で記録されています。従って、DVDを従来サイズのテレビで見ると、映像が横 4：縦 3 となり縦長になってしまいます。このような見えかたをなくすために、従来サイズのテレビをお使いの場合は、この設定を行ってください。この設定は再生中に変更できません。

音声 映像 言語 一般
テレビ画面 4:3(レターボックス)
画質 4:3(パンスキャン)
16:9(ワイド)
ⓘテレビに合わせた画面の設定
◀▶▲ 選択　初期設定 終了

**4:3(レターボックス)：**

従来サイズのテレビと接続し、レターボックス方式(10ページ参照)で見たいときに選択します。

**4:3(パンスキャン)：**

従来サイズのテレビと接続し、パンスキャン方式(10ページ参照)で見たいときに選択します。

**16:9(ワイド)：**

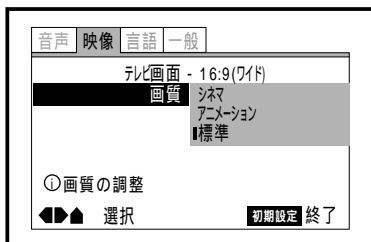
ワイド(16:9)テレビと接続したとき選択します(出荷時の設定)。

### 注 意

◆ アスペクトの切り換えができるか、できないかはディスクによって異なります。詳しくはディスクのジャケットなどで確認してください。

## 画質を切り換える

鑑賞する作品ジャンルやお好みに合わせて、3 種類の画質を設定することができます。

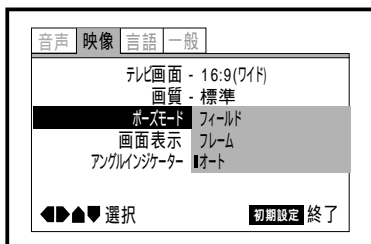
音声 映像 言語 一般
テレビ画面ー16:9(ワイド)
画質 シネマ
アニメーション
標準
ⓘ画質の調整
選択 初期設定 終了

**シネマ：**
黒をはっきり表現する映像モードです。

**アニメーション：**
色をくっきり表現する映像モードです。

**標準：**
標準的な映像モードです。（出荷時の設定）

## 静止画像を切り換える エキスパート

DVDを一時停止したときの画像のブレをなくし､画像を鮮明に見ることができます。

音声 映像 言語 一般
テレビ画面ー16:9(ワイド)
画質ー標準
ポーズモード フィールド
画面表示 フレーム
アングルインジケーター オート
選択 初期設定 終了

**フィールド:**
静止画状態のとき、画像のブレをなくします。

**フレーム:**
通常モードです。

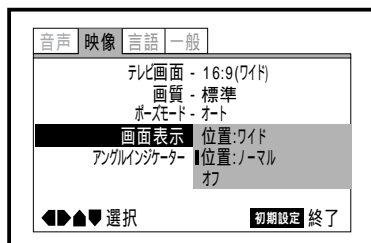
**オート:**
フィールドとフレームを自動的に切り換えます(出荷時の設定)。

### 注 意

◆ ディスクによっては[フィールド]を選択しても画質が鮮明にならない場合があります。

## 画面表示の位置を選択する エキスパート

本機が表示する初期設定画面などの表示位置をテレビの種類に合わせて設定します。DVD ディスクの画面比率が 4:3 のときに設定します（詳しくはディスクのジャケットなどで確認してください)。また、プレイ、ストップなど、本機を操作したときの表示をテレビ画面に表示させたくないとき設定を変更します。

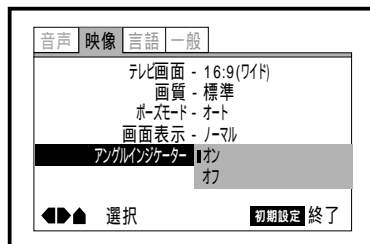
音声 映像 言語 一般
テレビ画面ー16:9(ワイド)
画質ー標準
ポーズモードーオート
画面表示 位置:ワイド
アングルインジケーター 位置:ノーマル
オフ
選択 初期設定 終了

**位置:ワイド：**
ワイドテレビ側の設定でズームを選んでいるとき､画面表示が欠けるのを避けます。

**位置:ノーマル：**
ワイドテレビ側の設定でノーマルやフルを選んでいるとき、こちらを選択します (出荷時の設定)。

**オフ：**
画面表示をしません。

## アングルマークをオン / オフする エキスパート

再生中に画面に表示されるマークを表示させたくないとき設定を変更します。

音声 映像 言語 一般
テレビ画面ー16:9(ワイド)
画質ー標準
ポーズモードーオート
画面表示ーノーマル
アングルインジケーター オン
オフ
選択 初期設定 終了

**オン：**
画面にマークを表示します(出荷時の設定)。

**オフ：**
画面にマークを表示しません。

DVDを使う

## [言語]の設定をする

DVD の中には 1 枚のディスクに複数の字幕や音声を収録し、ユーザーが目的に合わせて好きなように選べる機能を持っているものがあります。ここでは初期設定画面の[言語]にあるさまざまな言語と字幕に関する設定を行います。

### 画面表示言語を設定する

初期設定画面などを表示する言語を、英語に切り換えます。

音声 映像 言語 一般
画面表示言語 日本語 / English
音声言語
字幕言語－日本語
言語設定ｵｰﾄｰｵﾝ
ⓘﾌﾟﾚｰﾔｰの画面表示の言語を設定
◀▶▲▼ 選択 初期設定 終了

**日本語：**
画面表示の言語が日本語になります(出荷時の設定)。

**English：**
画面表示の言語が英語になります。

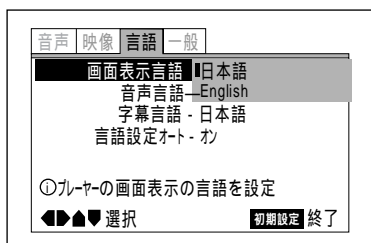
### 字幕言語を設定する

表示する字幕言語を選びます。この設定は再生中に変更できません。

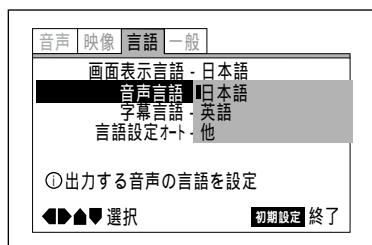
音声 映像 言語 一般
画面表示言語 日本語
音声言語－日本語
字幕言語 日本語 / 英語 / 他
言語設定ｵｰﾄｰ
ⓘﾃﾞｨｽｸの字幕言語を設定
◀▶▲▼ 選択 初期設定 終了

**日本語：**
日本語の字幕を表示します(出荷時の設定)。

**英語：**
英語の字幕を表示します。

**他：**
136言語の中から任意の字幕を選びます。詳しくは46ページの「字幕言語/音声言語/DVD言語の設定で[他]を選んだとき」をご覧ください。

### 音声言語を設定する

音声言語を選びます。この設定は再生中に変更できません。

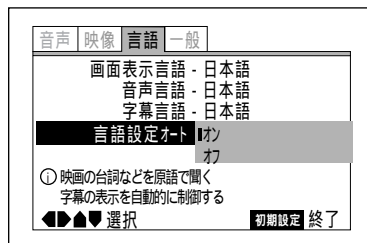
音声 映像 言語 一般
画面表示言語－日本語
音声言語 日本語 / 英語 / 他
字幕言語－
言語設定ｵｰﾄｰ
ⓘ出力する音声の言語を設定
◀▶▲▼ 選択 初期設定 終了

**日本語：**
音声言語が日本語になります(出荷時の設定)。

**英語：**
音声言語が英語になります。

**他：**
136言語の中から任意の音声を選びます。詳しくは46ページの「字幕言語/音声言語/DVD言語の設定で[他]を選んだとき」をご覧ください。

### 音声と字幕を自動的に設定する

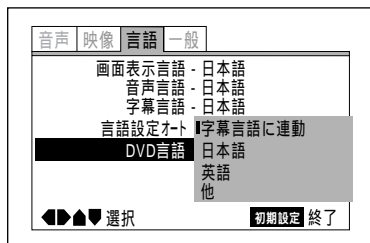
音声と字幕を自動設定にするか、または初期設定で設定した音声 / 字幕にするかを選びます。この設定は再生中に変更できません。

音声 映像 言語 一般
画面表示言語－日本語
音声言語－日本語
字幕言語－日本語
言語設定ｵｰﾄ ｵﾝ / ｵﾌ
ⓘ 映画の台詞などを原語で聞く
字幕の表示を自動的に制御する
◀▶▲▼ 選択 初期設定 終了

**オン：**
[音声言語]と[字幕言語]が同じとき、および字幕表示がオンのとき有効となります。一般の洋画DVDでは音声はオリジナル言語、字幕は日本語が選択され、邦画DVDでは音声は日本語、字幕はオフになります(出荷時の設定)。

**オフ：**
再生中の音声のオート設定が解除され、[音声言語]と[字幕言語]で設定している音声と字幕になります。

## DVD のメニュー言語を設定する エキスパート

DVD の中にはメニューを持っているものがあります。そのメニューを表示するときの言語を選びます。
この設定は再生中に設定できません。

音声 映像 言語 一般
画面表示言語－日本語
音声言語－日本語
字幕言語－日本語
言語設定オート 字幕言語に連動
DVD言語 日本語
英語
他
選択 初期設定 終了

**字幕言語に連動：**
[字幕言語]で選択されている言語でメニュー画面が表示されます(出荷時の設定)。

**日本語：**
日本語でメニュー画面が表示されます。

**英語：**
英語でメニュー画面が表示されます。

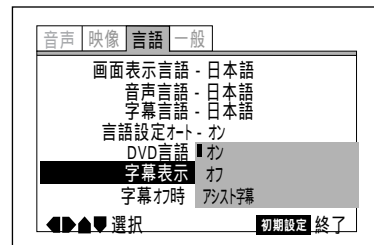
**他：**
136言語の中から任意の言語を選びます。詳しくは46ページの「字幕言語/音声言語/DVD 言語の設定で[他]を選んだとき」をご覧ください。

### 注 意

◆ DVDに収録されていない言語を設定した場合、収録されているいずれかの言語でメニュー画面が表示されます。

## 字幕表示をオン / オフする エキスパート

字幕を表示するかしないか、またはアシスト字幕を表示するかを選びます。この設定は再生中に変更できません。

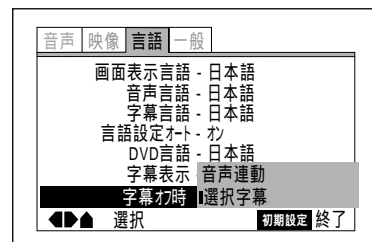
音声 映像 言語 一般
画面表示言語－日本語
音声言語－日本語
字幕言語－日本語
言語設定オート－オン
DVD言語 オン
字幕表示 オフ
字幕オフ時 アシスト字幕
選択 初期設定 終了

**オン　：**
字幕を表示します(出荷時の設定)。

**オフ　：**
字幕を表示しません。ただし、DVD の中には強制的に字幕を表示するものがあります(下の段落)。

**アシスト字幕：**
アシスト字幕は例えば､耳の不自由な方のために場面の状況を説明する字幕です。この項目を選ぶと､アシスト字幕を表示します。ただし､アシスト字幕はディスクに収録されている場合のみ表示します。

## 強制的に表示される字幕の言語を設定する エキスパート

DVDの中には、字幕表示を[オフ]にしても、強制的に字幕が表示されるものがあります。そのときの字幕の言語を選びます。
この設定は再生中に変更できません。

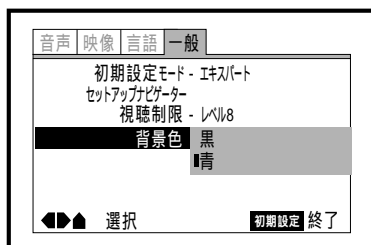
音声 映像 言語 一般
画面表示言語－日本語
音声言語－日本語
字幕言語－日本語
言語設定オート－オン
DVD言語－日本語
字幕表示－音声連動
字幕オフ時 選択字幕
選択 初期設定 終了

**音声連動：**
再生されている音声の言語で字幕を表示します。

**選択字幕：**
初期設定画面の[字幕言語]で選択されている言語で字幕を表示します(出荷時の設定)。

DVDを使う

## 背景色を選ぶ エキスパート

ディスクが停止しているときの画面の色を選びます。

音声 映像 言語 一般
初期設定モードー エキスパート
セットアップナビゲーター
視聴制限 ー レベル8
背景色 黒 青
選択 初期設定 終了

**黒：**
黒色の背景色を表示します。
**青：**
青色の背景色を表示します(出荷時の設定)。

## すべての設定を出荷時に戻す

すべての設定内容を出荷時の状態に戻します。

### 1. ⏻ スタンバイ / オンボタンを押して電源をオフにします

⏻STANDBY/ON

### 2. 本体の 停止（■）ボタンを押しながら、⏻ スタンバイ / オンボタンを押します

⏻STANDBY/ON

すべての設定内容が出荷時の状態に戻ります。

**注 意**

◆ この操作を行うと、ラストメモリー(P.35)、コンディションメモリー(P.37)やプログラムメモリー(P.34)など記憶していたすべてのメモリーも同時に消去されます。操作を行う前に十分にご注意ください。

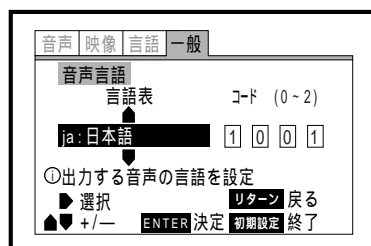
## 字幕言語／音声言語／ DVD 言語の設定で［他］を選んだとき

右の言語コード表を見ながら操作します。

### 1. ［他］を選び、エンターボタンを押します

ENTER

言語選択画面が表示されます。
例）音声言語の場合

音声 映像 言語 一般
音声言語
言語表 コード (0〜2)
ja : 日本語 1 0 0 1
①出力する音声の言語を設定
選択 リターン 戻る
+/— ENTER 決定 初期設定 終了

### 2. ◁/▷ ボタンを押して、[言語表]または[コード]を選びます

ST− ST+

#### [コード]で言語を選ぶ場合

例えば、「フランス語」を選ぶ場合は、リモコンの数字ボタンの 0、6、1、8 を押します。
1ケタごとに▽/△ボタンを押して数字を選択することもできます。◁/▷ボタンを押してケタを移動します。
コードの(　)の中の数字は、設定できる数字の範囲を示しています。

#### [言語表]で言語を選ぶ場合

例えば、「フランス語」を選ぶ場合は、△ボタンを 2 回押します。
言語によっては言語コードしか表示されないものがあります。詳しくは右の言語コード表をご覧ください。

### 3. エンターボタンを押して、決定します。

ENTER

## 言語コード表

| 言語名（言語コード） | 入力コード |
|---|---|
| Japanese (ja) | 1001 |
| English (en) | 0514 |
| French (fr) | 0618 |
| German (de) | 0405 |
| Italian (it) | 0920 |
| Spanish (es) | 0519 |
| Chinese (zh) | 2608 |
| Dutch (nl) | 1412 |
| Portuguese (pt) | 1620 |
| Swedish (sv) | 1922 |
| Russian (ru) | 1821 |
| Korean (ko) | 1115 |
| Greek (el) | 0512 |
| Afar (aa) | 0101 |
| Abkhazian (ab) | 0102 |
| Afrikaans (af) | 0106 |
| Amharic (am) | 0113 |
| Arabic (ar) | 0118 |
| Assamese (as) | 0119 |
| Aymara (ay) | 0125 |
| Azerbaijani (az) | 0126 |
| Bashkir (ba) | 0201 |
| Byelorussian (be) | 0205 |
| Bulgarian (bg) | 0207 |
| Bihari (bh) | 0208 |
| Bislama (bi) | 0209 |
| Bengali (bn) | 0214 |
| Tibetan (bo) | 0215 |
| Breton (br) | 0218 |
| Catalan (ca) | 0301 |
| Corsican (co) | 0315 |
| Czech (cs) | 0319 |
| Welsh (cy) | 0325 |
| Danish (da) | 0401 |
| Bhutani (dz) | 0426 |
| Esperanto (eo) | 0515 |
| Estonian (et) | 0520 |
| Basque (eu) | 0521 |
| Persian (fa) | 0601 |
| Finnish (fi) | 0609 |
| Fiji (fj) | 0610 |
| Faroese (fo) | 0615 |
| Frisian (fy) | 0625 |
| Irish (ga) | 0701 |
| Scots-Gaelic (gd) | 0704 |
| Galician (gl) | 0712 |
| Guarani (gn) | 0714 |

| 言語名（言語コード） | 入力コード |
|---|---|
| Gujarati (gu) | 0721 |
| Hausa (ha) | 0801 |
| Hindi (hi) | 0809 |
| Croatian (hr) | 0818 |
| Hungarian (hu) | 0821 |
| Armenian (hy) | 0825 |
| Interlingua (ia) | 0901 |
| Interlingue (ie) | 0905 |
| Inupiak (ik) | 0911 |
| Indonesian (in) | 0914 |
| Icelandic (is) | 0919 |
| Hebrew (iw) | 0923 |
| Yiddish (ji) | 1009 |
| Javanese (jw) | 1023 |
| Georgian (ka) | 1101 |
| Kazakh (kk) | 1111 |
| Greenlandic (kl) | 1112 |
| Cambodian (km) | 1113 |
| Kannada (kn) | 1114 |
| Kashmiri (ks) | 1119 |
| Kurdish (ku) | 1121 |
| Kirghiz (ky) | 1125 |
| Latin (la) | 1201 |
| Lingala (ln) | 1214 |
| Laothian (lo) | 1215 |
| Lithuanian (lt) | 1220 |
| Latvian (lv) | 1222 |
| Malagasy (mg) | 1307 |
| Maori (mi) | 1309 |
| Macedonian (mk) | 1311 |
| Malayalam (ml) | 1312 |
| Mongolian (mn) | 1314 |
| Moldavian (mo) | 1315 |
| Marathi (mr) | 1318 |
| Malay (ms) | 1319 |
| Maltese (mt) | 1320 |
| Burmese (my) | 1325 |
| Nauru (na) | 1401 |
| Nepali (ne) | 1405 |
| Norwegian (no) | 1415 |
| Occitan (oc) | 1503 |
| Oromo (om) | 1513 |
| Oriya (or) | 1518 |
| Panjabi (pa) | 1601 |
| Polish (pl) | 1612 |
| Pashto, Pushto (ps) | 1619 |
| Quechua (qu) | 1721 |

| 言語名（言語コード） | 入力コード |
|---|---|
| Rhaeto-Romance (rm) | 1813 |
| Kirundi (rn) | 1814 |
| Romanian (ro) | 1815 |
| Kinyarwanda (rw) | 1823 |
| Sanskrit (sa) | 1901 |
| Sindhi (sd) | 1904 |
| Sangho (sg) | 1907 |
| Serbo-Croatian (sh) | 1908 |
| Sinhalese (si) | 1909 |
| Slovak (sk) | 1911 |
| Slovenian (sl) | 1912 |
| Samoan (sm) | 1913 |
| Shona (sn) | 1914 |
| Somali (so) | 1915 |
| Albanian (sq) | 1917 |
| Serbian (sr) | 1918 |
| Siswati (ss) | 1919 |
| Sesotho (st) | 1920 |
| Sundanese (su) | 1921 |
| Swahili (sw) | 1923 |
| Tamil (ta) | 2001 |
| Telugu (te) | 2005 |
| Tajik (tg) | 2007 |
| Thai (th) | 2008 |
| Tigrinya (ti) | 2009 |
| Turkmen (tk) | 2011 |
| Tagalog (tl) | 2012 |
| Setswana (tn) | 2014 |
| Tonga (to) | 2015 |
| Turkish (tr) | 2018 |
| Tsonga (ts) | 2019 |
| Tatar (tt) | 2020 |
| Twi (tw) | 2023 |
| Ukrainian (uk) | 2111 |
| Urdu (ur) | 2118 |
| Uzbek (uz) | 2126 |
| Vietnamese (vi) | 2209 |
| Volapük (vo) | 2215 |
| Wolof (wo) | 2315 |
| Xhosa (xh) | 2408 |
| Yoruba (yo) | 2515 |
| Zulu (zu) | 2621 |

＊言語コードはISO639:1988（E/F）に準拠（1999年9月現在）

暴力シーンなどを含む DVD の中には、視聴制限のレベル（大小）を設けたものがあります。（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます。）
本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。例えば、本機のレベルを 6 に設定しておくと、レベル 7、レベル 8 のディスクを再生するためには、暗証番号の入力が必要となります。

Pioneer

### メ モ

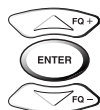
▼ 暗証番号はメモしておくことをおすすめします。

### 注 意

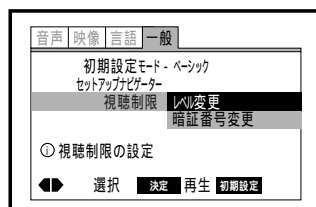
◆ ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみをとばして再生するものもあります。詳しくはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。
◆ 暗証番号を忘れたときは、出荷時の設定に戻して(P.46)、設定し直してください。

## 視聴制限をする（パレンタルロック） DVD

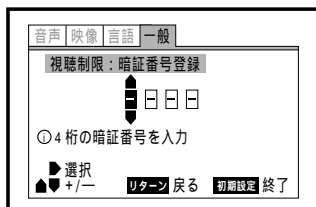
### レベルを設定する

視聴制限のレベルと、暗証番号を設定します。

**1.** **▽/△ ボタンで［レベル変更］を選んで、エンターボタンを押します**

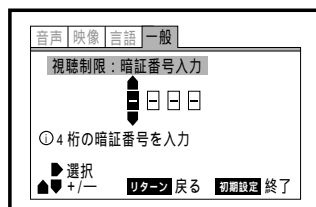
FQ＋ ENTER FQ－

音声 映像 言語 一般
初期設定モード ベーシック
セットアップナビゲーター
視聴制限 レベル変更
暗証番号変更
ⓘ 視聴制限の設定
選択 決定 再生 初期設定

#### 暗証番号がまだ登録されていないとき

暗証番号登録の画面が表示されます。

音声 映像 言語 一般
視聴制限：暗証番号登録
ⓘ 4 桁の暗証番号を入力
選択
+/— リターン 戻る 初期設定 終了

#### 暗証番号がすでに登録されているとき

暗証番号入力の画面が表示されます。

音声 映像 言語 一般
視聴制限：暗証番号入力
ⓘ 4 桁の暗証番号を入力
選択
+/— リターン 戻る 初期設定 終了

**2.** **数字ボタンを押して、暗証番号を 4 桁で入力します**

1 ケタごとに▽/△ボタンで数字を選択することもできます。
◁/▷ ボタンでケタを移動します。

**3.** **エンターボタンを押します**

ENTER

視聴制限レベルの設定画面が表示されます。出荷時の設定はレベル 8（制限しない）に設定されています。

音声 映像 言語 一般
視聴制限：レベル変更
レベル 1 2 3 4 5 6 7 8
ⓘ 視聴制限の設定
リターン 戻る
選択 決定 決定 初期設定 終了

## 4. ◁/▷ボタンでレベルを選びます

例えばレベル 6 を選んだ場合は、レベル 7 とレベル 8 のディスクに対して視聴制限がされます。

ST− ST+

音声 映像 言語 一般
視聴制限：レベル変更
レベル 1 2 3 4 5 6 7 8
ⓘ視聴制限の設定
リターン 戻る
◀▶ 選択 決定 決定 初期設定 終了

## 5. エンターボタンを押します

ENTER

視聴制限のレベルが設定されます。

### 視聴制限できる DVD を再生するとき

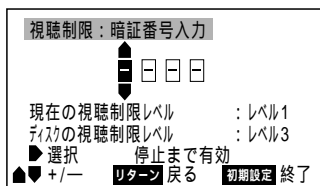
視聴制限されたディスクを再生すると、暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。暗証番号を入力しないと、再生は始まりません。

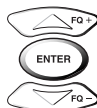
## 1. 数字ボタンで暗証番号を入力します

1 ケタごとに ▽/△ ボタンで数字を選択することもできます。
◁/▷ ボタンでケタを移動します。

視聴制限：暗証番号入力
現在の視聴制限レベル ：レベル1
ディスクの視聴制限レベル ：レベル3
▶ 選択 停止まで有効
▲▼ +/― リターン 戻る 初期設定 終了

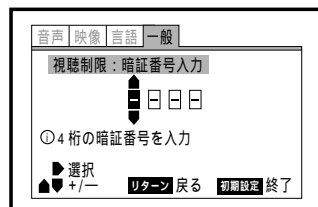
## 2. エンターボタンを押します

ENTER

再生が始まります。

### 暗証番号を変更する

## 1. ▽/△ボタンで［暗証番号変更］を選んで、エンターボタンを押します

FQ＋ ENTER FQ−

暗証番号入力の画面が表示されます。

音声 映像 言語 一般
視聴制限：暗証番号入力
ⓘ4 桁の暗証番号を入力
▶ 選択
▲▼ +/― リターン 戻る 初期設定 終了

## 2. 数字ボタンを押して、現在の暗証番号を 4 桁で入力します

1 ケタごとに ▽/△ ボタンで数字を選択することもできます。
◁/▷ ボタンでケタを移動します。

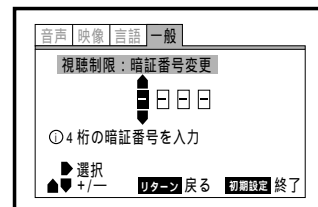
## 3. エンターボタンを押します

ENTER

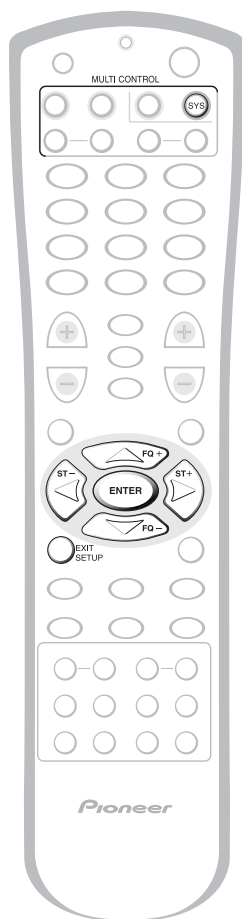
暗証番号変更の画面が表示されます。
数字ボタンを押して、新しい暗証番号を 4 桁で入力します。

音声 映像 言語 一般
視聴制限：暗証番号変更
ⓘ4 桁の暗証番号を入力
▶ 選択
▲▼ +/― リターン 戻る 初期設定 終了

## 4. エンターボタンを押します

ENTER

暗証番号が変更されます。

# サウンドモードの設定

23〜25ページにて、サウンドモードの基本設定を行いましたが、ここでより細かくサウンドモードの設定を行います。これにより、DTSやドルビーデジタル対応のソフトのサラウンド効果を最大限に引き出すことが可能になります。

## LFEアッテネータを設定する

ドルビーデジタルやDTSの信号は超低域信号成分を多く含んでいます。この超低域成分（LFEチャンネル）により、スピーカーから出る音に歪みが生じてしまった場合に、レベルをアッテネートする（減衰させる）設定を行います。

**1.** SYS EXIT SETUP

**SYSボタンを押してから、セットアップボタンを押します**

**2.** **◁/▷ボタンを押して、"LEE OFF"か"LFE ATT"を選びます**

ST− ST+

LFE ATT 0

**3.** **▽/△ボタンを押して、LFEアッテネータを設定します**

FQ+ FQ−

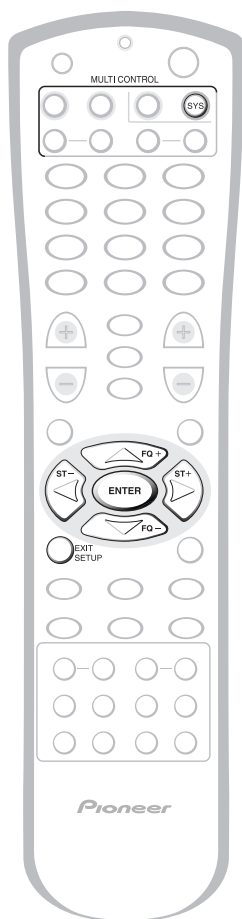
ATT 0 ...... 減衰なし（初期設定値）
ATT 10 ... 初期設定値からレベルを10dBアッテネート（減衰）します
OFF ........... LFE成分の音が出なくなります

**4.** ENTER

**エンターボタンを押して設定を終了します**

MULTI CONTROL SYS ST− ST+ FQ+ FQ− ENTER EXIT SETUP Pioneer

### 注 意

◆ ドルビーデジタルやDTSの信号のように、専用のLFEチャンネル（超低域成分）がある場合にのみ動作します。

## デュアルモノの設定

デジタル入力がドルビーデジタル信号で音声チャンネルが 2 つある時（1+1 デュアルモノラルモード）、どちらのチャンネルをどこのスピーカーから再生させるかを設定することができます。

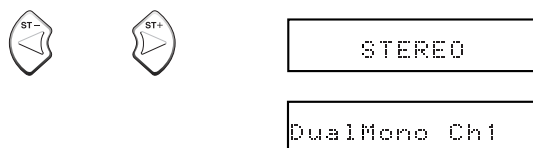
### 1. SYS ボタンを押してから、セットアップボタンを押します

SYS

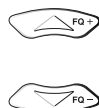
EXIT SETUP

### 2. ◁/▷ ボタンを押して、"STEREO" か "Dual Mono" を選びます

ST－ ST＋

STEREO

DualMono Ch1

### 3. ▽/△ ボタンを押して、再生するスピーカーと音声チャンネルを設定します

FQ＋ FQ－

**STEREO（初期設定）:**
デュアルモノのチャンネル 1 の音声をフロント左スピーカーより、デュアルモノのチャンネル2 の音声をフロント右スピーカーより再生します。

**DualMono ch1:**
デュアルモノのチャンネル 1 の音声のみを左右フロントスピーカーより再生します。DD/DTS モードが ON の場合はセンタースピーカーより再生します。チャンネル 2 は再生されません。

**DualMono ch2:**
デュアルモノのチャンネル 2 の音声のみを左右フロントスピーカーより再生します。DD/DTS モードが ON の場合はセンタースピーカーより再生します。チャンネル 1 は再生されません。

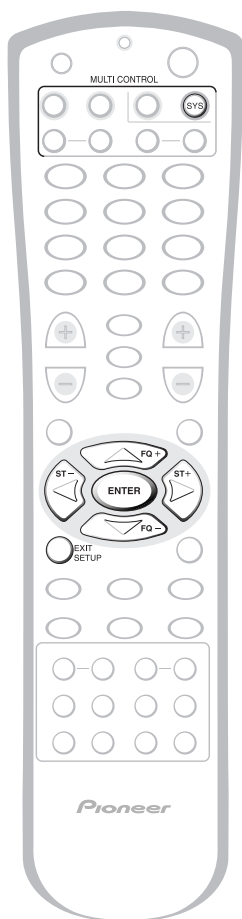
**DualMono MIX:**
デュアルモノのチャンネル 1 と 2 をミックスした音声を左右フロントスピーカーより再生します。DD/DTS モードが ON の場合はセンタースピーカーより再生します。

### 4. エンターボタンを押して設定を終了します

ENTER

MULTI CONTROL SYS ST－ ST＋ FQ＋ FQ－ ENTER EXIT SETUP Pioneer

**注 意**

◆ デュアルモノの設定は、ドルビーデジタル信号が 1+1 デュアルモノラルモードで記録されているソースにのみ有効です。

## ダイナミックレンジコントロールの設定

ダイナミックレンジコントロールは、ドルビーデジタル信号を再生しているときだけ効果があります。ダイナミックレンジとは、再生能力を示す言葉で、どのくらい小さな音からどのくらい大きな音までをきちんと（小さな音はノイズに埋もれずに、大きな音は歪まずに）再生できるかを数字（dB）で表わしたものです。ダイナミックレンジコントロールとは、このダイナッミックレンジを圧縮するという機能です。音量を下げて映画を観ているときでも、ダイナミックレンジコントロールを設定すると微小な音も聞きやすくなり、映画をより一層楽しむことができます。

**1.** **SYS ボタンを押してから、セットアップボタンを押します**

SYS

EXIT SETUP

**2.** **◁/▷ ボタンを押して、"D.R.C."を選びます**

ST－ ST＋

D.R.C. OFF

**3.** **▽/△ ボタンを押して、ダイナミックレンジコントロールを設定します**

FQ＋ FQ－

初期設定はOFFです。また、ダイナミックレンジの圧縮は、D.R.C. LOW(圧縮率低)－D.R.C. MEDIUM (圧縮率中)－ D.R.C. HIGH(圧縮率高)の 3 段階あります。

小さい音量で楽しむ場合は、D.R.C. HIGHに設定することをおすすめします。

**4.** **エンターボタンを押して設定を終了します**

ENTER

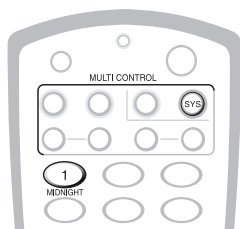
# 小さい音でサラウンドサウンドを効果的に再生する

音量を小さくすると、サラウンドサウンドが弱くなったり、微小な音が聴きにくくなることがあります。その場合は、リモコンのミッドナイトボタンを押してミッドナイトリスニングモードをONにしてください。音量を下げて映画などを楽しむ場合など、ミッドナイトリスニングモードを設定することで小さな音も聞き取りやすくなります。

**1.** **SYS ボタンを押します**

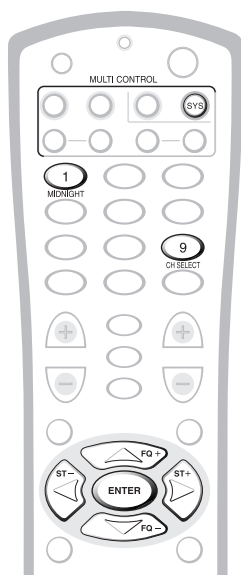
SYS

**2.** **ミッドナイトボタンを押します**

1 MIDNIGHT

押すごとに、ミッドナイトリスニングモードのオンとオフが切りかわります。

音量に合せてサラウンド効果も自動調整されます。

# 各スピーカーの音量バランスを調整する

MULTI CONTROL
SYS
1
MIDNIGHT
9
CH SELECT
FQ +
ST −
ST +
ENTER
FQ −

### メ モ

- ▼ 各DSPモードのそれぞれに対し、独立して音量バランスを設定することができます。
- ▼ Dolby/DTSモードにて設定した音量バランスは、すべての Dolby/DTS モードに対して設定されます。
- ▼ Dolby/DTS モードで SURROUND OFF を選択するか、AUTO を選択していて 2 チャンネル音声を再生中は、フロントスピーカー L/R とサブウーファーだけ調整することができます。

### 注 意

- ◆ この設定は、ヘッドホン出力には影響を与えません。

## 1. お好みのディスクを再生します

16ページを参照して、お好きな曲の再生を開始します。

## 2. SYS ボタンを押します

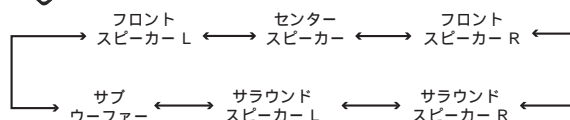
SYS

## 3. チャンネルセレクトボタンを押します

9
CH SELECT

## 4. ◁/▷ ボタンを押して、音量バランスを調整するスピーカーを選択します

ST −
ST +

フロント スピーカー L ⟷ センター スピーカー ⟷ フロント スピーカー R
サブ ウーファー ⟷ サラウンド スピーカー L ⟷ サラウンド スピーカー R

## 5. △/▽ ボタンで、好みの音量に調整します

FQ +
FQ −

調整範囲は、± 10 d Bです。

## 6. エンターボタンを押して設定を終了します

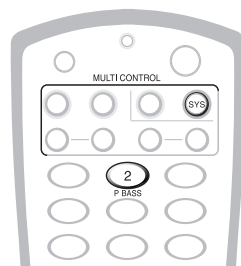
ENTER

サウンドの設定

# 低音部を強調して再生する

この機能を使うと、簡単な操作で低音部だけを強調して再生させることができます。

MULTI CONTROL
SYS
2
P BASS

### 注 意

- ◆ ヘッドホンを挿入していると、この機能を使うことはできません。

## 1. SYS ボタンを押します

SYS

## 2. P.BASS ボタンを押します

2
P BASS

押すごとに、低音部を強調して再生するモード（P.BASS）のオンとオフが切りかわります。

P.BASS ON

低音部を強調

# TVの音声を入力する

テレビ

AUDIO OUTPUT
L R

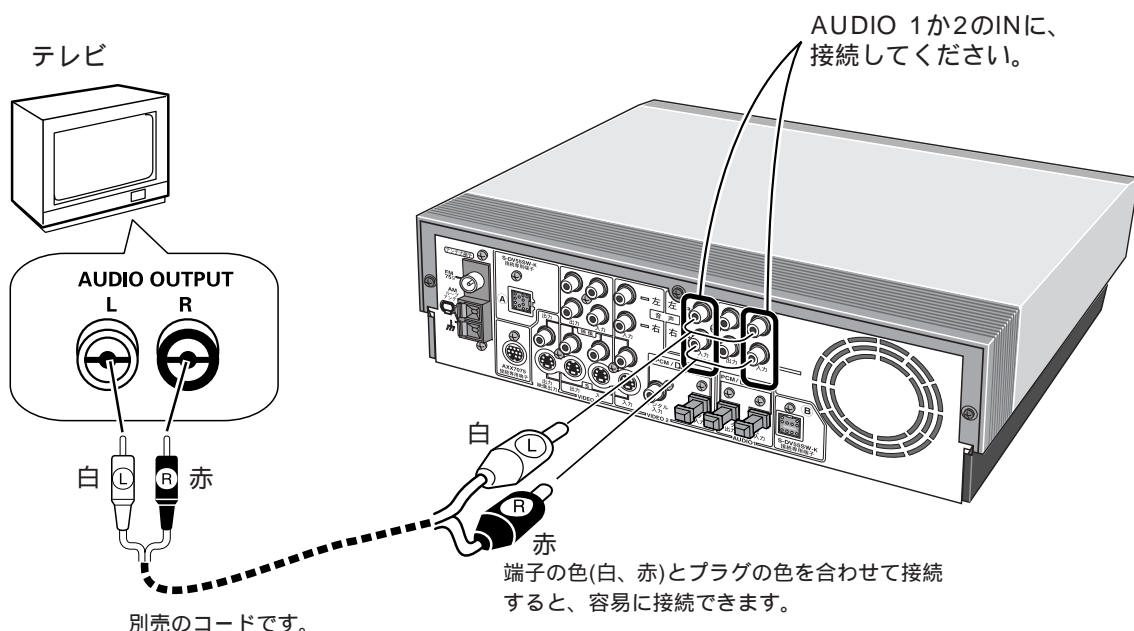
白 L R 赤

別売のコードです。

AUDIO 1か2のINに、
接続してください。

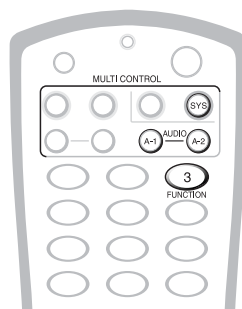
白

赤

端子の色(白、赤)とプラグの色を合わせて接続すると、容易に接続できます。

## テレビの音を本機で聞く

TVの音声を本システムで楽しみたい場合は、AUDIO1または2(どちらか接続した方)のファンクションに切りかえてください。

### AUDIO A-1またはAUDIO A-2(どちらか接続した方)のボタンを押します

本体のファンクションボタン、またはリモコンではSYSボタンを押してからファンクションボタンで切りかえることもできます。

## メモ

**TVを本製品付属のリモコンで操作するには**

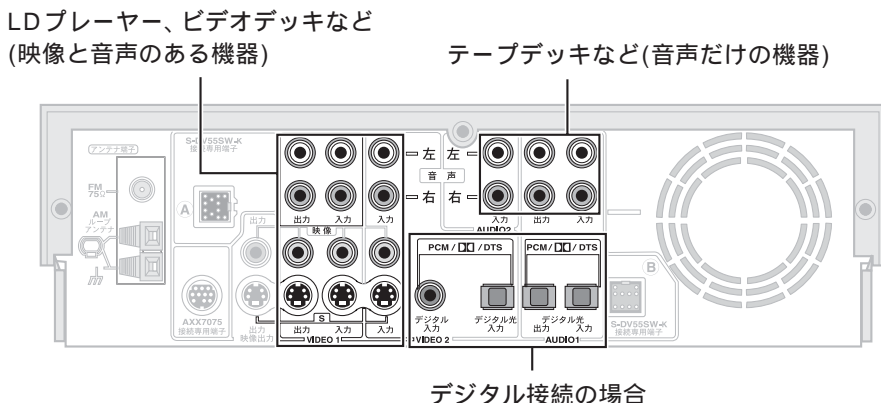
▼ AUDIO 1に接続したときはAUDIO A-1のファンクションボタンに、AUDIO 2に接続したときはAUDIO A-2のファンクションボタンにTVのリモコンを設定してください。設定のしかたについては、P.56「本機で外部機器の音/映像を楽しむ」を参照してください。

# 他機器の接続について

- アナログ接続の場合、LD プレーヤー、ビデオデッキなど、映像と音声のある機器は VIDEO 1・2 に、テープデッキなど、音声だけの機器は AUDIO 1･2 に接続してください。
- アナログ音声出力は AUDIO1 にあります。
- デジタル接続の場合、AUDIO 1のデジタル光入力端子(光ケーブルの場合)またはVIDEO 2のデジタル光入力端子(ビデオコードの場合)に接続してください。
- デジタル音声の出力はデジタル光入力端子を使用してください。ただし REC OUT ミュートはかかりませんので、ご注意ください。

LDプレーヤー、ビデオデッキなど
(映像と音声のある機器)

テープデッキなど(音声だけの機器)

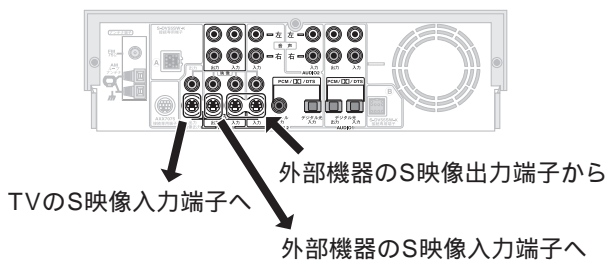
デジタル接続の場合

## 他機器を接続するときの注意

### VIDEO 1、VIDEO 2 の接続について

- S 映像入力端子に接続したとき、TV は S 映像出力端子に接続してください。映像出力端子には出力されません。

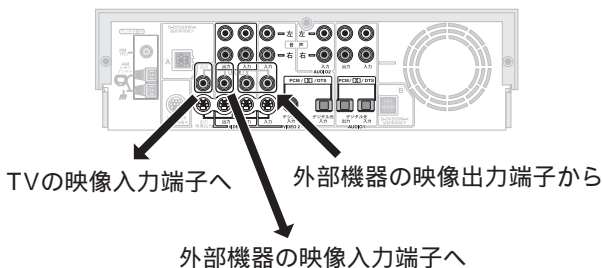
外部機器のS映像出力端子から

TVのS映像入力端子へ

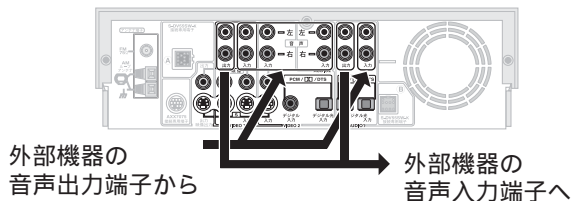
外部機器のS映像入力端子へ

- VIDEO 映像入力端子に接続したとき、TV は映像出力端子に接続してください。S 映像出力端子には出力されません。

TVの映像入力端子へ

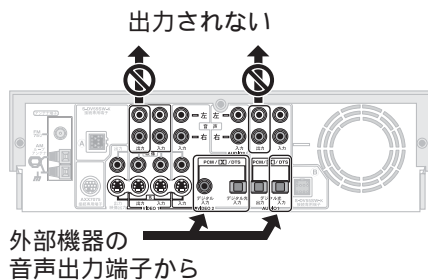
外部機器の映像出力端子から

外部機器の映像入力端子へ

### AUDIO 1 の REC OUT 接続について

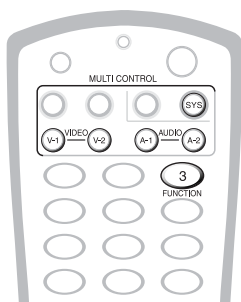
- 音声出力端子からの出力は、アナログ入力された信号だけです。

外部機器の
音声出力端子から

外部機器の
音声入力端子へ

- デジタル入力端子に接続した信号は、音声出力端子から出力されません。

出力されない

外部機器の
音声出力端子から

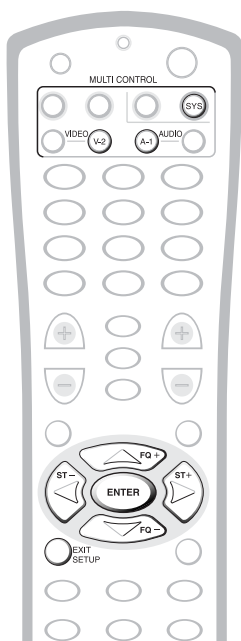
# 本機で外部機器の音 / 映像を楽しむ

本機に接続した外部機器の音声や映像を、本システムで楽しむことができます。

### AUDIO A-1、AUDIO A-2、VIDEO V-1、VIDEO V-2 の接続した端子のボタンを押します

AUDIO A-1 ............ AUDIO1 に接続した外部機器
AUDIO A-2 ............ AUDIO2 に接続した外部機器
VIDEO V-1 ............. VIDEO1 に接続した映像機器
VIDEO V-2 ............. VIDEO2 に接続した映像機器

本体のファンクションボタン、またはリモコンではSYSボタンを押してからファンクションボタンで切りかえることもできます。

# 入力端子の入力を設定する

AUDIO1とVIDEO2の入力端子には、アナログ入力、光デジタル入力、同軸デジタル入力がそれぞれあり、初期設定では、アナログ入力が選択されています。
また本機では、それらを個別に選択することもできます。（ただしAUDIO1には同軸デジタル入力はありません。）

### 1. AUDIO A-1 または VIDEO V-2(どちらか設定したい方)のボタンを押します

### 2. SYS ボタンを押してから、セットアップボタンを押します

### 3. ◁/▷ ボタンを押して、"INPUT"を選びます

INPUT ANALOG

### 4. ▽/△ ボタンを押して、使用する入力端子を設定します

INPUT ANALOG ... 常にアナログ入力が設定されます（初期設定）
INPUT OPTICAL .... 常に光デジタル入力が設定されます
INPUT COAXIAL .. 常に同軸デジタル入力が設定されます（VIDEO V-2 を選択時のみ）

### 5. エンターボタンを押して設定を終了します

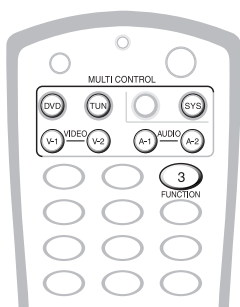
**注 意**

◆ 本機は、32kHz、44.1kHz、48kHzのリニアPCM信号、ドルビーデジタル信号、DTS信号の各デジタルオーディオフォーマットに対応しています。これら以外のデジタル信号の場合は、アナログ入力にしてください。

# 外部機器にアナログ接続で録音をする

本機のFM/AM放送やCD、または外部機器からの音声を、AUDIO 1に接続されたテープデッキ、DAT、MDレコーダーまたはCDレコーダーにアナログ接続で録音する方法について説明します。

MULTI CONTROL
DVD TUN SYS
VIDEO V-1 V-2 AUDIO A-1 A-2
3 FUNCTION

**注 意**

◆ 本機の音量、チャンネルレベル、トーン（TREBLE、BASS）、ミッドナイトリスニングモード、サラウンドの設定は、録音信号には効果がありません。
◆ DTSソースでは、音声信号は出力されません。

## 1. マルチコントロールボタンを押して、再生機器を選択します

本体のファンクションボタン、またはリモコンではSYSボタンを押してからファンクションボタンで切りかえることもできます。

### VIDEO V-2を選択した場合は、入力信号を、"INPUT ANALOG"にします

「入力端子の入力を設定する」（56ページ）をご覧ください。

## 2. 録音機器の録音を開始します

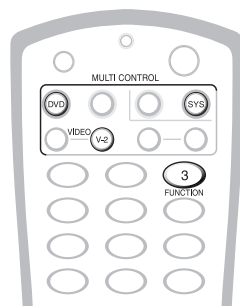
あらかじめ、AUDIO 1に接続されたテープデッキ、MDレコーダー、CDレコーダーなどの録音機器の準備をしておいてください。

## 3. 録音する再生機器の再生を開始します

# 外部機器にデジタル接続で録音をする

CD、MDの音声をデジタル録音する方法について説明します。デジタル録音する場合は、AUDIO 1の光デジタル出力端子に、デジタル録音機器（MD、DAT、CDレコーダーなど）を接続しておきます。また、外部機器を録音する場合は、本機のVIDEO V-2のデジタル入力端子に接続しておきます。

MULTI CONTROL
DVD SYS
VIDEO V-2
3 FUNCTION

**注 意**

◆ 本機の音量、チャンネルレベル、トーン（TREBLE、BASS）、ミッドナイトリスニングモード、サラウンドの設定は、録音信号には効果がありません。
◆ 信号や録音機器によっては、デジタル出力はできてもコピーガードによりデジタル録音できないものがあります。この場合はアナログ接続で録音してください。

## 1. DVDボタン、またはVIDEO V-2ボタンを押して、再生機器を選択します

DVD
V-2

### VIDEO V-2を選択した場合は、接続した端子に合わせて、入力設定を"INPUT OPTICAL"か"INPUT COAXIAL"にします

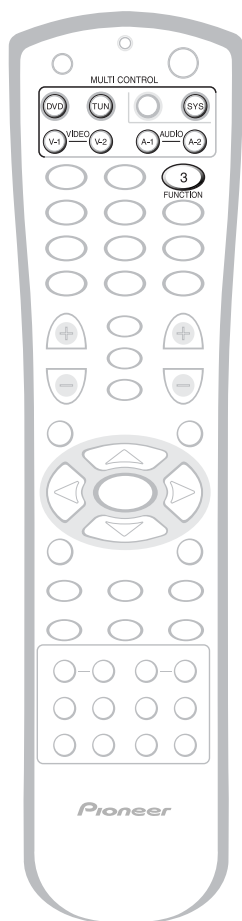
「入力端子の入力を設定する」（56ページ）をご覧ください。

## 2. 録音機器の録音を開始します

あらかじめ、AUDIO 1に接続されたMDレコーダー、CDレコーダーなどの録音機器の準備をしておいてください。

## 3. 録音する再生機器の再生を開始します

# ビデオ機器に録画をする

ビデオ機器からの画像、音声を、VIDEO 1 に接続されたビデオデッキに録画する方法について説明します。VIDEO 1 へのの出力は、アナログ信号になります。DTS サウンドトラックを録音することはできません。

MULTI CONTROL
DVD TUN SYS
V-1 VIDEO V-2 A-1 AUDIO A-2
3
FUNCTION
Pioneer

**注 意**

◆ 本機の音量、チャンネルレベル、トーン(TREBLE、BASS)、ミッドナイトリスニングモード、サラウンドの設定は、録音信号には効果がありません。
◆ DVDの中にはコピーガードが設定されていて録画できないものがあります。

## 1. マルチコントロールボタンを押して、再生機器を選択します

本体のファンクションボタン、またはリモコンではSYSボタンを押してからファンクションボタンで切りかえることもできます。

### VIDEO V-2 を選択した場合は、入力信号を、"INPUT ANALOG" にします

「*入力端子の入力を設定する*」(56ページ)をご覧ください。

## 2. ビデオ機器の録画を開始します

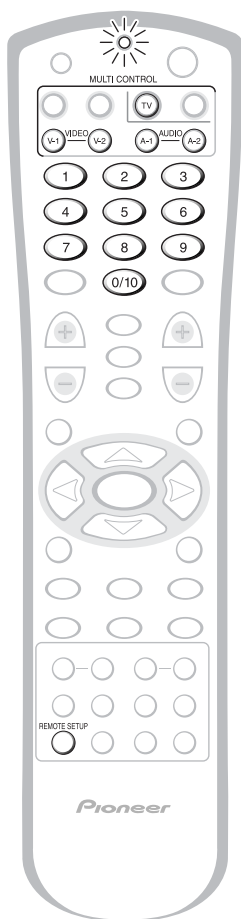
あらかじめ、VIDEO 1に接続されたビデオデッキの準備をしておいてください。

## 3. 録画する再生機器の再生を開始します

# 他機器を操作するためのリモコンの設定

本機のリモコンを使って、本機以外のパイオニア製品や他社の機器（ビデオデッキ、テレビ、LD、CDプレーヤーなど）を操作することができます。お手持ちの機器のプリセットコードが69～71ページのメーカーコードリストに記載されている場合は、該当するコードを使って簡単に本機のリモコンで操作できるようになります。リストに記載されていない場合、またはリモコンに機能を追加したい場合でも、その機器に付属のリモコンから直接登録（学習）することが可能です。

### 注 意

◆ メーカーや機器により、動作が多少異なります。不具合や不足のある場合は、61ページの学習機能で対応してください。

## プリセットコードでリモコンを設定する

本機のリモコンのマルチコントロールボタンに、操作したい他機器のプリセットコードを割り当てておきます。プリセットコードを割り当てておくと、本機のリモコンを使って他機器を操作できるようになります。プリセットコードの対応機器の種類とメーカーについては、「メーカーコードリスト」（69～71ページ）をご覧ください。

**1.** **リモートセットアップボタンを、3秒以上押します**

REMOTE SETUP

リモコンのインジケーターが、2回点滅します。
中止する場合は、もう一度リモートセットアップボタンを押します。

**2.** **本機のリモコンで操作したい機器に対応するマルチコントロールボタンを押します**

VIDEO V-1 ........ LD、DVD、VTR、デジタルVTR、DVDレコーダー
VIDEO V-2 ........ 衛星放送、ケーブルテレビ
AUDIO A-1 ....... CD、MD、カセットデッキ、CDレコーダー
AUDIO A-2 ....... CD、MD、カセットデッキ、CDレコーダー
TV ...................... テレビ

マルチコントロールボタンの対応機器を変更することができます。64ページの「マルチコントロールボタンの対応する機器を変更する」をご覧ください。

**3.** **プリセットコード番号を確認します**

69～71ページのプリセットコードリストで、本機のリモコンで操作したい他機器のプリセットコード番号を確認しておきます。

**4.** **本機のリモコンを手順1の機器に向け、手順4で確認した4桁のプリセットコード番号を1桁づつ順に入力します**

数字を入力するごとに、リモコンのインジケーターが点灯します。そして、4桁のプリセットコード番号をすべて入力すると、インジケーターは2回点滅し、10秒以上操作がないと終了します。
もし、インジケーターが2回点滅しなかったり、外部機器がオフしない場合で、もう1つ別のプリセットコードがプリセットコードリストに表示されているときは、そのコードを使って手順2からやり直してみてください。メーカーによっては複数のタイプのリモコン信号を使用している場合があり、リストの最初に表示されているコードを入力しても正しく動作しないことがあります。
最後の番号まで試しても正しく操作できない場合は、「学習機能を使ってリモコンに他機器の操作を登録する」（61ページ）でこの機器を操作できるようにします。

## プリセットコードを確認する

マルチコントロールボタンに割り当てたプリセットコード番号を確認することができます。
例えば、VIDEO V-1 にプリセットコード番号の 1329 が割り当てられていることを確認する場合。

### 1. リモートセットアップボタンを、3秒以上押します

REMOTE SETUP

リモコンのインジケーターが、2 回点滅します。
中止する場合は、もう一度リモートセットアップボタンを押します。

### 2. 割り当てたプリセットコード番号が設定されているマルチコントロールボタンを押します

例の場合は、VIDEO V-1 ボタンを押します。

### 3. 数字ボタンで 990 を入力します

9 9 0/10

### 4. 数字ボタンの 1 を押します

プリセットコード番号の左から 1 番目の数字と同じ回数、リモコンのインジケーターが点滅します。
例の場合は、1 回だけ点滅します。

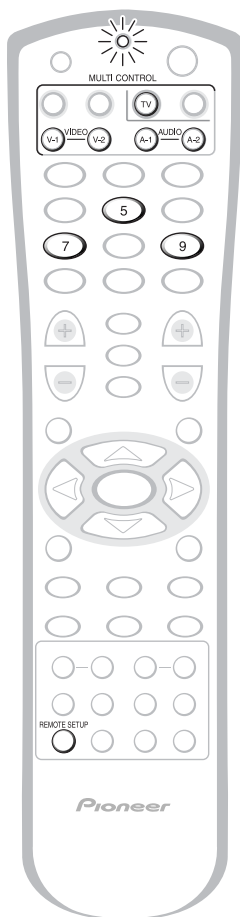
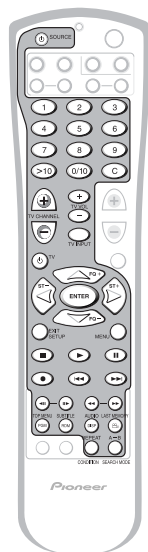
### 5. 数字ボタンの 2 を押します

プリセットコード番号の左から 2 番目の数字と同じ回数、リモコンのインジケーターが点滅します。
例の場合は、3 回点滅します。

### 6. 数字ボタンの 3 を押します

プリセットコード番号の左から 3 番目数字と同じ回数、リモコンのインジケーターが点滅します。
例の場合は、2 回点滅します。

### 7. 数字ボタンの 4 を押します

プリセットコード番号の左から 4 番目の数字と同じ回数、リモコンのインジケーターが点滅します。
例の場合は、9 回点滅します。

## 学習機能を使ってリモコンに他機器の操作を登録する

本機のリモコンで操作したい他機器のプリセットコードがメーカーコードリスト（69～71ページ参照）に見当たらない場合は、以下の手順で他機器のリモコンの操作を本機のリモコンに登録することができます。プリセットコードを登録しただけでは使用できない操作についても、以下の手順で本機のリモコンに追加登録（学習）することができます。
ただし、リモコンによっては、操作を登録できないものもあります。また、手順6でリモコン同士の距離を変えてみることで、登録できる場合もあります。

### 1. リモートセットアップボタンを、3秒以上押します

REMOTE SETUP

リモコンのインジケーターが、2回点滅します。
中止する場合は、もう一度リモートセットアップボタンを押します。

### 2. 本機のリモコンで操作したい機器に対応するマルチコントロールボタンを押します

VIDEO V-1 ........ LD、DVD、VTR、デジタルVTR、DVD レコーダー
VIDEO V-2 ........ 衛星放送、ケーブルテレビ
AUDIO A-1 ....... CD、MD、カセットデッキ、CDレコーダー
AUDIO A-2 ....... CD、MD、カセットデッキ、CDレコーダー
TV ...................... テレビ

マルチコントロールボタンの対応機器を変更することができます。64ページの「マルチコントロールボタンの対応する機器を変更する」をご覧ください。

### 3. 数字ボタンで 975 を入力します

9 7 5

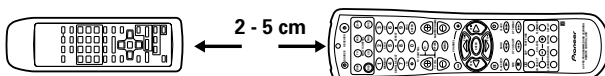
### 4. 本機のリモコンで操作したい機器に対応するマルチコントロールボタンを、もう一度押します

### 5. 他機器のリモコンの操作を学習させる本機のリモコンのボタンを押します

左の図で、グレーで囲まれている範囲が、他機器のリモコンの操作を学習することができるボタンです。この中から選んで押してください。

### 6. 本機と他機器のリモコンを互いに下のように向けます

2 - 5 cm

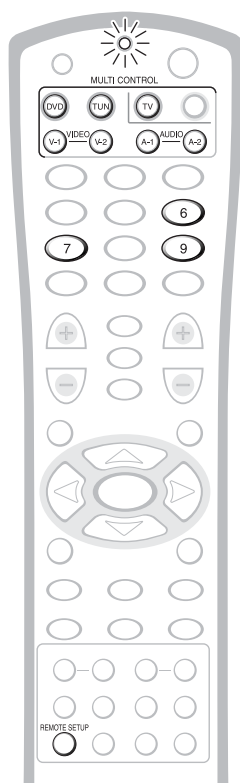
学習できるリモコンのボタン

## 7. 他機器リモコンの登録したい操作のボタンを押しつづけ、本機リモコンのインジケーターが消えたらボタンを離します。

インジケーターが2回点滅したら、操作が正しく登録されたことになります。もしも点滅が長い1回だけの場合は、学習できる数をオーバーしている可能性があります。この場合は、62〜63ページの方法で消去をしてから、再度学習を行ってください。

## 8. 学習の登録を続ける場合は、以下の手順を繰り返します

同じリモコンから同じマルチコントロールボタンへ別の操作を追加学習する場合は、手順5〜7を繰り返します。
別のリモコンから別のマルチコントロールボタンへ操作を登録する場合は、手順2〜7を繰り返します。

## 9. リモートセットアップボタンを押して、終了します

REMOTE SETUP

## 他機器の操作が登録されたマルチコントロールボタンの内容を消去する

学習機能やプリセットコードで操作が登録されたマルチコントロールボタンの内容を、消去することができます。

## 1. リモートセットアップボタンを、3秒以上押します

REMOTE SETUP

リモコンのインジケーターが、2回点滅します。
中止する場合は、もう一度リモートセットアップボタンを押します。

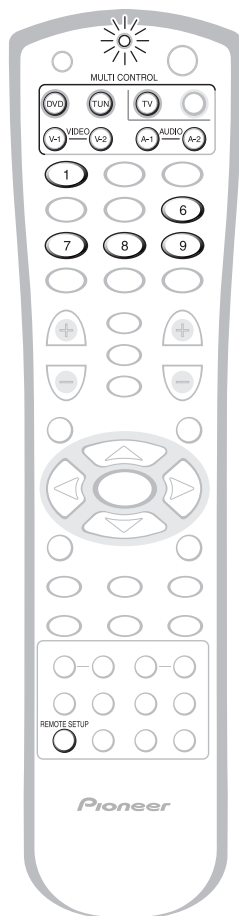
## 2. 操作内容を消去したいマルチコントロールボタンを押します

## 3. 数字ボタンで976を入力します

9 7 6

## 4. 操作内容を消去したいマルチコントロールボタンを2回押します

リモコンのインジケーターが2回点滅し、登録されてたボタンの内容が消去されます。

MULTI CONTROL DVD TUN TV VIDEO V-1 V-2 AUDIO A-1 A-2 6 7 9 REMOTE SETUP

## 他機器の操作が登録されたひとつのボタンの内容を消去する

学習機能で操作が登録されたボタンの内容を、消去することができます。

**1.** REMOTE SETUP

### リモートセットアップボタンを、3秒以上押します

リモコンのインジケーターが、2回点滅します。
中止する場合は、もう一度リモートセットアップボタンを押します。

**2.**

### 操作内容を消去したいボタンのあるマルチコントロールボタンを押します

**3.**

### 数字ボタンで976を入力します

9 7 6

**4.**

### 操作内容を消去したいボタンのあるマルチコントロールボタンを押します

**5.**

### 操作内容を消去したいリモコンのボタンを、2回押します

リモコンのインジケーターが2回点滅し、登録されてたボタンの内容が消去されます。

## 他機器の操作が登録されたボタンの内容をすべて消去する

学習機能やプリセットコードで操作が登録されたボタンの内容を、すべて消去することができます。

**1.**

### リモートセットアップボタンを、3秒以上押します

リモコンのインジケーターが、2回点滅します。
中止する場合は、もう一度リモートセットアップボタンを押します。

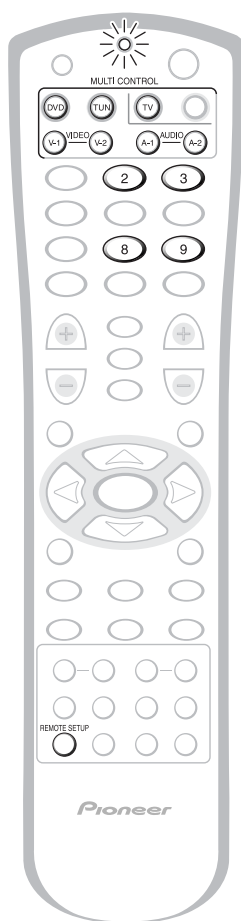
**2.**

### いずれかのマルチコントロールボタンを押します

**3.**

### 数字ボタンで981を入力します

9 8 1

リモコンのインジケーターが2回点滅し、マルチコントロールボタンに登録されてた内容が消去されます。

## ダイレクトファンクションを解除する

ダイレクトファンクションとは、マルチコントロールボタンを押したときに、本機の入力セレクターを切りかえる機能です。オフにすると入力セレクターは切りかわらず、操作ボタンの機能だけが切りかわります。直接テレビに接続されているために本機の入力切りかえの動作が必要ない機器はオフに設定しておくと便利です。初期設定は、すべてオンになっています。

**1. リモートセットアップボタンを、3秒以上押します**

リモコンのインジケーターが、2回点滅します。
中止する場合は、もう一度リモートセットアップボタンを押します。

**2. ダイレクトファンクションを解除する機器が設定されているマルチコントロールボタンを押します**

**3. 数字ボタンで983を入力します**

9 8 3

リモコンのインジケーターが2回点滅し、オフに設定されました。
ダイレクトファンクションをオンに再設定する場合は、982を入力します。

## マルチコントロールボタンの対応する機器を変更する

初期設定では、VIDEO V-2ボタンは衛星放送やケーブルテレビに設定されています。この場合、このままではCDレコーダーのプリセットコードをVIDEO V-2ボタンに設定することはできません。VIDEO V-2ボタンにCDレコーダーのプリセットコードを設定する場合は、もともとCDレコーダーが設定されているAUDIO A-1かAUDIO A-2ボタンの内容を、VIDEO V-2ボタンにコピーする必要があります。以下に例として、AUDIO A-1ボタンにVIDEO V-2ボタンの対応機器をコピーする方法を説明します。

**1. リモートセットアップボタンを、3秒以上押します**

リモコンのインジケーターが、2回点滅します。
中止する場合は、もう一度リモートセットアップボタンを押します。

**2. 対応機器がすでに設定されているマルチコントロールボタンを押します**

例の場合は、AUDIO A-1ボタンを押します。

**3. 数字ボタンで992を入力します**

9 9 2

**4. あらたに設定したいマルチコントロールボタンを押します**

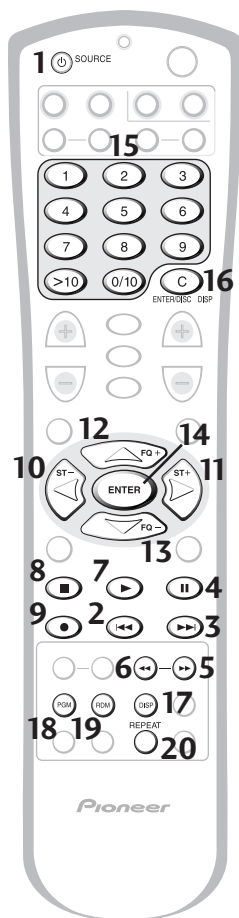
例の場合は、VIDEO V-2ボタンを押します。

### メモ

▼ ダイレクトファンクションの簡易的な方法として、シフトボタンを押してからマルチコントロールボタンを押すと、本機の入力セレクターは切りかわりません。この場合、次回にマルチコントロールボタンを押したときは、入力セレクターは切りかわります。

# 他機器のリモコン操作

## CD/ MD/ CD-R/ VTR/ LD プレーヤーをリモコンで操作する

- 以下のリモコン操作を行うには、あらかじめ CD/ MD/ CD-R/ VTR/ LD プレーヤーのプリセットコード番号を記憶させる必要があります。
- 実際に操作を始める前に、対応するマルチコントロールボタンを押してください。
- CD/ MD/ CD-R/ VTR/ LD プレーヤーの取扱説明書をお読みください。
- 内容は、メーカーや機器によって、多少は変更になります。

① ⏻SOURCE
電源を ON/OFF します。

② ⏮
再生しているチャプター（またはトラック）の頭に戻ります。繰り返し押すと、前のチャプター（またはトラック）の頭に戻ります。

③ ⏭
次のチャプター（またはトラック）の頭に進みます。繰り返し押すと、さらに次のチャプター（またはトラック）の頭に進みます。

④ ⏸
再生を一時停止します。

⑤ ▶▶
押している間、早送りをします。

⑥ ◀◀
押している間、早戻しをします。

⑦ ▶
再生を開始します。

⑧ ■
再生を停止します。

⑨ ●
10 秒以内に 2 回押すと、録音の一時停止になります。

⑩ ◀
巻き戻しをします（ビデオデッキのみ）。再生中に押し続けると、その間だけ早戻し再生になります。

⑪ ▶
早送りをします（ビデオデッキのみ）。再生中に押し続けると、その間だけ早送り再生になります。

⑫ ▲
再生を一時停止します。

⑬ ▼
再生を停止します。

⑭ ENTER
再生を開始します。

⑮ 数字ボタン />10
チャプターやトラックを選択するとき押します。

⑯ ENTER/DISC、C
CD チェンジャーでは、ディスクを切りかえます。また、CD-R、MD、LD プレーヤーでは、操作のクリアーを行います。VTR では、操作の決定を行います。

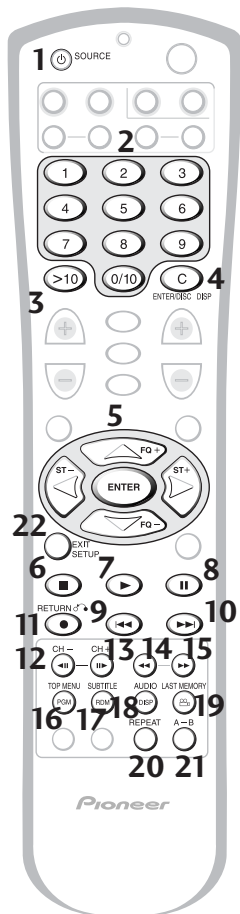
⑰ DISP
表示内容を切りかえます。

⑱ PGM
プログラム再生を開始します。

⑲ RDM
ランダム再生を開始します。

⑳ REPEAT
リピート再生を開始します。

## DVD/ DVD ビデオレコーダーをリモコンで操作する

- 以下のリモコン操作を行うには、あらかじめ DVD/ DVD ビデオレコーダーのプリセットコード番号を記憶させる必要があります。
- 実際に操作を始める前に、対応するマルチコントロールボタンを押してください。
- DVD/ DVD ビデオレコーダーの取扱説明書をお読みください。
- 内容は、メーカーや機器によって、多少は変更になります。

① ⏻SOURCE
DVDまたはDVDビデオレコーダーの電源をON/OFFします。

② 数字ボタン
チャプターやトラックを選択するときに押します。

③ >10
10 以上のチャプター（またはトラック）番号を選択するとき押します。

④ C
入力機能の解除やクリアーをするときに押します。

⑤ ▲/▼/◄/►/ENTER
メニュー画面を操作するときに使います。

⑥ ■
再生または録画を停止します。

⑦ ►
再生を開始します。

⑧ ❚❚
再生または録音を一時停止します。

⑨ ❙◄◄
再生しているチャプター（またはトラック）の頭に戻ります。繰り返し押すと、前のチャプター（またはトラック）の頭に戻ります。

⑩ ►►❙
次のチャプター（またはトラック）の頭に進みます。繰り返し押すと、さらに次のチャプター（またはトラック）の頭に進みます。

⑪ RETURN ↶ / ●
DVD では、前のメニューに戻るときに使用します。DVD ビデオレコーダーでは、10秒以内に2回押すと録画を開始します。

⑫ ◄❚❚/CH −
DVD では、逆方向のスロー再生を行います。また、一時停止中ですと、逆方向のコマ送り再生を行います。DVD ビデオレコーダーでは、チャンネルを選ぶときに押します。

⑬ ❚❚►/CH+
DVD では、順方向のスロー再生を行います。また、一時停止中ですと、順方向のコマ送り再生を行います。DVD ビデオレコーダーでは、チャンネルを選ぶときに押します。

⑭ ◄◄
押している間、早戻しをします。

⑮ ►►
押している間、早送りをします。

⑯ TOP MENU/ PGM
DVD に記録されているメニューを表示します。シフトボタンを押してから押すと、プログラム再生を設定します。

⑰ SUBTITLE/ RDM
字幕の表示が切りかわります。シフトボタンを押してから押すと、ランダム再生を開始します。

⑱ AUDIO/ DISP
音声言語を切りかえます。シフトボタンを押してから押すと、ディスク情報が切りかわります。

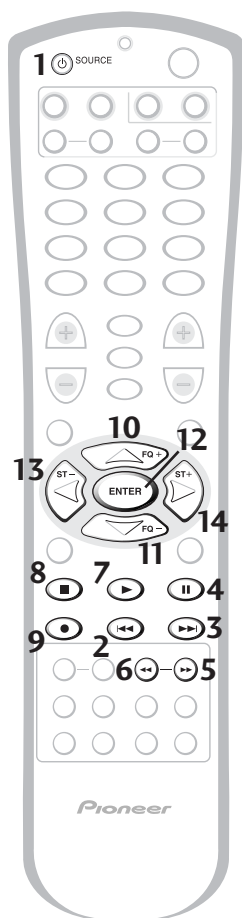
⑲ LAST MEMORY/ 🎥
前に見たディスクのつづきを再生したり設定したりします。また、シフトボタンを押してから押すと、アングルが切りかわります。

⑳ REPEAT/ CONDITION
一度だけ押すと、再生中の曲を繰り返します。2回続けて押すと、再生中のタイトルを繰り返します。シフトボタンを押してから押すと、DVD の設定を記憶することができます。

㉑ A-B/ SEARCH MODE
指定した箇所の繰り返し再生を設定することができます。シフトボタンを押してから押すと、ディスクサーチモードになります。

㉒ SETUP
DVD 初期設定画面を呼び出します。

## テープデッキをリモコンで操作する

- 以下のリモコン操作を行うには、あらかじめテープデッキのプリセットコード番号を記憶させる必要があります。
- 実際に操作を始める前に、対応するマルチコントロールボタンを押してください。
- テープデッキの取扱説明書をお読みください。
- 内容は、メーカーや機器によって、多少は変更になります。

① ⏻SOURCE
テープデッキの電源をON/OFFします（機種によってはこのボタンが働かないことがあります)。

② |◀◀
テープのリバース再生を開始します（オートリバースデッキのみ)。

③ ▶▶|
テープのフォワード再生を開始します（オートリバースデッキのみ)。

④ ❚❚
再生または録音を一時停止します。

⑤ ▶▶
早送りをします。

⑥ ◀◀
巻き戻しをします。

⑦ ▶
再生を開始します。

⑧ ■
再生または録音を停止します。

⑨ ●
2回押すと、録音または、録音一時停止します。

ダブルデッキ(DECK I)操作ボタン

⑩ ▲
再生または録音を一時停止します。

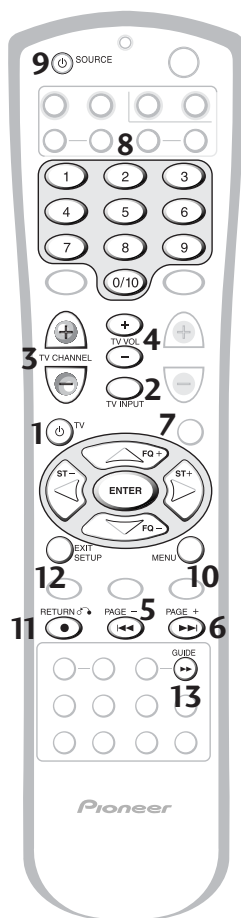
⑪ ▼
再生または録音を停止します。

⑫ ENTER
再生を開始します。

⑬ ◀
巻き戻しをします。

⑭ ▶
早送りをします。

## ケーブル TV/ 衛星 TV/ TV をリモコンで操作する

- 以下のリモコン操作を行うには､あらかじめケーブルTV/ 衛星TV/ TVのプリセットコード番号を記憶させる必要があります。
- 実際に操作を始める前に、対応するマルチコントロールボタンを押してください。
- ケーブル TV/ 衛星 TV/ TV の取扱説明書をお読みください。
- 内容は、メーカーや機器によって、多少は変更になります。

① ⏻ TV
テレビまたは CATV の電源を ON/OFF します。

② TV INPUT
テレビの入力を切りかえます（機種によってはこのボタンが働かないことがあります）。

③ TV CHANNEL +/ −
テレビのチャンネルを選択します。

④ TV VOL +/ −
テレビの音量を調整します。

⑤ PAGE −
CATV のメニュー画面で、前の画面に戻します。

⑥ PAGE +
CATV のメニュー画面で、次の画面に進めます。

⑦ ▲/▼/◄/►/ENTER
▲/▼/◄/► : メニュー画面で項目の選択や調整に使用します。
ENTER : 選択調整した項目を確定します。

⑧ 数字ボタン
テレビのチャンネルを選択します。

⑨ ⏻SOURCE
テレビまたは CATV の電源を ON/OFF します。

⑩ MENU
テレビまたは CATV のメニュー画面を表示します。

⑪ RETURN (INFO)
CATV のインフォメーション画面を表示します。

⑫ EXIT
操作を中止します。

⑬ GUIDE
CATV のインフォメーション画面の機能のオン／オフを切りかえます。

# プリセットコードリスト

## [ケーブル TV]

| メーカー名 | プリセットコード |
|---|---|
| ABC | 0003, 0007, 0008, 0011, 0014, 0017 |
| Americast | 0899 |
| Bell & Howell | 0014 |
| Bell South | 0899 |
| Contec | 0019 |
| Daehan | 0778 |
| Daeryung | 0008 |
| Everquest | 0015 |
| Gemini | 0015 |
| General Instrument | 0011, 0276, 0476, 0810 |
| GoldStar | 0144, 0838 |
| Hamlin | 0020 |
| Hitachi | 0011 |
| Hytex | 0007 |
| Jasco | 0015 |
| Jerrold | 0003, 0011, 0012, 0014, 0015, 0276, 0476, 0810 |
| LG Alps | 0779 |
| Memorex | 0000, 1003 |
| Now | 0776 |
| Oak | 0007, 0019 |
| Pacific | 0678 |
| Panasonic | 0000, 0107, 1003 |
| Paragon | 0000, 1003 |
| Pioneer | 0144, 0260, 0533, 0877, 1010, 1021 |
| Pulsar | 0000 |
| Quasar | 0000 |
| Radio Shack | 0015 |
| Regal | 0020 |
| Rembrandt | 0011 |
| Runco | 0000 |
| Samsung | 0144, 0702 |
| Scientific Atlanta | 0008, 0017, 0477, 0877 |
| Seawoo | 0780 |
| Sharp | 0313, 1010 |
| Signal | 0015 |
| Signature | 0011 |
| Starcom | 0003, 0015 |
| Stargate | 0015 |
| Starquest | 0015 |
| Taihan | 0778 |
| Tocom | 0012 |
| TongKook | 0777, 0840 |
| Toshiba | 0000 |
| Tusa | 0015 |
| United Artists | 0007 |
| Zenith | 0000, 0525, 0899 |

## [CD]

| メーカー名 | プリセットコード |
|---|---|
| ADC | 0018 |
| Adcom | 0155 |
| Aiwa | 0124, 0157 |
| Anam | 0362 |
| Audio-Technica | 0170 |
| Burmester | 0420 |
| California Audio Labs | 0029, 0303 |
| Carver | 0157, 0179, 0437 |
| DKK | 0000 |
| Denon | 0003, 0358, 0873 |
| Dynamic Bass | 0179 |
| Emerson | 0155, 0164, 0305, 0469 |
| Eroica | 0562, 0563 |
| Fantasia | 0525 |
| Fisher | 0174, 0179, 0342 |
| GE | 0009 |
| Garrard | 0280, 0393, 0420 |
| Genexxa | 0032, 0164, 0305 |
| GoldStar | 0383, 0525 |
| Harman/Kardon | 0157, 0173, 0426 |
| Hitachi | 0032, 0155 |
| Inkel | 0065, 0114, 0180, 0203, 0437 |
| JVC | 0072 |
| Kenwood | 0028, 0037, 0190, 0626, 0681, 0826 |
| Krell | 0157 |
| Kyocera | 0018 |
| LXI | 0305 |
| Linn | 0157 |
| Lotte | 0505 |
| Luxman | 0266 |
| MCS | 0029 |
| MTC | 0420 |
| Magnavox | 0157, 0305 |
| Marantz | 0029, 0157, 0180 |
| Mission | 0157 |
| NSM | 0157 |
| Nikko | 0164, 0170, 0174, 0362, 0525 |
| Onkyo | 0101, 0381, 0868 |
| Optimus | 0000, 0032, 0037, 0087, 0145, 0179, 0280, 0305, 0342, 0420, 0426, 0437, 0468, 1063 |
| Panasonic | 0029, 0303, 0367, 0752 |
| Parasound | 0420 |
| Philips | 0157, 0626 |
| Pioneer | 0032, 0244, 0305, 0468, 0551, 1062, 1063, 1087 |
| Proton | 0157 |
| QED | 0157 |
| Quasar | 0029 |
| RCA | 0009, 0053, 0155, 0179, 0305, 0764 |
| Realistic | 0155, 0164, 0179, 0180, 0420 |
| Rotel | 0157, 0420 |
| SAE | 0157 |
| STS | 0018 |
| Sansui | 0157, 0305 |
| Sanyo | 0087, 0179, 0349 |
| Scott | 0155, 0164, 0305 |
| Sears | 0305 |
| Sharp | 0037, 0180, 0261, 0861 |
| Sherwood | 0065, 0114, 0180, 0426 |
| Sony | 0000, 0185, 0490, 0604, 0605 |
| Soundesign | 0145 |
| Tandberg | 0203 |
| Tascam | 0420 |
| Teac | 0174, 0180, 0393, 0420 |
| Technics | 0029, 0303 |
| Toshiba | 0481 |
| Victor | 0072 |
| Wards | 0053, 0157 |
| Yamaha | 0036, 0170, 0187, 0261 |
| Yorx | 0461 |

## [CD-R/ MD]

| メーカー名 | プリセットコード |
|---|---|
| Denon | 0873 |
| Kenwood | 0626, 0681, 0826 |
| Onkyo | 0868 |
| Optimus | 1063 |
| Philips | 0626 |
| Pioneer | 1062, 1063, 1087(CD-R) |
| Sharp | 0861 |
| Sony | 0490 |

## [カセットデッキ]

| メーカー名 | プリセットコード |
|---|---|
| ADC | 1171 |
| Aiwa | 1029, 1197, 1223 |
| Akai | 1189 |
| Anam | 1364 |
| Carver | 1029, 1261 |
| Denon | 1076 |
| Dual | 1383 |
| Dynamic Bass | 1261 |
| Eroica | 1418 |
| Fisher | 1261 |
| Garrard | 1375 |
| GoldStar | 1375 |
| Harman/Kardon | 1029, 1182 |
| Inkel | 1070, 1337 |
| JVC | 1244, 1273 |
| Kenwood | 1070 |
| Kyocera | 1171 |
| Lotte | 1339 |
| Luxman | 1266 |
| Magnavox | 1029 |
| Marantz | 1029 |
| Nakamichi | 1218 |
| Nikko | 1364 |
| Olympus | 1266 |
| Onkyo | 1135, 1282 |
| Optimus | 1027, 1220, 1337 |
| Panasonic | 1229 |
| Philips | 1029 |
| Pioneer | 1027, 1099, 1101, 1220 |
| RCA | 1261 |
| Renaissance | 1413 |
| Samsung | 1391 |
| Sansui | 1029 |
| Sanyo | 1261 |
| Sherwood | 1337 |
| Sonic | 1375 |
| Sony | 1170, 1243, 1291 |
| Teac | 1391 |
| Technics | 1229 |

| メーカー名 | プリセットコード |
|---|---|
| Victor | 1244, 1273 |
| Wards | 1027 |
| Yamaha | 1094, 1097 |

## [LD]

| メーカー名 | プリセットコード |
|---|---|
| Aiwa | 0203 |
| Akai | 0598 |
| Denon | 0059, 0172 |
| Disco Vision | 0023 |
| Funai | 0203, 0584 |
| GoldStar | 0172 |
| Hitachi | 0023 |
| Hong Deng | 0542 |
| Idall | 0595 |
| Kebao | 0581 |
| Mitsubishi | 0059 |
| NAD | 0059 |
| Optimus | 0059 |
| Panasonic | 0204, 0496 |
| Pioneer | 0023, 0059, 0463, 0572, 0548 |
| Quasar | 0204 |
| Realistic | 0203 |
| Rowa | 0541 |
| SMC | 0596 |
| Sega | 0023 |
| Sharp | 0597 |
| Shinco | 0540 |
| Sony | 0193, 0201, 0583, 0589 |
| Super | 0581 |
| Technics | 0204 |
| Toshiba | 0599 |

## [衛星チューナー]

| メーカー名 | プリセットコード |
|---|---|
| AlphaStar | 0772 |
| DX Antenna | 0752 |
| Dae Young | 0735 |
| Daeryung | 0396 |
| Echostar | 0396, 0775, 1005 |
| Expressvu | 0775 |
| General Instrument | 0361, 0627, 0869 |
| HTS | 0775 |
| Hitachi | 0489, 0819 |
| Hughes Network Systems | 0749 |
| Hung Chang | 0732 |
| Hyundai | 0758 |
| JVC | 0492, 0505, 0506, 0775 |
| Jerrold | 0361, 0627 |
| JiWon | 0364 |
| Kabil | 0737 |
| Magnavox | 0722, 0724 |
| Marantz | 0200 |
| Memorex | 0724 |
| Mitsubishi | 0491 |
| NEC | 0496, 0499, 0507, 0508 |
| Next Level | 0869 |
| Now | 0757 |
| Panasonic | 0340, 0500, 0701, 0739 |
| Pantech | 0747 |
| Philips | 0200, 0722, 0724 |
| Pioneer | 0662 |
| Primestar | 0361, 0627 |
| RCA | 0143, 0392, 0566, 0855 |
| Radio Shack | 0869 |
| Samsung | 0773 |
| Sanyo | 0493 |
| Sharp | 0494, |
| Sony | 0275, 0639, 0661 |
| Star Choice | 0869 |
| Tae Kwang | 0733 |
| Toshiba | 0486, 0790 |
| Uniden | 0722, 0724 |
| VTech | 0321 |
| Victor | 0492, 0505, 0506 |
| Zenith | 0856 |

## [TV]

| メーカー名 | プリセットコード |
|---|---|
| Anam | 0003, 0004, 0009, 0068, 0161, 1253, 0425 |
| Anam National | 0161, 1253, 0425, 0650 |
| Daewoo | 0066, 0092, 0154, 0451 |
| ECE | 0037 |
| Etron | 0009, 0646 |
| Fortress | 1096 |
| Fujitsu | 0683 |
| Funai | 1174, 0264 |
| General | 0186 |
| GoldStar | 0001, 0002, 0037, 0039, 1181 |
| Hitachi | 1148 |
| JVC | 0036, 1056, 0069, 0094, 0160, 0653 |
| Marantz | 0054 |
| Matsushita | 1253, 0650 |
| Mitsubishi | 1153 |
| NEC | 0030, 0170 |
| Nicamagic | 0216 |
| Panasonic | 0126, 0161, 1253, 0650 |
| Philips | 0037 |
| Pioneer | 0166 |
| Samsung | 1063, 0090 |
| Sanyo | 0208 |
| Sharp | 1096 |
| Sky-Worth | 0037 |
| Sony | 1003, 0650 |
| SuperTech | 0216 |
| Toshiba | 1159 |
| Victor | 0036, 1056, 0160, 1253, 0650 |

## [ビデオ]

| メーカー名 | プリセットコード |
|---|---|
| Admiral | 0048, 0209 |
| Adventura | 0000 |
| Aiko | 0278 |
| Aiwa | 0000, 0037 |
| Akai | 0041, 0315 |
| America Action | 0278 |
| American High | 0035 |
| Anam | 0037, 0162, 0240, 0278, 0553, 0579 |
| Anam National | 0162, 1162 |
| Asha | 0240 |
| Audiovox | 0037 |
| Beaumark | 0240 |
| Bell & Howell | 0104 |
| Broksonic | 0002, 0121, 0184, 0209 |
| CCE | 0072, 0278 |
| Calix | 0037 |
| Canon | 0035 |
| Capehart | 0020 |
| Carver | 0081 |
| Cineral | 0278 |
| Citizen | 0037, 0278 |
| Colt | 0072 |
| Craig | 0037, 0047, 0072, 0240 |
| Curtis Mathes | 0035, 0041, 0060, 0162, |
| Cybernex | 0240 |
| Daewoo | 0020, 0045, 0046, 0278 |
| Daytron | 0020 |
| Denon | 0042 |
| Dynatech | 0000 |
| Electrohome | 0037 |
| Electrophonic | 0037 |
| Emerex | 0032 |
| Emerson | 0000, 0002, 0037, 0043, 0121, 0184, 0209, 0278 |
| Fisher | 0047, 0104 |
| Fuji | 0033, 0035 |
| Funai | 0000 |
| GE | 0035, 0048, 0060, 0240, |
| Garrard | 0000 |
| General | 0052 |
| Go Video | 0432 |
| GoldStar | 0037, 0038, 0225, 0480 |
| Gradiente | 0000, 0008 |
| HI-Q | 0047 |
| Harley Davidson | 0000 |
| Harman/Kardon | 0038, 0081 |
| Harwood | 0072 |
| Headquarter | 0046 |
| Hitachi | 0000, 0041, 0042, 0235 |
| Hughes Network Systems | 0042 |
| JVC | 0008, 0041, 0067 |
| Jensen | 0041 |
| KEC | 0037, 0278 |
| KLH | 0072 |
| Kenwood | 0038, 0041, 0067 |
| Kodak | 0035, 0037 |
| LG | 0480 |
| LXI | 0037 |
| Lloyd's | 0000 |
| Logik | 0072 |
| MEI | 0035 |
| MGA | 0043, 0240 |
| MGN Technology | 0240 |
| MTC | 0000, 0240 |

| メーカー名 | プリセットコード |
|---|---|
| Magnasonic | 0278 |
| Magnavox | 0000, 0035, 0039, 0081, 0149 |
| Magnin | 0240 |
| Marantz | 0035, 0081 |
| Marta | 0037 |
| Matsushita | 0035, 0162 |
| Memorex | 0000, 0035, 0037, 0039, 0046, 0047, 0048, 0104, 0209, 0240, 1037, 1162, 1262 |
| Minolta | 0042 |
| Mitsubishi | 0043, 0048, 0067 |
| Motorola | 0035, 0048 |
| Multitech | 0000, 0072 |
| NAD | 0058 |
| NEC | 0038, 0040, 0041, 0067, 0104 |
| Nikko | 0037 |
| Nikon | 0034 |
| Noblex | 0240 |
| Olympus | 0035 |
| Optimus | 0037, 0048, 0058, 0104, 0162, 0432, 1048, 1062, 1162, 1262 |
| Orion | 0002, 0184, 0209 |
| Panasonic | 0035, 0162, 0225, 0616, 1062, 1162, 1262 |
| Penney | 0035, 0037, 0038, 0040, 0042, 0240 |
| Pentax | 0042 |
| Philco | 0035, 0209 |
| Philips | 0035, 0081, 0618 |
| Pilot | 0037 |
| Pioneer | 0058, 0067, 0168 |
| Portland | 0020 |
| Profitronic | 0240 |
| Proscan | 0060, |
| Protec | 0072 |
| Pulsar | 0039 |
| Quarter | 0046 |
| Quartz | 0046 |
| Quasar | 0035, 0162, 1162 |
| RCA | 0035, 0042, 0048, 0060, 0149, 0240, |
| Radio Shack | 0000, 1037 |
| Radix | 0037 |
| Randex | 0037 |
| Realistic | 0000, 0035, 0037, 0046, 0047, 0048, 0104 |
| ReplayTV | 0614, 0616 |
| Ricoh | 0034 |
| Runco | 0039 |
| STS | 0042 |
| Samsung | 0045, 0240, 0426, 0432 |
| Sanky | 0039, 0048 |
| Sansui | 0000, 0041, 0067, 0209 |
| Sanyo | 0046, 0047, 0104, 0240 |
| Scott | 0043, 0045, 0121, 0184 |
| Sears | 0000, 0035, 0037, 0042, 0046, 0047, 0104 |
| Semp | 0045 |
| Sharp | 0048, 0363 |
| Shintom | 0072 |
| Shogun | 0240 |
| Singer | 0072 |
| Sony | 0000, 0032, 0033, 0034, 0035 |
| Sylvania | 0000, 0035, 0043, 0081 |
| Symphonic | 0000 |
| TMK | 0240 |
| Tatung | 0041 |
| Teac | 0000, 0041 |
| Technics | 0035, 0162 |
| Teknika | 0000, 0035, 0037, 0052 |
| Thomas | 0000 |
| Tivo | 0618 |
| Toshiba | 0043, 0045 |
| Totevision | 0037, 0240 |
| Unitech | 0240 |
| Vector | 0045 |
| Vector Research | 0038, 0040 |
| Victor | 0008, 0041, 0067 |
| Video Concepts | 0040, 0045 |
| Videosonic | 0240 |
| Wards | 0000, 0035, 0042, 0047, 0048, 0060, 0072, 0081, 0149, 0240, |
| White Westinghouse | 0209, 0278 |
| XR-1000 | 0000, 0035, 0072 |
| Yamaha | 0038 |
| Zenith | 0000, 0033, 0034, 0039, 0209 |

### [DVD/ DVD レコーダー]

| メーカー名 | プリセットコード |
|---|---|
| Denon | 0490, 0634 |
| GE | 0522 |
| Harman/Kardon | 0582 |
| JVC | 0558, 0623 |
| Kenwood | 0534 |
| Magnavox | 0503 |
| Marantz | 0539 |
| Mitsubishi | 0521 |
| Onkyo | 0503, 0627 |
| Optimus | 0571 |
| Panasonic | 0490, 0632 |
| Philips | 0503, 0539 |
| Pioneer | 0525, 0571, 0631(DVD-R), 0632 |
| Proscan | 0522 |
| RCA | 0522 |
| Samsung | 0573 |
| Sharp | 0630 |
| Sherwood | 0633 |
| Sony | 0533 |
| Technics | 0490 |
| Theta Digital | 0571 |
| Toshiba | 0503 |
| Yamaha | 0490, 0545 |
| Zenith | 0503, 0591 |

# 決めた時刻に再生する（目覚ましタイマー）

本機の時計機能を使うと、毎日同じ時刻に再生を開始して終了させることができます。
例えば、お気に入りのCDを目覚まし時計の代わりに再生させることができます。

MULTI CONTROL
DVD TUN SYS
VIDEO V-1 V-2 AUDIO A-1 A-2
3 FUNCTION
6 TIMER/CLOCK ADJ
SYSTEM VOLUME
FQ＋ ST－ ENTER ST＋ FQ－
Pioneer

### メモ

▼ 再生させたい機器や音量ボリュームなどの設定した内容は、解除しない限り毎日同時刻に実行されます。

### 注意

◆ 時計を合わせていないと、タイマーの設定をすることはできません。（15ページ参照）
◆ 停電したり電源コードを抜くと、時計表示は点滅して動作しません。この場合はウェイクアップタイマーの設定も解除されていますので、時刻を合わせてからあらためてウェイクアップタイマーを設定し直してください。
◆ 開始時刻と終了時刻を同じにすると、タイマーは動作しません。

**例 午前7時30分に再生がスタートし、午前9時15分に再生が終わるようにタイマーをセットするとき**

## 1. 再生させたい機器の準備をします

### FM/AM放送で目覚めるには....

TUNボタンを押してから、好きな放送局を受信します。

### CDやDVD、VCDで目覚めるには....

DVDボタンを押してから、ディスクをセットしておきます。

## 2. 音量の調整を行ないます

SYSTEM VOLUM

設定した音量でタイマーがオンします。

## 3. SYSボタンを押します

SYS

## 4. タイマー / クロックボタンを押します

6 TIMER/CLOCK ADJ

## 5. ◁ ▷ ボタンを押して、"WAKE－UP SET"にします

ST－ ST＋

WAKE-UP SET

## 6. エンターボタンを押します

ENTER

## 7. △ ▽ ボタンで開始時刻の「時」を合わせから、エンターボタンを押します

FQ＋ FQ－

例の場合は、"7:00am"にします。

ON 7:00 AM

6 TIMER/CLOCK ADJ

設定を間違えた場合は、タイマー / クロックボタンを押して、もう一度手順4からやり直してください。

**8.** ENTER

**△ ▽ ボタンで開始時刻の「分」を合わせから、エンターボタンを押します**

例の場合は、"30"にします。

ON 7:30 AM

**9.** ENTER

**△ ▽ ボタンで終了時刻の「時」を合わせから、エンターボタンを押します**

例の場合は、"9:00am"にします。

OFF 9:00 AM

**10** ENTER

**△ ▽ ボタンで終了時刻の「分」を合わせから、エンターボタンを押します**

例の場合は、"15"にします。

OFF 9:15 AM

**11**

**設定内容が表示されます**

「開始時刻」

ON 7:30 AM

「終了時刻」

OFF 9:15 AM

「再生されるソース（DVD、TUNERなど）」

DVD

「音量」を順番に表示していきます。

VOLUME 10

**12**

SYSTEM

**システム ⏻ ボタンを押して電源をオフにします**

## 解除するには

目覚ましタイマーは、毎日同じ時刻に動作を開始します。ですから日曜日などに 目覚ましタイマーを動作させたくないときは、以下の手順でオフに設定します。
また、オンに再設定すると、前と同じ設定内容で目覚ましタイマーがセットされます。

**1.** SYS

**SYS ボタンを押します**

**2.** 6 TIMER/CLOCK ADJ

**タイマー / クロックボタンを押します**

**3.** ST− ST+

**◁ ▷ ボタンを押して、"TIMER OFF" にします**

TIMER OFF

再設定する場合は、`TIMER ON"にします。

**4.** ENTER

**エンターボタンを押します**

## 設定内容を確認するには

**1.** SYS

**SYS ボタンを押します**

**2.** 6 TIMER/CLOCK ADJ

**タイマー / クロックボタンを押します**

**3.** ST− ST+

**◁ ▷ ボタンを押して、"TIMER CHECK" にします**

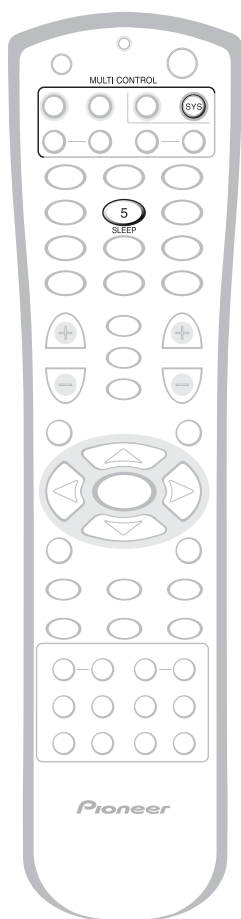
TIMER CHECK

**4.** ENTER

**エンターボタンを押します**

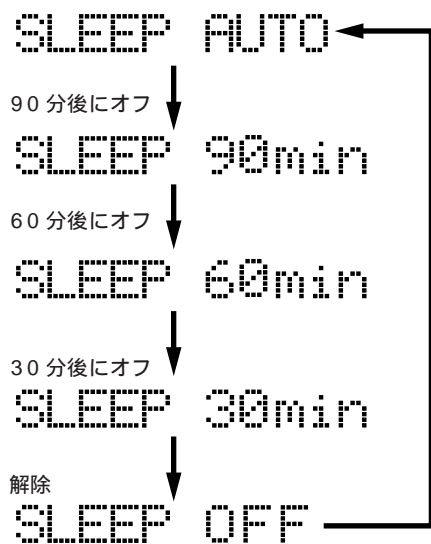
「開始時刻」➡「終了時刻」➡「再生されるソース（CD、TUNERなど）」➡「音量」を順番に表示していきます。

# 決めた時間後に電源を切る（スリープタイマー）

設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。音楽を聞きながら眠ったり、録音したまま外出したりするときに便利です。
設定できる時間は、90分、60分、30分の３種類と、スリープオートです。

## 1. SYS ボタンを押します

## 2. スリープボタンを押します。

押すごとに、以下のように切りかわります。

スリープオート *
SLEEP AUTO
90分後にオフ
SLEEP 90min
60分後にオフ
SLEEP 60min
30分後にオフ
SLEEP 30min
解除
SLEEP OFF

スリープタイマーをセットすると、☾ が点灯します。

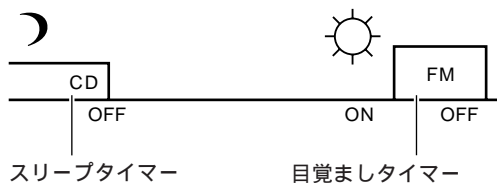
* スリープオート(SLEEP AUTO)
  CDの再生中に選ぶことができます。
  再生が終了して本機が停止してから１分後に自動的に電源が切れます。
  ただし、リピート再生が設定されていたり、DVDの再生やビデオCDでPBC再生が設定されている場合は、スリープオート(SLEEP AUTO)機能を使用できません。

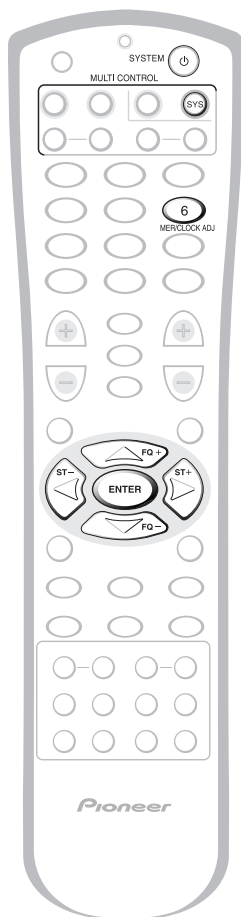
### メモ

▼ スリープタイマーがセットされているときにスリープボタンを押すと、電源がオフするまでの時間を表示します。
▼ スリープタイマーと目覚ましタイマーを組み合わせて使うことができます。例えば、夜はCDを聞きながらスリープタイマーで電源をオフにして寝て、朝はFMで目覚めるといったことができます。

CD
OFF
ON
FM
OFF
スリープタイマー
目覚ましタイマー

### 注意

◆ スリープ動作中は表示ユニットが暗くなります（ディマー機能 /75ページ参照）
◆ スリープタイマーを解除するときは、電源をオフにするか、"SLEEP OFF"を選択します。
◆ スリープオートが動作中にファンクションを切りかえた場合は、1分後に電源がオフになります。

# 時計の表示モードをかえる

時計の表示を、12時間表示と24時間表示とに切りかえることができます。初期値は、12時間表示になっています。

**1.** **システム ⏻ ボタンを押して電源をオフにします**

本体の場合は、⏻STANDBY/ONボタンを押します。

**2.** **SYS ボタンを押してから、タイマー / クロックボタンを押します**

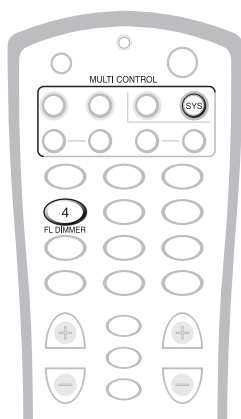
**3.** **◁ ▷ ボタンを押して、"CLOCK 12 HOUR" か "CLOCK 24 HOUR" にします**

CLOCK 24HOUR

**4.** **△ ▽ ボタンを押して、12か24にします**

**5.** **エンターボタンを押します**

# ディスプレイ表示の明るさをかえる

部屋の明るさに応じて、表示の明るさを、5段階で切りかえることができます。ディマー機能といいます。

**1.** **SYS ボタンを押してます**

**2.** **ディマーボタンを押します。**

押すごとに、表示の明るさが切りかわります。

# アンテナについて

## アンテナ接続について

アンテナ端子のアースマーク(⏚)はアンテナを接続した場合の雑音低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

### AM ループアンテナ：

- 平らな面に置き、受信状態の最も良い方向に向けてください。
- アンテナは、本機から離して金属物と接触しない場所に置いてください。また、パソコン、テレビなどからもできるだけ離してください。ノイズの原因となります。
- 壁などに取り付ける場合は、AM 放送の受信状態が最も良い方向を見つけ、取り付け位置を決めてください。

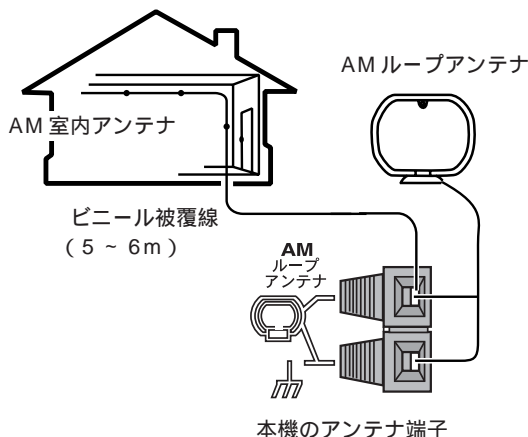
### FM 簡易アンテナ：

- 付属の FM 簡易アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないでピンと張ってください。
- 付属の FM 簡易アンテナは、FM 放送を手軽に受信するためのものです。よりよい受信のためには、市販の屋外アンテナの使用をお勧めします。

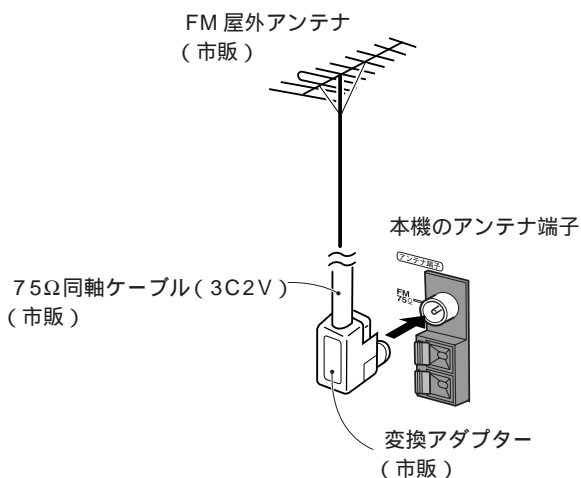
## 付属のアンテナでよく聞こえないとき

### AM アンテナをつなぐ

- AM外部アンテナ（ビニール被覆線）を下図のように接続してください。
- AM 外部アンテナを接続しても AM ループアンテナは外さないでください。

AM ループアンテナ
AM 室内アンテナ
ビニール被覆線
（5 〜 6m）
AM
ループ
アンテナ
本機のアンテナ端子

### FM 屋外アンテナをつなぐ

- 市販の FM 屋外アンテナを接続するには、市販の同軸ケーブルと変換アダプターを使って、下図のように接続してください。

FM 屋外アンテナ
（市販）
本機のアンテナ端子
75Ω同軸ケーブル（3C2V）
（市販）
アンテナ端子
FM
75Ω
変換アダプター
（市販）

# ステップ周波数を切りかえる

国内では通常、FM/AM 放送を受信するときの周波数ステップを、FM 放送は 0.05MHz ごとに、AM 放送は 9kHz ごとに設定されていますが、本機では A M 放送のステップ周波数を10kHz ステップに切りかえることができます。この場合、FM 放送のステップ周波数は、0.1MHz ステップになります。

① 電源がオフのとき（スタンバイ状態）に、SYS ボタンを押します
② セットアップボタンを押します
③ ◁ ▷ ボタンを押して、"AM STEP" を選びます
④ △ ▽ ボタンで "AM10kH" を選びます
⑤ エンターボタンを押します

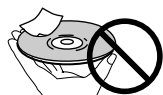
尚、AM 放送を 10kHz ステップに変更すると、国内のラジオ放送を受信することができなくなります。
9kHz に戻す時は、手順④で、"AM 9kH" を選びます。

# 使用上の注意

## ディスクの取り扱いかた

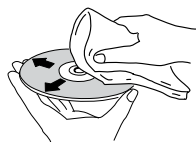
### ■ 取り扱いかた

両手で持つ場合　　片手で持つ場合

・ 損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。
・ ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。
・ ディスクに紙やシールを貼り付けないでください。
・ のりなどがはみ出した場合、故障の原因になります。特に、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してから、ご使用ください。

### ■ 保管

・ 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
・ ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

### ■ ディスクのお手入れ

・ ディスクに指紋やホコリが付いた場合、音質や画質が低下することがあります。柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭いてください(円周に沿って拭かないでください)。
・ ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。またレコードスプレー、帯電防止剤などはご使用できません。
・ ディスクの清掃には別売りのディスククリーニングセット(JV-D11)の使用をおすすめします。
・ 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。

### ■ 特殊な形のディスクについて

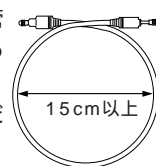
本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

## レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたり、画像が乱れることがあります。このような場合は***「保証とアフターサービス」***(**P.81**)をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクは、レンズを破損する恐れがありますのでご使用にならないでください。

## 光ファイバーケーブル(別売り)の取り扱い上の注意

・ 急な角度に折り曲げないでください。保管するときは、直径が15cm以上になるようにしてください。
・ 接続の際はしっかり奥まで差し込んでください。
・ 長さは3m以下のものを使用してください。
・ プラグに傷やほこりが付着したときは、柔らかい布で拭いてから接続してください。

15cm以上

## 結露について

冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて１～２時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

## 設置上の注意

● 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くには設置しないでください。キャビネットが変形したり、変色したりして故障の原因となります。
● 本機は水平な場所に設置してください。不安定な場所に設置するのは大変危険ですのでおやめください。
● 本機の天面、側面、後面の放熱孔は塞がないように放置してください。放熱孔が塞がると内部が異常高温になり、火災の原因になることがあります。

## 著作権について

● ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
● 本機は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

# 故障？ちょっと調べてください

故障かな？…と思ったらちょっとチェックしてみてください。意外なミスが故障と思われています。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用の他の機器および同時に使用している電気器具も合わせてお調べください。
以下の項目をチェックしても直らない場合は、修理を依頼してください。

| 症　状 | 原　因 | 処　置 |
|---|---|---|
| 電源が入らない。 | ● 電源プラグがコンセントから抜けている。<br>● 保護回路によることがある。<br>● ケーブルが抜けている。 | ● 壁のコンセントに差し込む。<br>● 電源プラグを一度コンセントからはずして、再び差し込む。<br>● 接続を確認して、確実にコネクターを挿入する。 |
| 操作ボタンを押しても動作しない。 | ● 空気が乾燥しているとき、静電気などの影響を受けている。 | ● 電源プラグを一度コンセントからはずして、再び差し込む。 |
| 入力切換を合わせても、音が出ない。 | ● 接続が正しくない。<br>● ミューティング状態になっている。<br>● ボリュームが下がっている。<br>● アナログ、デジタルを正しく切りかえていない。 | ● 別冊の「HTZ-55DVをセッティングしましょう」を参照して、接続を直す。<br>● リモコンのMUTEボタンを押す。<br>● MASTER VOLUMEを調節する。<br>● AUDIO 1、VIDEO 2のファンクションで正しくアナログ、デジタルを設定する。（P.56） |
| 入力切換を合わせても、映像が出ない。 | ● 接続が正しくない。<br>● 入力切換を正しく選択していない。 | ● 別冊の「HTZ-55DVをセッティングしましょう」を参照して、接続を直す。<br>● 正しいボタンを押す。 |
| ラジオ放送で雑音が多い。 | ● システムケーブル、コントロールケーブル、ドルビーデジタルRFやデジタル信号の接続線がアンテナ端子やアンテナ線の近くを通っている。またはディスプレイユニットとアンテナが近い。 | ● アンテナ端子やアンテナ線から、ケーブル、接続線を離す。ディスプレイユニットをアンテナから離す。 |
| スピーカーから音が出ない。 | ● ボリュームレベルが下がっている。<br>● スピーカーの接続がはずれている。<br>● ヘッドホンが接続されている。 | ● ボリュームレベルを上げる。（P.83,87）<br>● 接続する。<br>● ヘッドホンを抜く。 |
| リモコン操作ができない。 | ● リモコンの電池が消耗している。<br>● ディスプレイユニットとの距離が離れすぎている。角度が悪い。またはディスプレイユニットにリモコンを向けていない。<br>● 途中に信号を遮る障害物がある。<br>● 蛍光灯などの強い光がリモコン信号受光部に当たっている。<br>● 静電気の強い影響を受けて、プリセットまたは学習したデータが壊れた。 | ● 電池を交換する。(別冊の「HTZ-55DVをセッティングしましょう」参照)<br>● 7m以内、左右30°以内で操作する。（P.8）<br>● 障害物を取り除くか操作する場所を移動する。<br>● リモコン受光部に光が直接当たらないようにする。<br>● リモコンの電池を入れ直す。（別冊の「HTZ-55DVをセッティングしましょう」参照）<br>それでも直らない場合は、全データを消して、初めからプリセットまたは学習する。（P.63） |

ご注意：
静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常に動作する場合があります。
これで解決しないときは、最寄りの弊社サービスステーションにご相談ください。

# 故障？ちょっと調べてください

| | | 症　状 | 考えられる原因 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|
| 操作 | 1. | ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう | ● ディスクが極端に汚れている。<br>● ディスクがディスクテーブルに正しくセットされていない。<br>●リージョン NO. が一致していない。<br>● 本機の内部が結露している。<br>● PAL 方式や SECAM 方式のディスクでは再生できません。 | P.77<br>P.16<br>P.80<br>P.77 |
| | 2. | 再生できない | ● ディスクを表裏逆に入れている。<br>● ファイナライズされていないCD-R/CD-RWを使用しています。レコーダーにてファイナライズ処理をしてください。 | |
| 映像 | 3. | マークが画面に出る | ●ディスク自体が禁止している操作です。 | |
| | 4. | マークが画面に出る | ● プレーヤーがその操作を禁止しています。 | |
| | 5. | 画面が止まり、操作ボタンを受け付けない | ● 一度、停止(■)ボタンを押してから、もう一度再生してください。 | |
| | 6. | 設定内容が消える | ● 電源が入っているときに、停電や電源コードが抜かれて電源が切れてしまったときは、設定内容が消えてしまいます。<br>また、電源コードを抜くときは、必ず DVD センターユニットまたはリモコンの STANDBY/ON ボタンを押して STANDBY インジケータが点灯してから行ってください。 | |
| | 7. | 画面が映らない | ● 接続が間違っている。<br>● テレビの操作（設定）が合っていない。 | P.42 |
| | 8. | 画面が伸びる、またはアスペクトが切り替わらない | ● マルチアスペクトの設定が合っていない。 | |
| | 9. | DVD 再生中に画像が乱れる、または暗い | ● 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。<br>ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクを再生した場合、テレビによっては一部画像に横縞が入る等の症状が出るものもありますが、故障ではありません。 | |
| | 10. | DVD 映像をＶＴＲに録画したり、VTR を通して再生すると再生画像が乱れる | ● 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。<br>ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクを VTR を通して再生したり、VTR に録画して再生するとコピーガードシステムにより正常に再生されません。 | P.42 |
| 音声 | 11. | 音が出ない、音が歪む | ● デジタル出力のリニア PCM の設定が 96kHz に設定されている。ディスクによっては、デジタル出力を禁止しているものがあります。<br>● ディスクが汚れている。<br>● デジタル音声ケーブルの差し込みかたが不十分、または外れている。<br>● デジタル音声ケーブルや端子が汚れている。<br>● 音声ケーブルの接続が間違っている。<br>● 一時停止になっている。<br>● ミュートがオンになっている。 | P.77<br>P.87 |
| | 12. | DVD と CD で音量差を感じる | ● DVD と CD で音量差を感じることがありますが、これはディスクの記録方式の違いによるものです。 | |

# 用語解説

### アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。従来サイズのテレビでは4：3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16：9の比率となっています。臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

### 視聴制限
暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限のレベル（大小）が設けられたものがあります。ディスクのレベルよりも小さいレベルに本機の視聴制限レベルを設定すると、暗証番号を入力しないかぎり再生ができなくなります。

### ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。ダイナミックレンジは、デシベル（dB）単位で測定されます。
ダイナミックレンジを圧縮すると、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。

### ドルビーデジタル　DOLBY DIGITAL
ドルビーデジタルは最大5.1チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして採用されているドルビーデジタルと同一のシステムです。

### プレイバックコントロール（PBC）
ビデオCD（バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクの再生が楽しめます。また、高／標準解像度の静止画も楽しむことができます。

### マルチアングル
DVDの中には、同時に複数のカメラで撮影したすべての映像が記録されているものがあり、プレーヤー側でどのカメラの映像を再生するのかを自由に選ぶことができます。

### マルチ音声言語
DVDの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を持っているものがあります。DVDでは音声を最大8言語（8ストリーム）まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

### マルチ字幕言語(サブタイトル)
映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDでは字幕の言語を最大32カ国語まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

### リージョン No.
DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能な地域番号（リージョンNo.)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョンNo.は「2」です(本体後面部に表記されています)。

### リニアPCM
DVDの音声記録方式の1つです。CDの音声と同じ方式ですが、サンプリング周波数が48kHzや96kHzで記録されており、CDよりも高音質の音声が楽しめます。

### DTS　DIGITAL dts SURROUND
Digital Theater Systemsの略です。DTSはドルビーデジタルと異なるサラウンドシステムの1つです。

### F-Disc（エフディスク）
8mmフィルムで撮った映像をDVDディスクに記録したものです。
お問い合わせ先：（株）フジカラーサービス
コンシューマーフォト部
電話：03-5571-5333

### GUI
Graphical User Interfaceの略です。画面にメニューを表示し、それを操作することでより使いやすい環境を提供します。

### PCM
Pulse Code Modulationの略でデジタル音声のことをいいます。CDのデジタル音声がPCMです。

### 5.1ch
フロント左/右、センター、リア左/右の5チャンネルに低音域専用の0.1チャンネルを加えたマルチチャンネル音声のことです。ドルビーデジタルやDTSといったサラウンドシステムで採用されています。

# 日ごろのお手入れ

## 製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。
アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

## 音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。
夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。
近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

# 保証とアフターサービス

## 保証書（別添）について

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

**保証期間はご購入日から1年間です。**

## 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、補修用性能部品を製造打ち切り後、DAT/テープデッキについては最低6年間、ステレオ製品については最低8年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理に関するご質問、ご相談

お買上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションをご利用ください。
所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

## 修理を依頼されるとき

78～79ページにしたがって調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店、またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

## 連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：DVD ホームシアタードシステム
- 型番：HTZ-55DV
- お買い上げ日
- 故障の状況（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

### ■ 保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

### ■ 保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

### ■ お願い

修理のために本機をお持ちいただく際は、部分的な故障と思われる場合でもシステム全体での動作確認が必要となるため、全機器をお持ち込み願います。

# 仕様

## ■ アンプ部

実用最大出力（EIAJ）
　フロント、センター、リア（1 kHz、10 %、8 Ω）
........................................ 40 W x 5
　サブウーファー（100 Hz、10 %、8 Ω）........ 65 W

## ■ スピーカーシステム部

**サテライトスピーカー　S-DV55ST-K**
型式 ........................ 密閉式、防磁設計（EIAJ）*
使用スピーカー
　フルレンジ ........................ 8.7 cm（コーン型）
公称インピーダンス ........................ 8 Ω
再生周波数帯域 ........................ 100 ～ 20,000 Hz
最大入力 ........................ 40 W（EIAJ）
**パワードサブウーファー　S-DV55SW-K**
型式 ........................ バスレフ式フロア型、防磁設計（EIAJ）*
使用スピーカー
　ウーファー ........................ 16 cm（コーン型）
公称インピーダンス ........................ 8 Ω
再生周波数帯域 ........................ 25 ～ 300 Hz
最大入力 ........................ 65 W（EIAJ）

## ■ DVD 部（音声）

S/N ........................ 115 dB（EIAJ）
ダイナミックレンジ ........................ 100 dB（EIAJ）
歪 ........................ 0.004 %
周波数特性
　48 kHz サンプリング ........................ 4 Hz ～ 22 kHz
　96 kHz サンプリング ........................ 4 Hz ～ 44 kHz
ワウ・フラッター ........................ 測定限界以下
（± 0.001 % W.PEAK）

## ■ DVD 部（映像）

出力レベル ........................ 1 Vp-p（75 Ω負荷時、同期負）
映像 Y 出力レベル ........................ 1 Vp-p（75 Ω）
映像 C 出力レベル ........................ 286 mVp-p（75 Ω）

## ■ DVD 部（その他の端子）

光デジタル出力（PCM/DD（光））........................ 光コネクター
光デジタル入力（PCM/DD（光））........................ 光コネクター
同軸デジタル入力 ........................ RCA 同軸コネクター

## ■ チューナ部

**FM チューナ部**
　受信周波数 ........................ 76.0 ～ 108.0 MHz
　アンテナ ........................ 75 Ω不平衡型
**AM チューナ部**
　受信周波数 ........................ 522 kHz ～ 1,629 kHz
（9 kHz ステップ）
........................ 530kHz ～ 1,700kHz
（10 kHz ステップ）
　アンテナ ........................ ループアンテナ（付属）

## ■ 電源部

電源電圧 ........................ AC100 V、50/60 Hz
消費電力 ........................ 140 W
スタンバイ消費電力 ........................ 1 W

## ■ その他

**DVD チューナーユニット部**
　外形寸法 ........................ 280（幅）X 240（奥行）X 82（高さ）mm
　質量 ........................ 3.1 kg
**パワードサブウーファー部**
　外形寸法 ........................ 190（幅）X 425（奥行）X 430（高さ）mm
　質量 ........................ 13.8 kg
**サテライトスピーカー部**
　外形寸法 ........................ 110（幅）X 75（奥行）X 154（高さ）mm
　質量 ........................ 0.76 kg
**センタースピーカー部**
　外形寸法 ........................ 210（幅）X 75（奥行）X 110（高さ）mm
　質量 ........................ 0.83 kg
**ディスプレイ部**
　外形寸法 ........................ 210（幅）X 62（奥行）X 86（高さ）mm
　質量 ........................ 0.23 kg

許容動作温度 ........................ ＋ 5 ℃～＋ 35 ℃
許容動作湿度 ........................ 5 %～ 85 %(結露のないこと)

## ■ 付属品

リモコン ........................ 1
ディスプレイユニット ........................ 1
AM ループアンテナ ........................ 1
FM アンテナ ........................ 1
ビデオケーブル ........................ 1
単 3 形アルカリ乾電池（AA/LR6）........................ 2
電源コード ........................ 1
ディスプレイケーブル ........................ 1
コントロールケーブル A ........................ 1
コントロールケーブル B ........................ 1
スピーカーケーブル（5 m）........................ 3
スピーカーケーブル（10 m）........................ 2
ケーブルラベル ........................ 10
すべりどめ ........................ 15
取扱説明書（本書）........................ 1
システムセットアップガイド ........................ 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内 ........................ 1
安全上のご注意 ........................ 1
保証書 ........................ 1

＊防磁設計（EIAJ）とは、（社）日本電子機械工業会（EIAJ）の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

# 各部の名称

## DVD チューナーユニット

**スタンバイ / オンボタン**

**スタンバイインジケータ**

**ディスクイルミネーション**
DVD/ CD/ VIDEO CD のファンクションのときに点灯します

**ディスクテーブル**

**開 / 閉ボタン**

**ファンクションボタン**

**ボリューム調整＋ボタン**

**ボリューム調整－ボタン**

**停止ボタン**

**一時停止ボタン**

**再生ボタン**

**ヘッドホン端子**
市販のヘッドホンを接続します。インピーダンス 16 Ω〜 50 Ω（推奨 32 Ω）で、直径 3.5 Φステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は出ません。

**コントロールケーブル接続端子（青）Ⓐ**

**FM アンテナ端子**

**外部機器とのアナログ接続用端子**

**AM ループアンテナ端子**

**外部機器とのデジタル接続用端子**

**ディスプレイケーブル接続端子 (ディスプレイユニットに接続します。)**

**コントロールケーブル接続端子（黒）Ⓑ**

# 各部の名称

## サブウーファー

電源コード接続端子

コントロールケーブル
接続端子（黒）Ⓑ

コントロールケーブル接続端子（青）Ⓐ

スピーカー端子

## ディスプレイユニット

表示窓

リモコン受光部

ディスプレイケーブル接続端子
（DVDチューナーユニットに接続します。）

## ディスプレイ部

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13
CONDITION TOTAL REMAIN ANGLE L C R PRO LOGIC
96kHz TITLE LAST MEMO CHP/TRK LFE Ls S Rs DIGITAL DSP dts
20 19 18 17 16 15 14

① CONDITION (P.37 参照)
再生の設定(コンディション)が記憶されていることを示します。

② TITLE
タイトル表示中を示します。

③ TOTAL
再生面の総再生時間表示を示します。

④ LAST MEMO (P.35 参照)
つづき再生記憶中を示します。

⑤ REMAIN
再生の残り時間表示を示します。

⑥ CHP/TRK
チャプターやトラックの表示中を示します。

⑦ ANGLE (P.36 参照)
マルチアングル再生中を示します。

⑧ LFE
ドルビーデジタル信号、または DTS 信号入力時に、LFE(Low Frequency Effect＝超低音の効果音)チャンネルが再生ソース中に設定されていると LFE と点灯します。

⑨ L、Ls、C、S、R、Rs
設定されているチャンネルが点灯します。

⑩ DIGITAL (P.23 参照)
ドルビーデジタル再生中を示します。

⑪ PRO LOGIC (P.23 参照)
ドルビープロロジック再生中を示します。
DIGITAL と PRO LOGIC が同時に点灯するときドルビープロロジックエンコードされたドルビーデジタル再生中を示します。

⑫ DSP (P.23 参照)
DSP モード選択時に点灯します。

⑬ DTS (P.23 参照)
DTS のソフトを再生すると点灯します。

⑭ モノラル設定中(P.51 参照)
モノラルモード時に点灯します。

⑮ ステレオ受信中(P.51 参照)
ステレオ放送受信時に点灯します。

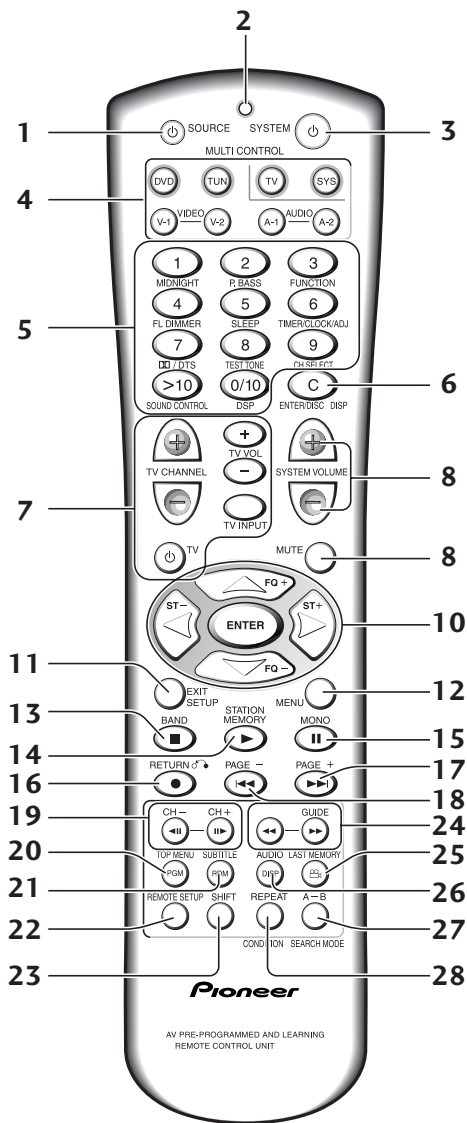
⑯ 受信中(P.20 参照)
放送局受信時に点灯します。

⑰ スリープタイマー作動中(P.74 参照)
スリープタイマー設定 / 動作時に点灯します。

⑱ 目覚ましタイマー(P.72 参照)
目覚ましタイマー設定時に点灯、動作時に点滅します。

⑲ タイマー設定中(P.72 参照)
目覚ましタイマー設定時に点灯、動作時に点滅します。

⑳ 96kHz (P.42 参照)
サンプリング周波数が96 kHzのディスクを再生すると点灯します。

## リモコン

1　**⏻システム電源ボタン** (P.65～68参照)
他機器の電源をON/OFFするときに押します。ただし、本機のリモコンにその機器のメーカーコードを設定しておくか学習させておかないと正しく動作しません。

2　**インジケーター**
ボタンを押したり、本機のリモコンにそ他機器のメーカーコードを設定したり、学習させたりすると点灯します。

3　**SYSTEM ⏻ ボタン**
本機の電源を ON/OFF するときに押します。

4　**MULTI CONTROL ボタン** (P.16,20,56～64参照)
本機の入力を切り換えるときや他機器を操作するときに押します。

5　**数字ボタン**
見たい / 聞きたい場所を探すとき、音声や字幕を選ぶとき、または メニュー画面で項目を選ぶときなどに使います。
また、リモコンの操作モードにしたがってさまざまな目的に使用します。

**ミッドナイトボタン** (P.52参照)
ミッドナイトリスニングモードを ON にすると、音量を下げて映画などを楽しむ場合など、サラウンド効果が最適なレベルに自動調整されます。

**P.BASS ボタン** (P.53参照)
低音部の音質を強調して再生するときに押します。

**ファンクションボタン** (P.56～58参照)
入力ソースを選択するとき押します。入力ソースすべてを順次選択していきます。

**ディマーボタン** (P.75参照)
ディスプレイユニットの照明を調整します。

**スリープボタン** (P.74参照)
スリープタイマーを設定するときに使用します。

**タイマー／クロックボタン** (P.15,72,75参照)
時計やタイマーの設定をするときに使用します。

**DD/DTS ボタン** (P.23参照)
このモードでは、自動的に入力信号に合せてドルビーデジタル、ドルビープロロジック、または DTS サラウンドモードが ON になります。

**テストトーンボタン** (P.14参照)
スピーカーレベルを調整するときに、テストトーンを鳴らすときに押します。

**チャンネルセレクトボタン** (P.53参照)
スピーカーレベルを調整するときに、スピーカーを切りかえるときに押します。

**サウンドコントロールボタン** (P.24参照)
音質調整をするときに押します。

**DSP ボタン** (P.25参照)
DSP モードを選択します。

6 **クリアーボタン** (P.28,29,31,35 ～ 37 参照)
直前に入力した数字を取り消したいときに押します。また、リピート再生、ランダム再生、プログラム再生を取り消すときやメモリーを消去するときに使用します。
**ENTER/DISC ボタン**
他機器の操作をするときに使用します。
**DISP ボタン** (P.15 参照)
時計を表示をするときに押します。
7 **TV CONTROL ボタン** (P.68 参照)
**TV チャンネルボタン**
テレビのチャンネルを切りかえるときに押します。
**TV VOL（+/ ー）ボタン**
テレビの音量を調節するとき押します。
**TV⏻ボタン**
テレビの電源を入れたり、スタンバイ状態にするとき押します。
**TV INPUT ボタン**
テレビの入力を切りかえるとき押します。
8 **システム VOLUME（+/ ー）ボタン**
本機の音量を調節するとき押します。
9 **ミュートボタン**
音を一時的に消す（ミュートする）ときに押します。もう一度押すと、ミュートは解除されます。
10 **▲/▼/◀/▶/ENTER ボタン**
▲/▼/◀/▶ ボタン
テレビ画面のメニュー表示にしたがって設定項目を選択するときカーソルを上下左右に動かします。
**ENTER ボタン**
設定した項目を実行します。
11 **セットアップボタン** (P.40 参照)
DVD 初期設定を表示します。
**EXIT ボタン**
ケーブル TV のガイド機能を終了するときに使用します。
12 **メニューボタン** (P.17 参照)
DVD ソフトのメニュー画面を表示します。
13 **停止(■)ボタン** (P.18 参照)
ディスクの再生を止めます。
**バンドボタン** (P.20 参照)
FM/AM を切りかえるときに使用します。
14 **再生(▶)ボタン** (P.16 参照)
ディスクの再生を開始します。
**ステーションメモリーボタン** (P.21 参照)
ラジオのステーションを登録するときに押します。
15 **一時停止（II）ボタン** (P.27 参照)
映像や音声を再生中に押すと、映像が静止画になり、音声が一時停止します。もう一度押すと再生を再開します。
**モノボタン** (P.21 参照)
押すと、FM 放送がモノラル受信に切りかわります。

16 **リターンボタン** (P.16,40 参照)
初期設定画面やメニュー画面が表示されているとき押すと 1 つ前の項目に戻ります。
17 ▶▶I ボタン (P.19 参照)
場面や曲の頭出しをします。
18 I◀◀ ボタン (P.19 参照)
場面や曲の頭出しをします。
19 **ステップ / スロー（◀II/II▶）ボタン** (P.27 参照)
◀II： 一度押すとコマ戻し再生します。押し続けると逆方向にスロー再生します。
II▶： 一度押すとコマ送り再生します。押し続けると前方向にスロー再生します。
20 **トップメニューボタン** (P.16,17 参照)
DVD ソフトの最上層のメニュー画面を表示します。
プログラムボタン(P.30 参照)
DVD ではタイトルやチャプター、ビデオ CD、または CD ではトラック番号をプログラムして好きな順に再生します。
21 **字幕ボタン** (P.36 参照)
DVD の字幕言語を切り換えます。
**ランダムボタン** (P.29 参照)
DVDではタイトルやチャプター、ビデオCDまたはCDではトラックを順不同に再生します。
22 **リモートセットアップボタン** (P.59 ～ 64 参照)
リモコンの各種設定に使用します。
23 **シフトボタン**
リモコンのボタンの機能を切りかえるときに押します。
24 ◀◀ ▶▶ ボタン (P.19 参照)
映像や音声の早送りや早戻しをします。
25 **ラストメモリーボタン** (P.35 参照)
つづきから見たい場所を記憶したり、呼び出したりします。
**アングルボタン** (P.36 参照)
DVD のアングルを切り換えます。
26 **音声ボタン** (P.37 参照)
言語または音声を切り換えます。
**ディスプレイボタン** (P.38,39 参照)
ディスクの情報を表示します。
27 **A-B ボタン** (P.28 参照)
再生中このボタンを押すと、指定した 2 点間を繰り返し再生します。
**サーチモードボタン** (P.26 参照)
サーチの種類を選ぶときに押します。
28 **リピートボタン** (P.28 参照)
DVD ではタイトルやチャプターを繰り返し再生します。ビデオ CD、または CD ではトラックやディスク全体を繰り返し再生します。
**コンディションメモリーボタン** (P.37 参照)
DVD の設定を記憶します。

## デモ表示について

表示部に自動的にいろいろな表示が行われることを、デモ表示といいます。以下のような場合にデモ表示が行われます。

- 電源プラグをコンセントに差し込んだとき
- ＤＶＤやＣＤの再生が終了して５分以上何も操作をしないとき
- 停電したあと

### 注 意

◆ デモ表示の解除をセットした場合でも、停電や電源プラグを抜いた状態で１２時間以上放置しますと、再度電源プラグをコンセントに差した時にデモモードを表示する場合があります。

## デモ表示を解除するには

**デモ表示が行われているときに、本体の一時停止ボタンを３秒以上押し続けます。**
**「DEMO OFF」と表示して、デモ表示が解除されます。**

## デモ表示を一時的に解除するには

**本体の一時停止ボタン以外のボタンを押します。**
**一時的にデモ表示を解除します。**

## デモ表示を再び表示させるには

**電源がオフの状態で、本体の一時停止ボタンを３秒以上押し続けます。**
**デモ表示を開始します。**

お客様ご相談窓口( 全国共通フリーフォン )

カスタマーサポートセンター

- 家庭用ｵｰﾃﾞｨｵ／ﾋﾞｼﾞｭｱﾙ製品のお問い合わせ窓口　**0070-800-8181-22**
- カタログのご請求窓口　**0070-800-8181-33**

<ご注意> ● ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。
● 修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご覧ください。

※ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内

*http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html*

**愛情点検**

**長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか？**
**・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。**
**・電源コードにさけめやひび割れがある。**
**・電気が入ったり切れたりする。**
**・本体から異常な音、熱、臭いがする。**

⇩

**すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または、お近くのパイオニアステーションに点検（有料）をご依頼ください。**

**高調波ガイドライン適合品**



パイオニア株式会社　〒 153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<ARA7110-A>

<00E00ZF0N01>